

世田谷区  
ひとり親家庭調査  
調査報告書

平成31年3月

世田谷区



# 目 次

<b>第 1 章 調査概要</b>	<b>1</b>
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 抽出方法	1
4 調査方法	1
5 調査時期	1
6 回収数・回収率	1
<b>第 2 章 調査結果</b>	<b>7</b>
1 家族の状況、生活について	9
2 仕事について	19
3 経済状況について	27
4 子育てについて	30
5 相談支援について	44
<b>資料編 アンケート調査票及び集計結果</b>	<b>61</b>



# 第 1 章 調査概要



## 1 調査の目的

この調査は、次世代育成支援対策推進法に基づく地域行動計画である「世田谷区子ども計画」の見直しにあたり、世田谷区のひとり親家庭の実態を把握し、今後の区のひとり親家庭支援等の検討に資することを目的とする。

## 2 調査対象

平成30年10月1日時点、世田谷区児童育成手当受給世帯

## 3 抽出方法

世田谷区児童育成手当受給世帯のうち、申請理由が離婚、死亡、生死不明、遺棄、未婚である世帯を抽出

## 4 調査方法

郵送配布・郵送回収

## 5 調査時期

平成30年11月21日～12月12日

## 6 回収数・回収率

発送・配布数	有効回収数 (有効回収率)
4,202	1,442 (34.3%)

## 6 調査項目

調査項目	問番号	設問
A 家族の状況、生活について	問1	性別
	問2	年齢
	問3	居住地域
	問4	居住年数
	問5	居住を始めた時期
	問6	同居家族
	問7	住居
	問7-1	借りる際に困ったこと
	問7-2	必要な居住に関する支援
	問8	住居の選択にあたって優先すること
	問8-1	毎月負担している住居費
	問9	ひとり親になってからの年数
	問10	ひとり親になったときの年齢
	問11	ひとり親になったときの末子の年齢
	問12	ひとり親になった理由
	問12-1	養育費をもらっていますか
	問12-1-1	養育費の月額
	問12-1-2	養育費についての取り決め
	問12-1-3	養育費の履行状況
	問12-1-4	養育費をもらっていない理由
	問12-2	相手方との面会等の状況
	問12-2-1	子どもが相手方と会っていない理由
	問12-3	面会交流についての取り決め
	問12-4	別れるにあたっての暴力や嫌がらせの有無
B 仕事について	問13	現在、仕事をしているか
	問13-1	雇用形態
	問13-2	就業時間（1日の就労時間、1週間あたりの就労日、平均的な帰宅時間）
	問13-3	片道の通勤時間
	問13-4	情報入手方法
	問13-5	仕事を選ぶ優先度
	問13-6	現在の仕事の継続意向
	問13-7	現在の状況
	問13-8	今後、希望する雇用形態
	問14	新しく仕事を始めるときに必要な支援
	問15	最終学歴
問16	資格（持っている資格・技術、これから取得したい資格）	
C 経済状況について	問17	生計を立てている収入
	問18	年間の世帯の総収入（年間の世帯の総収入、年間の総収入のうちの就労収入）
	問19	家計（家計を圧迫している支出、もっとお金をかけたいと思う費用）



調査項目	問番号	設問
D 子育てについて	問 20	お子さんについて（性別、年齢、同居・別居、学齢、出席状況、学校の種類）
	問 21	定期的な子どもの預け先
	問 22	放課後の過ごし方等（放課後の過ごす場所、夏休みなどの長期休暇中の過ごす場所）
	問 23-1	子どもが朝ご飯を食べる頻度
	問 23-2	子どもが朝ご飯を食べる相手
	問 23-3	子どもが夕ご飯を食べる頻度
	問 23-4	子どもが夕ご飯を食べる相手
	問 23-5	学校の授業以外の勉強時間
	問 23-6	子どもとのコミュニケーション方法
	問 24	現在の子どもや自分のことでの悩みごと
	問 25	子どもの健康・発達の状況
	問 25-1	親の健康状態
	問 25-2	成人前の経験
	問 25-3	病院や歯医者を受診できなかったことがあるか
	問 25-4	病院や歯医者を受診できなかった理由
	問 26	自分のことをどう思うか
E 相談支援について	問 27	周囲の人との関わり方
	問 28	ひとり親になる前後の悩みごとの相談先
	問 29	専門職への相談で体験したこと
	問 29-1	相談したくてもできなかった理由
	問 30	世田谷区の総合支所の生活支援課の認知
	問 31	総合支所の生活支援課窓口の利用の有無
	問 31-1	総合支所の生活支援課窓口を利用しなかった理由
	問 31-2	どうしたら区の窓口が利用しやすくなると思うか
	問 32	公的制度・施設等の認知状況
	問 33	支援情報の入手先
	問 33-1	支援制度等の利用意向
	問 34	悩みや不安、必要と感じる支援等



## 第2章 調査結果

### <図表のみかた>

- 1 回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。それぞれの質問の回答者数は、全体の場合はN（Number of case）、それ以外の場合にはnと表記しています。
- 2 %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。従って、回答の合計が必ずしも100.0%にならない場合（例えば99.9%、100.1%）があります。
- 3 回答者が2つ以上回答することのできる質問（複数回答）については、%の合計は100%にならないことがあります。
- 4 本文及びグラフ中の設問文ならびに選択肢の表現は一部省略されています。
- 5 帯グラフの凡例は横に読みます。

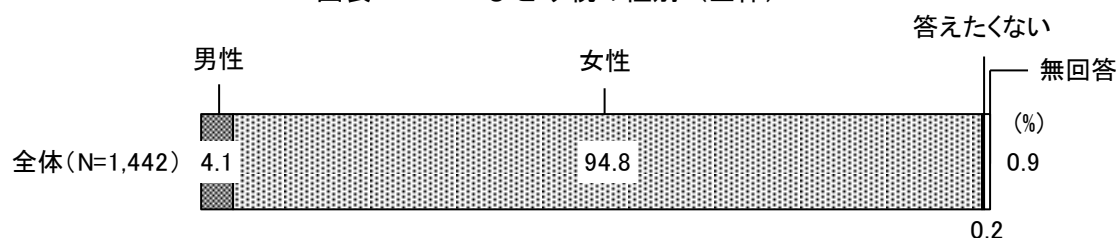


## 1 家族の状況、生活について

### (1) ひとり親の性別（問1）

ひとり親の性別は、「女性（94.8%）」が9割台を占め、「男性」は4.1%である（図表1-1）。

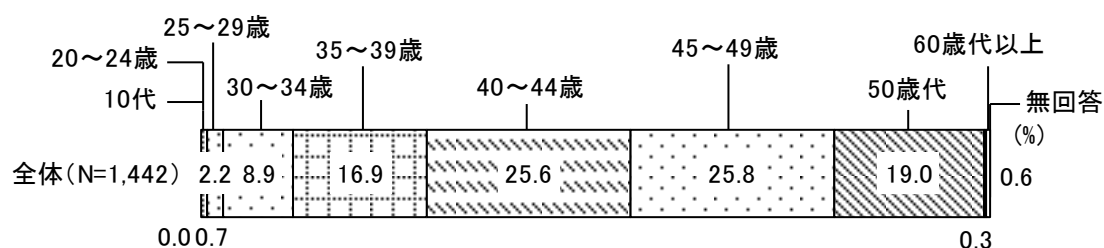
図表1-1 ひとり親の性別（全体）



### (2) ひとり親の年齢（問2）

ひとり親の年齢は、「45～49歳（25.8%）」が最も多く、「40～44歳（25.6%）」、「50歳代（19.0%）」が続いている（図表1-2）。

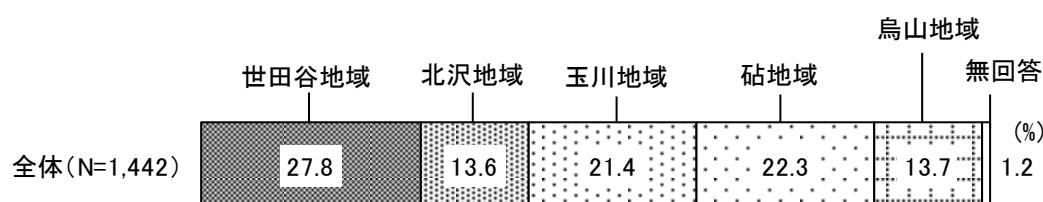
図表1-2 ひとり親の年齢（全体）



### (3) 居住地域（問3）

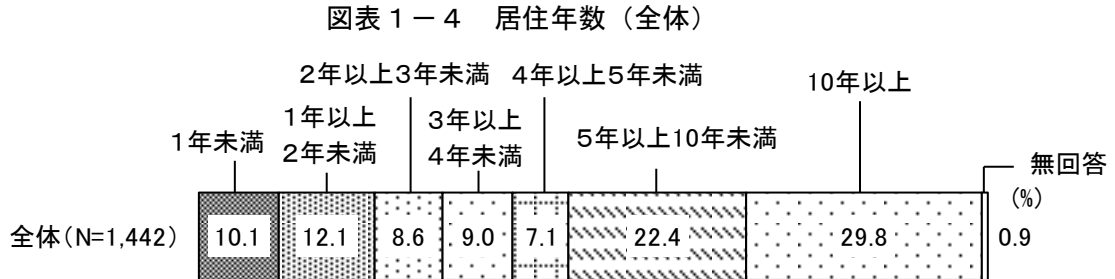
居住地域は、「世田谷地域（27.8%）」が最も多く、「砧地域（22.3%）」、「玉川地域（21.4%）」が続いている（図表1-3）。

図表1-3 居住地域（全体）



(4) 居住年数 (問4)

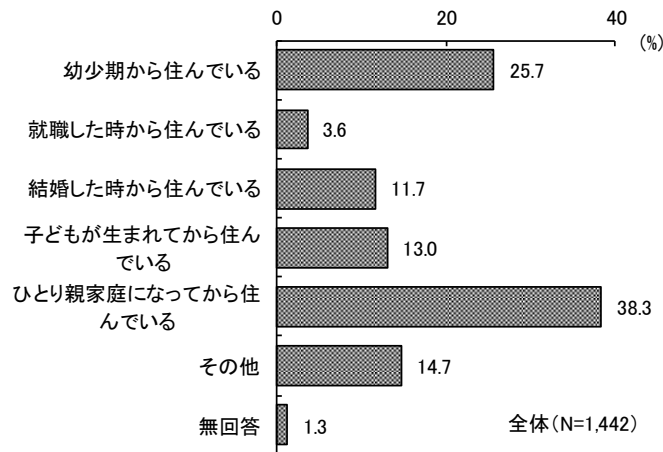
居住年数は、「10年以上 (29.8%)」が最も多く、「5年以上10年未満 (22.4%)」が続いている (図表1-4)。



(5) 居住を始めた時期 (問5)

居住を始めた時期は「ひとり親家庭になってから住んでいる (38.3%)」が4割弱で最も多く、「幼少期から住んでいる (25.7%)」が続いている (図表1-5)。

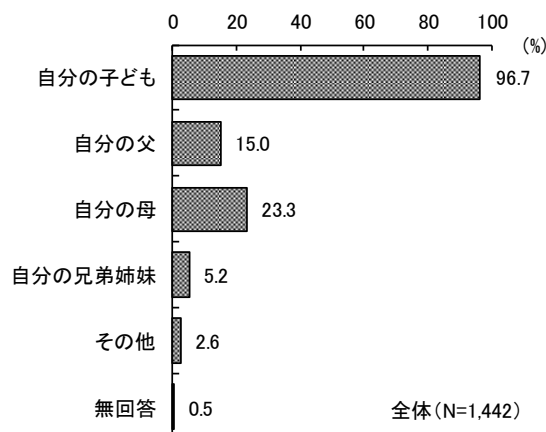
図表1-5 居住を始めた時期 (全体：複数回答)



(6) 同居家族 (問6)

同居家族は、「自分の子ども (96.7%)」が最も多く、「自分の母 (23.3%)」、「自分の父 (15.0%)」が続いている (図表1-6)。

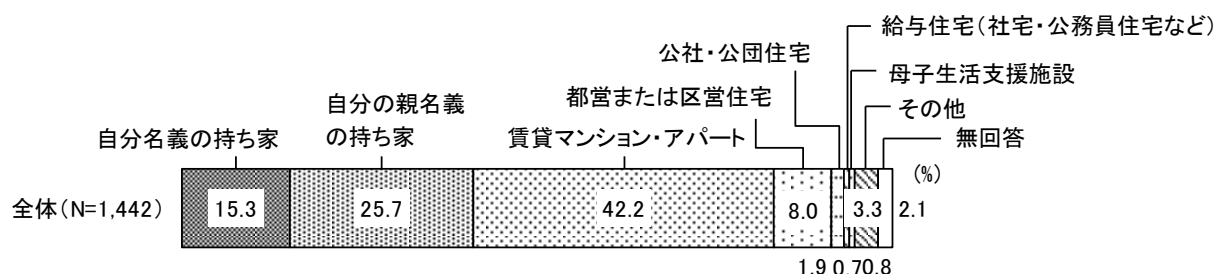
図表1-6 同居家族 (全体：複数回答)



(7) 住居 (問7)

住居は、「賃貸マンション・アパート (42.2%)」が最も多く、「自分の親名義の持ち家 (25.7%)」、「自分名義の持ち家 (15.3%)」が続いている (図表1-7)。

図表1-7 住居 (全体)

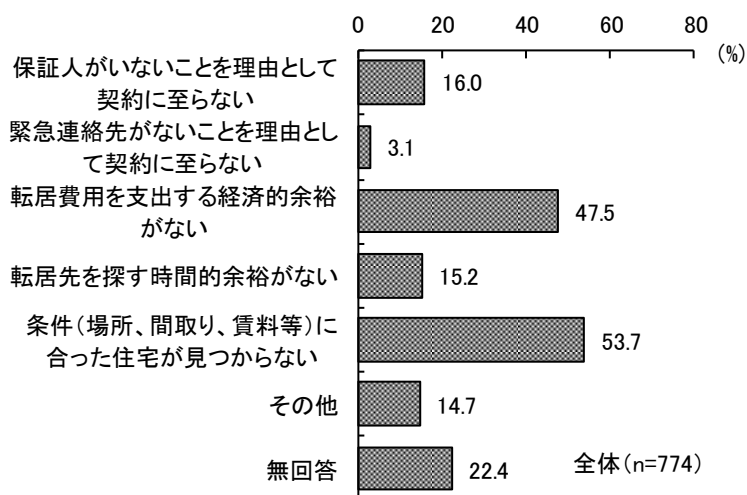


(8) 借りる際に困ったこと (問7-1)

自分名義の持ち家、自分の親名義の持ち家以外を回答した人に、借りる際に困ったことは、「条件(場所、間取り、賃料等)に合った住宅が見つからない (53.7%)」が最も多く、「転居費用を支出する経済的余裕がない (47.5%)」、「保証人がいないことを理由として契約に至らない (16.0%)」が続いている (図表1-8)。

図表1-8 借りる際に困ったこと (全体:複数回答)

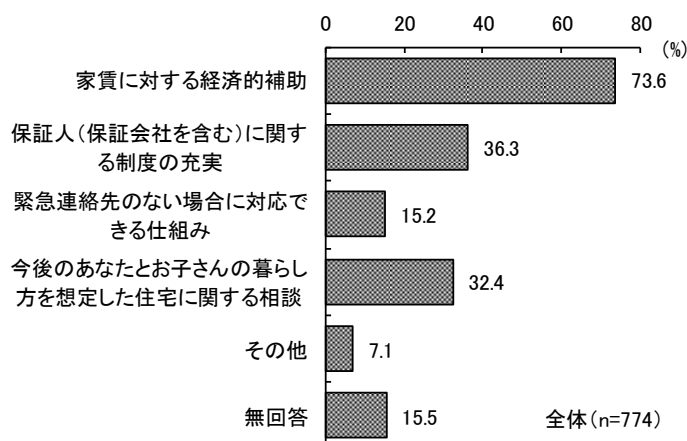
<自分名義の持ち家、自分の親名義の持ち家以外を回答した人>



(9) 必要な居住に関する支援（問7-2）

必要な居住に関する支援は、「家賃に対する経済的補助（73.6%）」が最も多く、「保証人（保証会社を含む）に関する制度の充実（36.3%）」、「今後のあなたとお子さんの暮らし方を想定した住宅に関する相談（32.4%）」が続いている（図表1-9）。

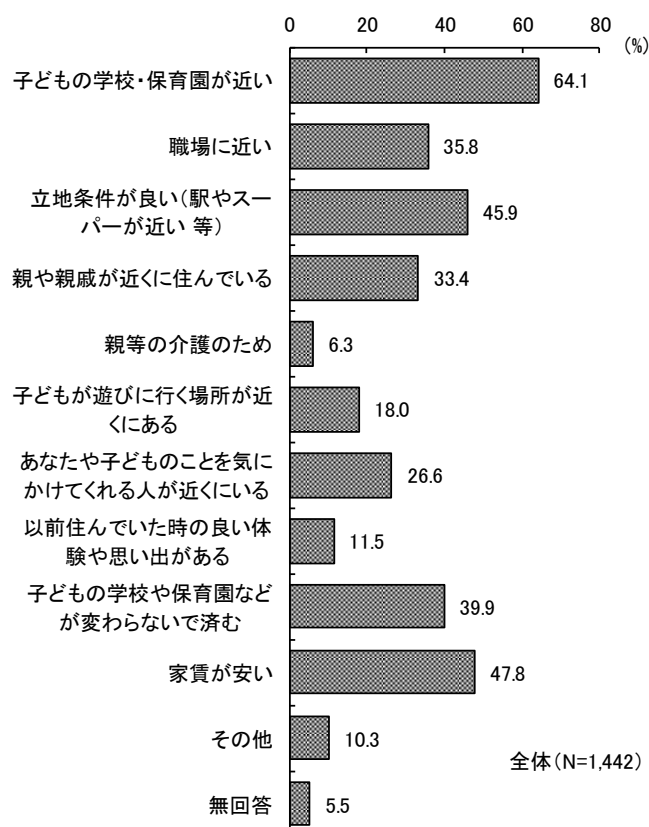
図表1-9 必要な居住に関する支援（全体：複数回答）  
 <自分名義の持ち家、自分の親名義の持ち家以外を回答した人>



(10) 住居の選択にあたって優先すること（問8）

住居の選択にあたって優先することは、「子どもの学校・保育園が近い（64.1%）」が最も多く、「家賃が安い（47.8%）」、「立地条件が良い（駅やスーパーが近い等）（45.9%）」が続いている（図表1-10）。

図表1-10 住居の選択にあたって優先すること（全体：複数回答）

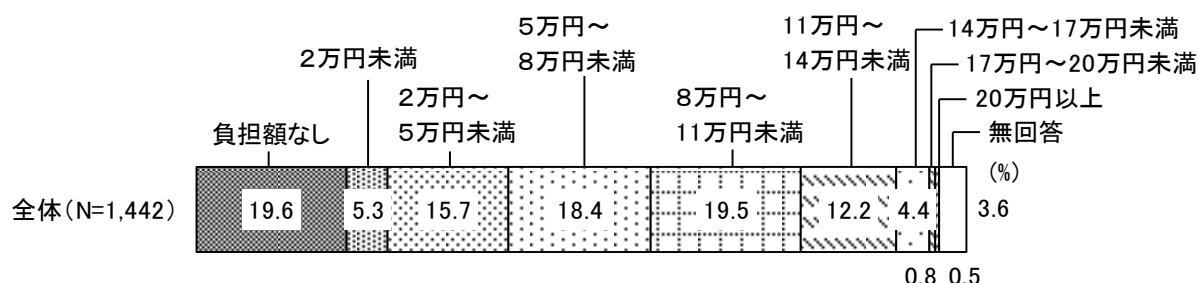




(11) 毎月負担している住居費（問8-1）

毎月負担している住居費は、「負担額なし（19.6%）」が最も多く、「8万円～11万円未満（19.5%）」「5万円～8万円未満（18.4%）」が続いている（図表1-11）。

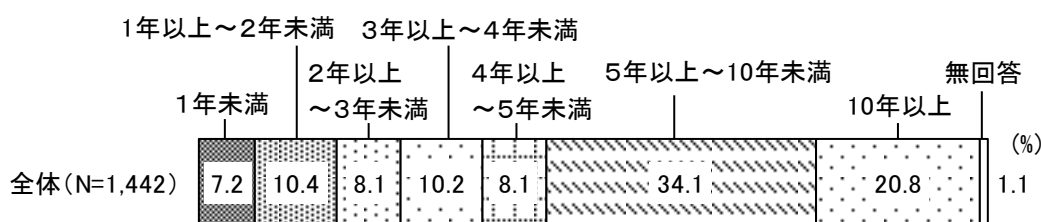
図表1-11 毎月負担している住居費（全体：複数回答）



(12) ひとり親になってからの年数（問9）

ひとり親になってからの年数は、「5年以上～10年未満（34.1%）」が最も多く、「10年以上（20.8%）」が続いている（図表1-12）。

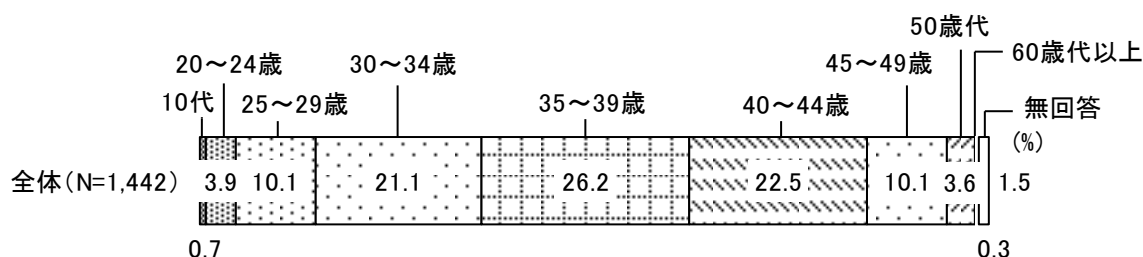
図表1-12 ひとり親になってからの年数（全体）



(13) ひとり親になったときの年齢（問10）

ひとり親になったときの年齢は、「35～39歳（26.2%）」が最も多く、「40～44歳（22.5%）」と合わせて約半数となっている（図表1-13）。

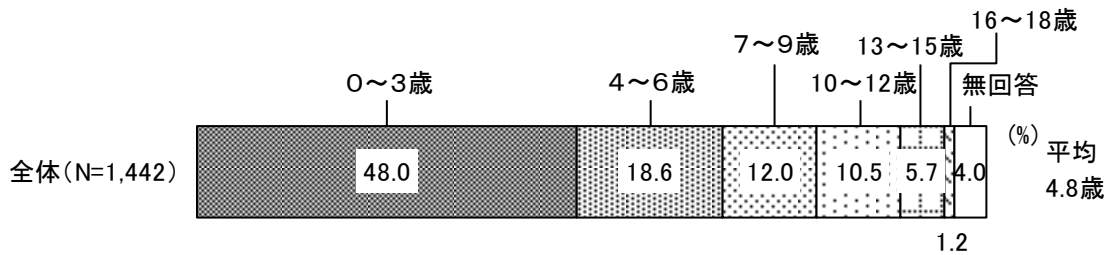
図表1-13 ひとり親になったときの年齢（全体）



(14) ひとり親になったときの末子の年齢（問 11）

ひとり親になったときの末子の年齢は、「0～3歳（48.0%）」が5割弱で最も多く、「4～6歳（18.6%）」「7～9歳（12.0%）」が続いている。末子の年齢の平均は4.8歳となっている（図表1-14）。

図表1-14 ひとり親になったときの末子の年齢（全体）

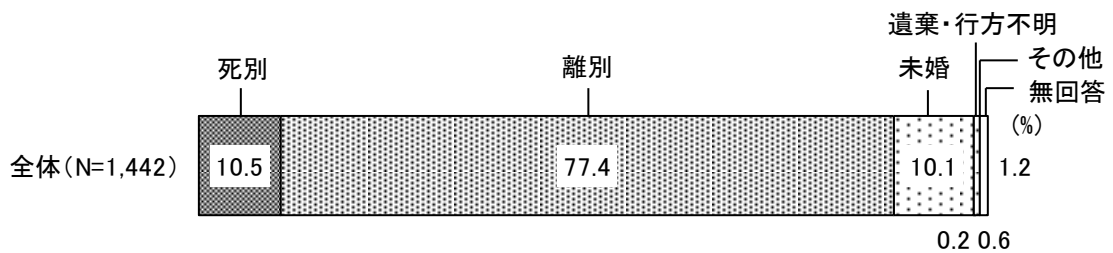


(15) ひとり親になった理由（問 12）

① ひとり親になった理由

ひとり親になった理由は、「離別（77.4%）」が7割台を占めている（図表1-15）。

図表1-15-① ひとり親になった理由（全体）



② 未婚の子どもの認知

未婚の子どもの認知は、認知してもらっている（「いる」）が34.2%であり、認知してもらっていない（「いない」）（63.1%）を下回っている「離別（77.4%）」が7割台を占めている（図表1-15）。

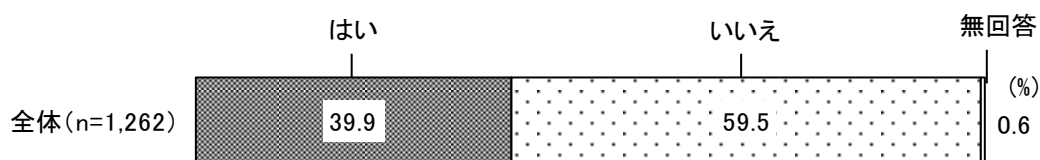
図表1-15-② 未婚の子どもの認知（全体）＜未婚の人＞



(16) 養育費をもらっているか (問 12-1)

「離婚」「未婚」によりひとり親になった場合、養育費をもらっている親(「はい」)は39.9%であり、もらっていない(「いいえ」) (59.5%) を下回っている (図表1-16)。

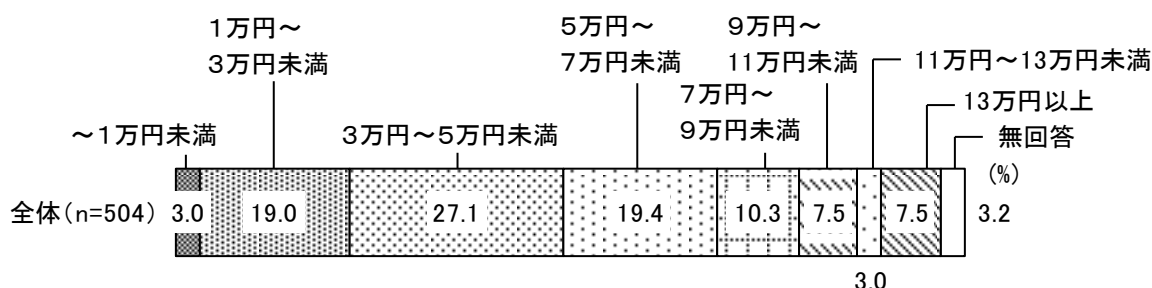
図表1-16 養育費をもらっているか (全体)  
 <「離婚」「未婚」によりひとり親になった人>



(17) 養育費の月額 (問 12-1-1)

養育費をもらっている人に、養育費の月額をたずねたところ、「3万円～5万円未満 (27.1%)」が最も多く、「5万円～7万円未満 (19.4%)」、「1万円～3万円未満 (19.0%)」が続いている (図表1-17)。

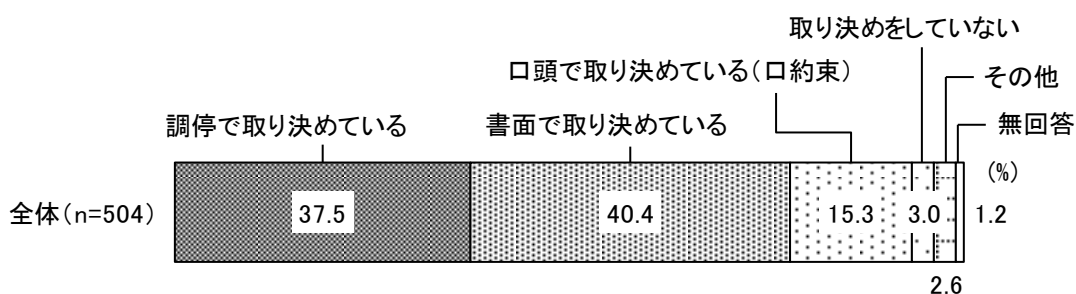
図表1-17 養育費の月額 (全体)  
 <「離婚」「未婚」によりひとり親になり、養育費をもらっている人>



(18) 養育費についての取り決め (問 12-1-2)

養育費をもらっている人に、養育費についての取り決めをたずねたところ、「書面で取り決めている (40.4%)」が4割強、「調停で取り決めている (37.5%)」が3割台となっている (図表1-18)。

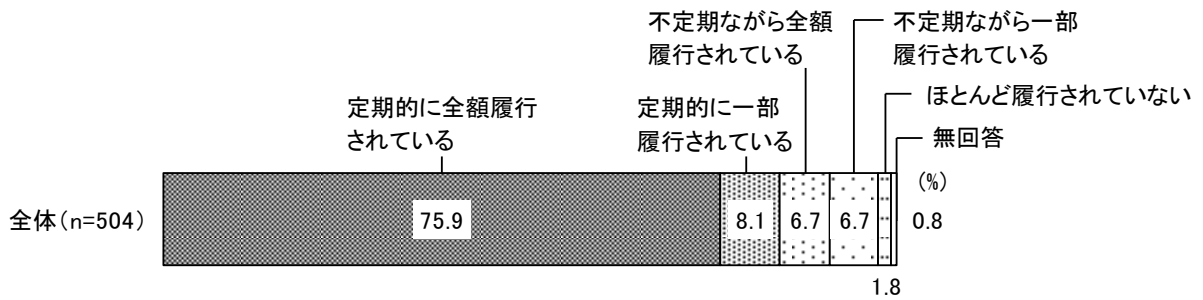
図表1-18 養育費についての取り決め (全体)  
 <「離婚」「未婚」によりひとり親になり、養育費をもらっている人>



(19) 養育費の履行状況（問 12-1-3）

養育費をもらっている人に、養育費の履行状況についてたずねたところ、「定期的に全額履行されている（75.9%）」が7割台を占めている（図表1-19）。

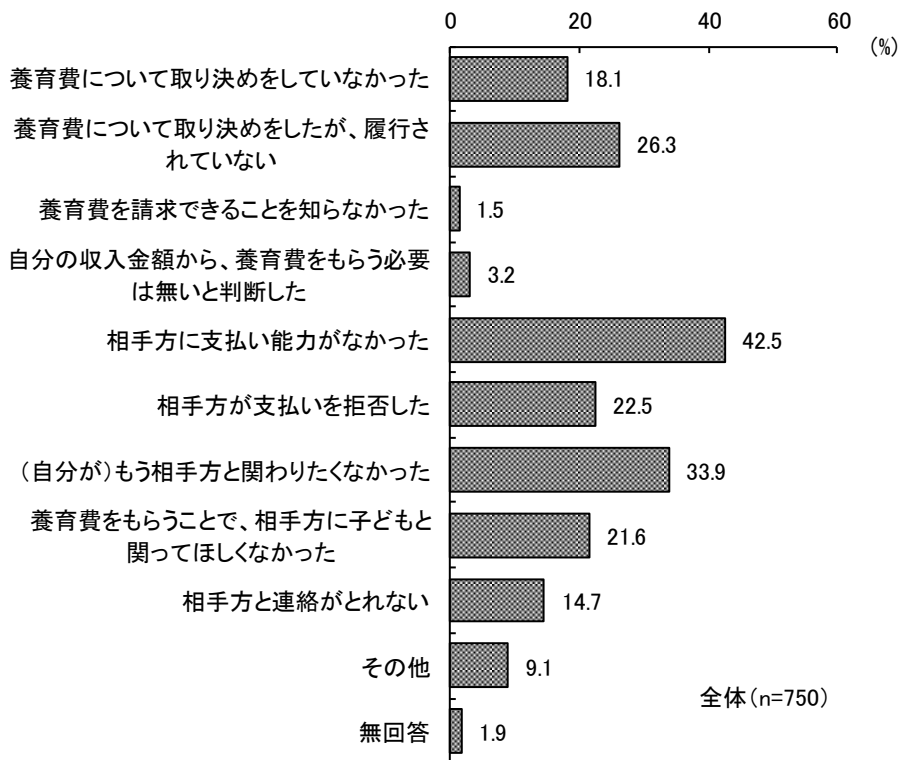
図表1-19 養育費の履行状況（全体）  
 <「離婚」「未婚」によりひとり親になり、養育費をもらっている人>



(20) 養育費をもらっていない理由（問 12-1-4）

養育費をもらっていない人に、理由をたずねたところ、「相手方に支払い能力がなかった（42.5%）」が最も多く、「(自分が)もう相手方と関わりたくなかった（33.9%）」、「養育費について取り決めをしていたが、履行されていない（26.3%）」が続いている（図表1-20）。

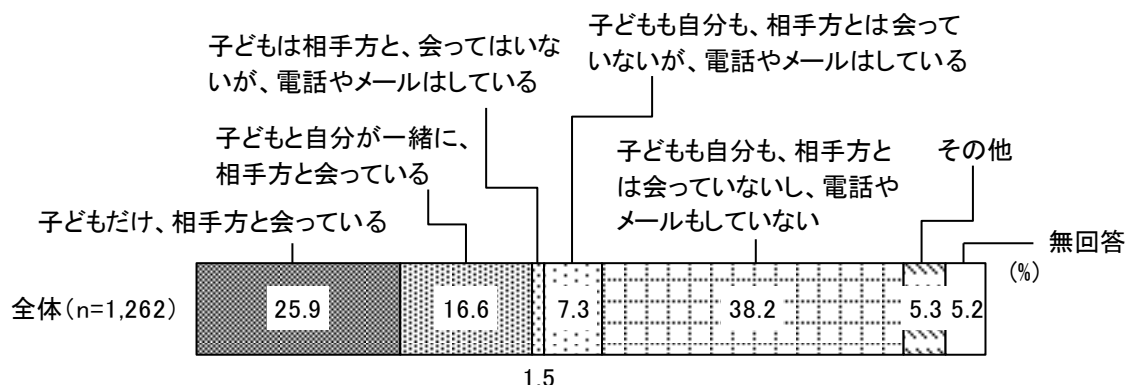
図表1-20 養育費をもらっていない理由（全体：複数回答）  
 <「離婚」「未婚」によりひとり親になり、養育費をもらっていないひとり親>



(21) 相手方との面会等の状況（問 12-2）

「離婚」「未婚」によりひとり親になった人に、相手方との面会の状況についてたずねたところ、「子どもも自分も、相手方と会っていないし、電話やメールもしていない（38.2%）」が最も多く、「子どもだけ、相手方と会っている（25.9%）」、「子どもと自分が一緒に、相手方と会っている（16.6%）」が続いている（図表 1-21）。

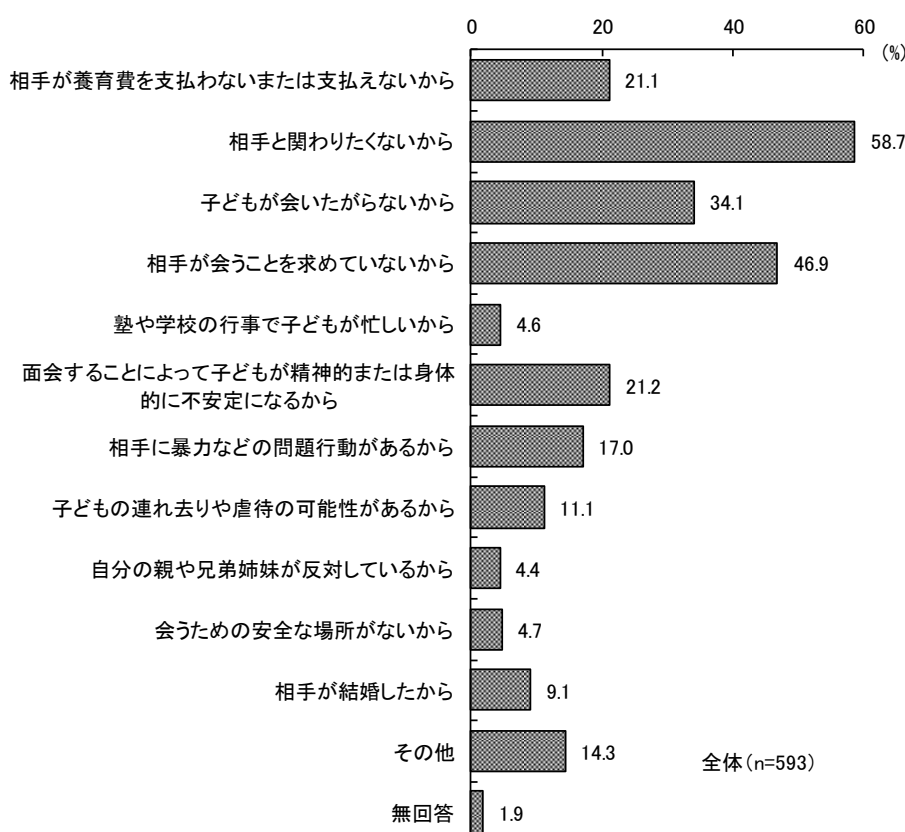
図表 1-21 相手方との面会状況（全体）＜「離婚」「未婚」によりひとり親になった人＞



(22) 子どもが相手方と会っていない理由（問 12-2-1）

「離婚」「未婚」によりひとり親になり、子どもが相手方と会っていない人に理由についてたずねたところ、「相手と関わりたくないから（58.7%）」が最も多く、「相手が会うことを求めているから（46.9%）」、「子どもが会いたがらないから（34.1%）」が続いている（図表 1-22）。

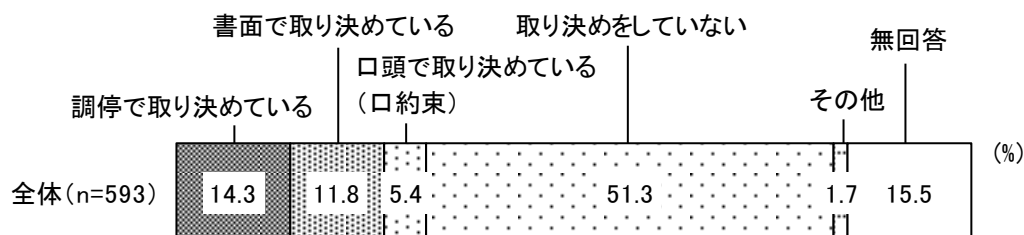
図表 1-22 子どもが相手方と会っていない理由（全体：複数回答）  
＜「離婚」「未婚」によりひとり親になり、子どもが相手方と会っていない人＞



(23) 面会交流についての取り決め（問 12-3）

「離婚」「未婚」によりひとり親になった人に、相手方との面会交流についての取り決めについてたずねたところ、「取り決めをしていない（51.3%）」が最も多く、「調停で取り決めている（14.3%）」、「書面で取り決めている（11.8%）」が続いている（図表 1-23）。

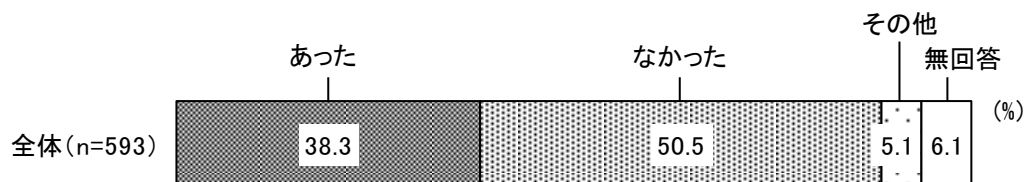
図表 1-23 面会交流についての取り決め（全体）  
 <「離婚」「未婚」によりひとり親になった人>



(24) 別れるにあたっての暴力や嫌がらせの有無（問 12-4）

「離婚」「未婚」によりひとり親になった人に、相手方と別れるにあたっての暴力や嫌がらせの有無についてたずねたところ、「あった（38.3%）」が「なかった（50.5%）」を下回っている（図表 1-24）。

図表 1-24 別れるにあたっての暴力や嫌がらせの有無（全体）  
 <「離婚」「未婚」によりひとり親になった人>

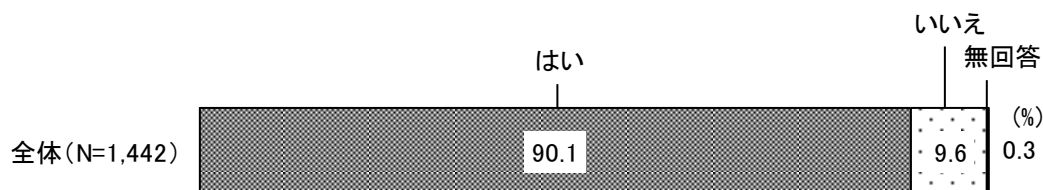


## 2 仕事について

### (1) 現在、仕事をしているか (問 13)

現在、仕事をしているかたずねたところ、仕事をしている人（「はい」）（90.1%）が9割を超えている（図表2-1）。

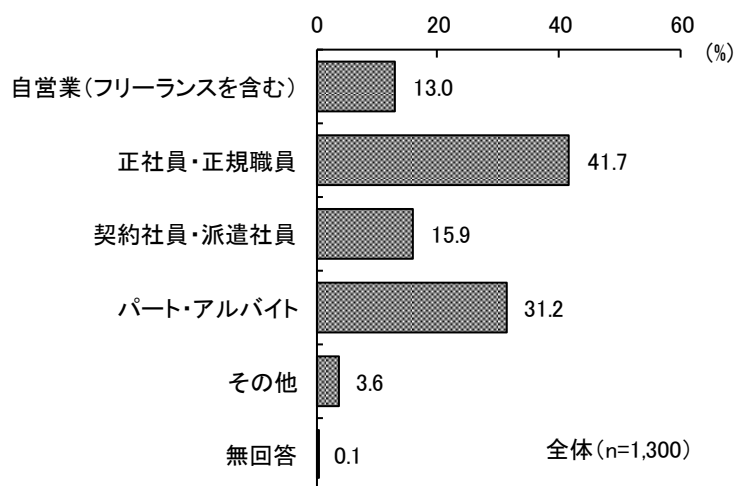
図表2-1 現在、仕事をしているか（全体）



### (2) 雇用形態 (問 13-1)

現在、仕事をしている人に雇用形態をたずねたところ、「正社員・正規職員（41.7%）」が最も多く、「パート・アルバイト（31.2%）」、「契約社員・派遣社員（15.9%）」が続いている（図表2-2）。

図表2-2 雇用形態（全体：複数回答）＜現在、仕事をしている人＞

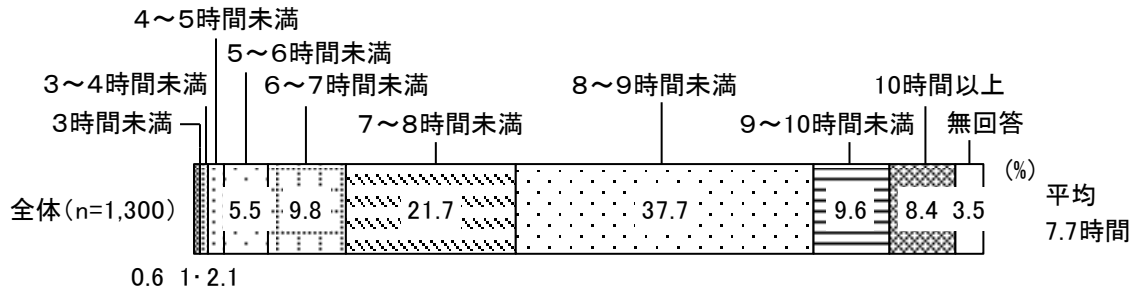


(3) 就業時間 (問 13-2)

① 1日の就業時間

現在、仕事をしている人に、1日の就業時間をたずねたところ、「8～9時間未満(37.7%)」が最も多く、「7～8時間未満(21.7%)」が続いている。平均は7.7時間となっている(図表2-3-1)。

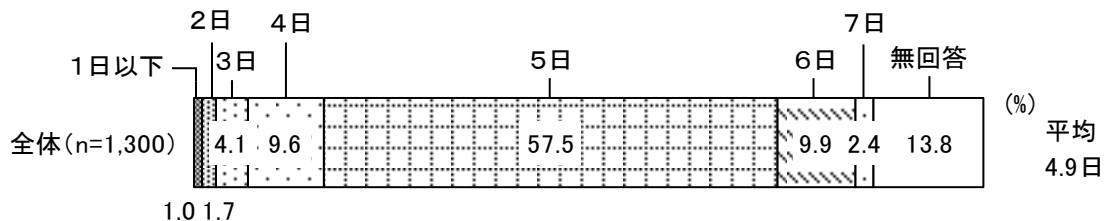
図表2-3-1 1日の就業時間(全体) <現在、仕事をしている人>



② 1週間あたりの就労日

現在、仕事をしている人に、1週間あたりの就労日をたずねたところ、「5日(57.5%)」が最も多く、「6日(9.9%)」、「4日(9.6%)」が続いている。平均は4.9日となっている(図表2-3-2)。

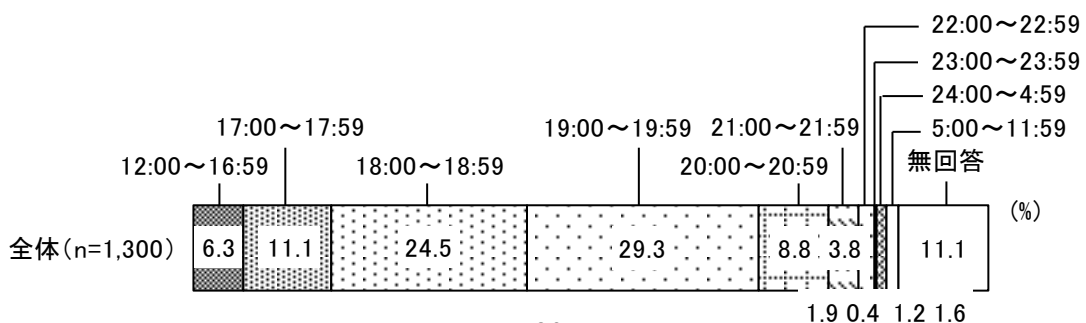
図表2-3-2 1週間あたりの就労日(全体) <現在、仕事をしている人>



③ 平均的な帰宅時間

現在、仕事をしている人に、平均的な帰宅時間をたずねたところ、「19:00～19:59(29.3%)」が最も多く、「18:00～18:59(24.5%)」、「17:00～17:59(11.1%)」が続いている(図表2-3-3)。

図表2-3-3 平均的な帰宅時間(全体) <現在、仕事をしている人>

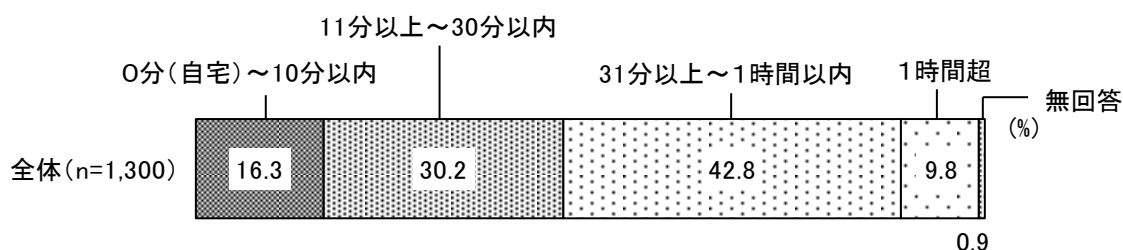




(4) 片道の通勤時間 (問 13-3)

現在、仕事をしている人の片道の通勤時間は、「31分以上～1時間以内 (42.8%)」が4割台で最も多く、「11分以上～30分以内 (30.2%)」が続いている (図表 2-4)。

図表 2-4 片道の通勤時間 (全体) <現在、仕事をしている人>

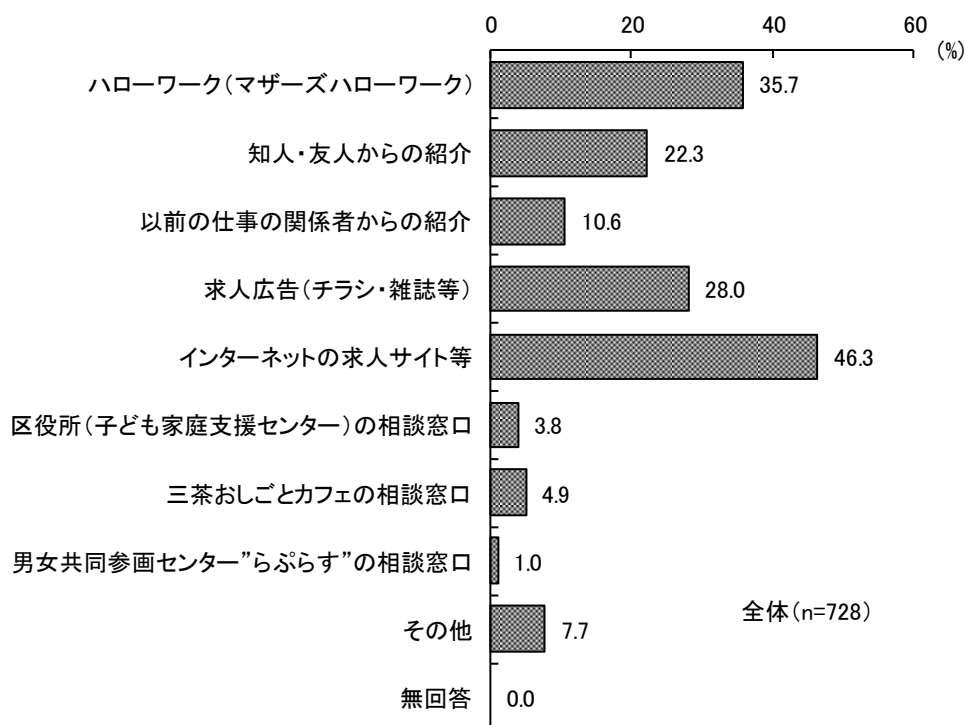


(5) 情報入手方法 (問 13-4)

仕事の情報入手経路は、「インターネットの求人サイト等 (46.3%)」が最も多く、「ハローワーク (マザーズハローワーク) (35.7%)」、「求人広告 (チラシ・雑誌等) (28.0%)」が続いている (図表 2-5)。

図表 2-5 情報入手方法 (全体：複数回答)

<ひとり親になったことをきっかけに、仕事をはじめた方、転職をされた人>

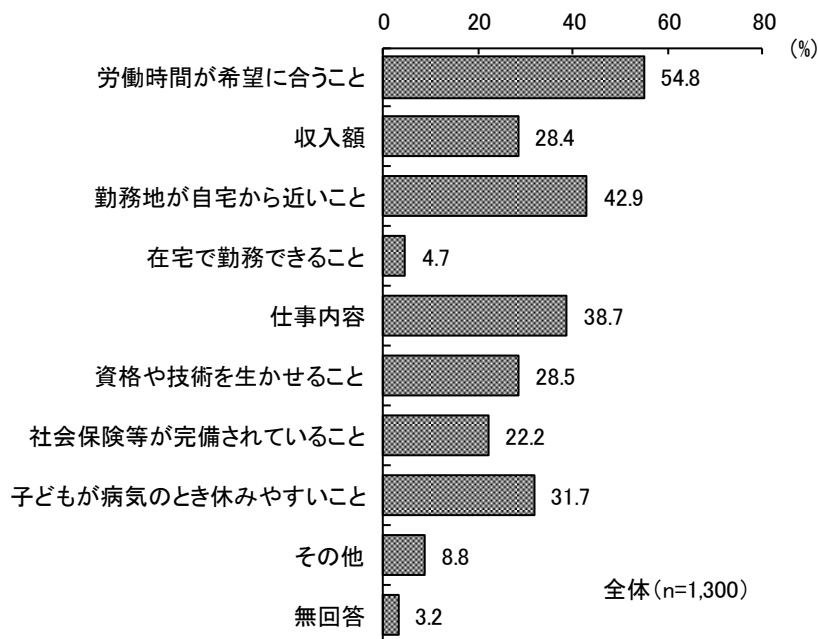


(6) 仕事を選ぶ優先度 (問 13-5)

現在、仕事をしている人に、仕事を選ぶときの優先度としては、「労働時間が希望に合うこと (54.8%)」が最も多く、「勤務地が自宅から近いこと (42.9%)」、「仕事内容 (38.7%)」が続いている (図表 2-6)。

図表 2-6 仕事を選ぶ優先度 (全体：複数回答 (3つまで))

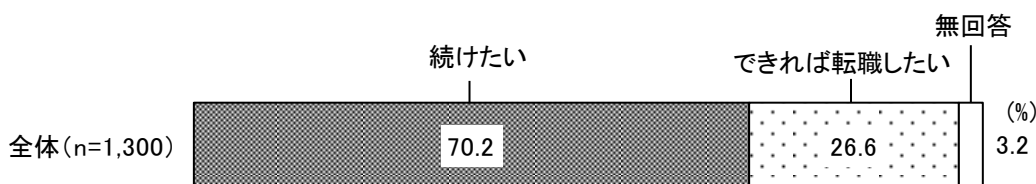
<現在、仕事をしている人>



(7) 現在の仕事の継続意向 (問 13-6)

現在、仕事をしている人に、現在の仕事の継続意向は、「続けたい (70.2%)」が7割を占め、「できれば転職をしたい (36.7%)」を上回っている (図表 2-7)。

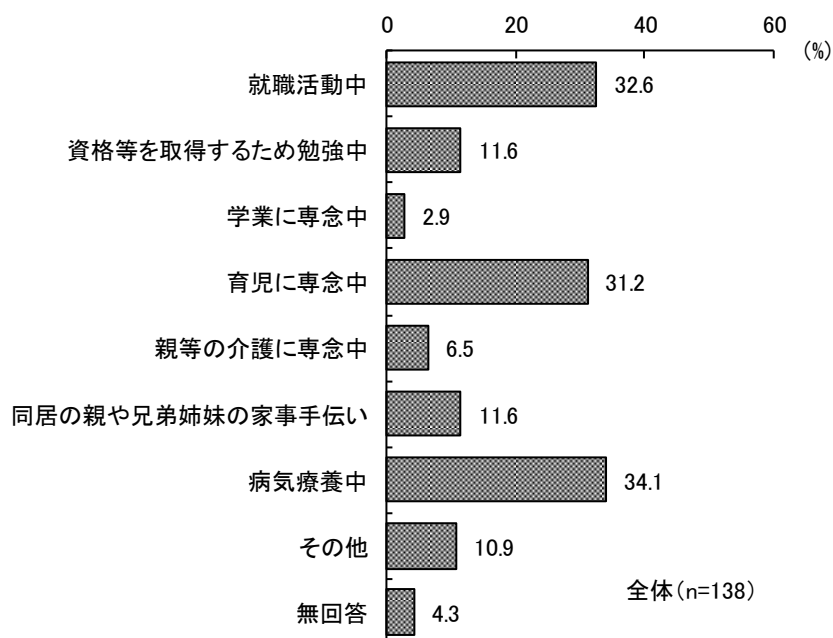
図表 2-7 現在の仕事の継続意向 (全体) <現在仕事をしている人>



## (8) 現在の状況 (問 13-7)

現在仕事をしていない人に、現在の状況をたずねたところ、「病気療養中 (34.1%)」、「現在活動中 (32.6%)」、「育児に専念中 (31.2%)」がともに3割台となっている (図表 2-8)。

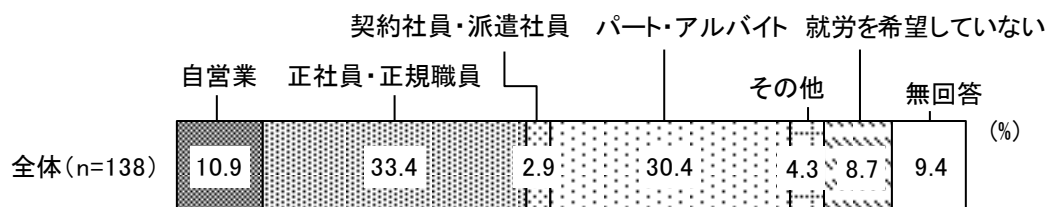
図表 2-8 現在の状況 (全体) &lt;現在仕事をしていない人&gt;



## (9) 今後、希望する雇用形態 (問 13-8)

現在仕事をしていない人に、今後希望する雇用形態をたずねたところ、「正社員・正規職員 (33.4%)」と「パート・アルバイト (30.4%)」がともに3割台となっている (図表 2-9)。

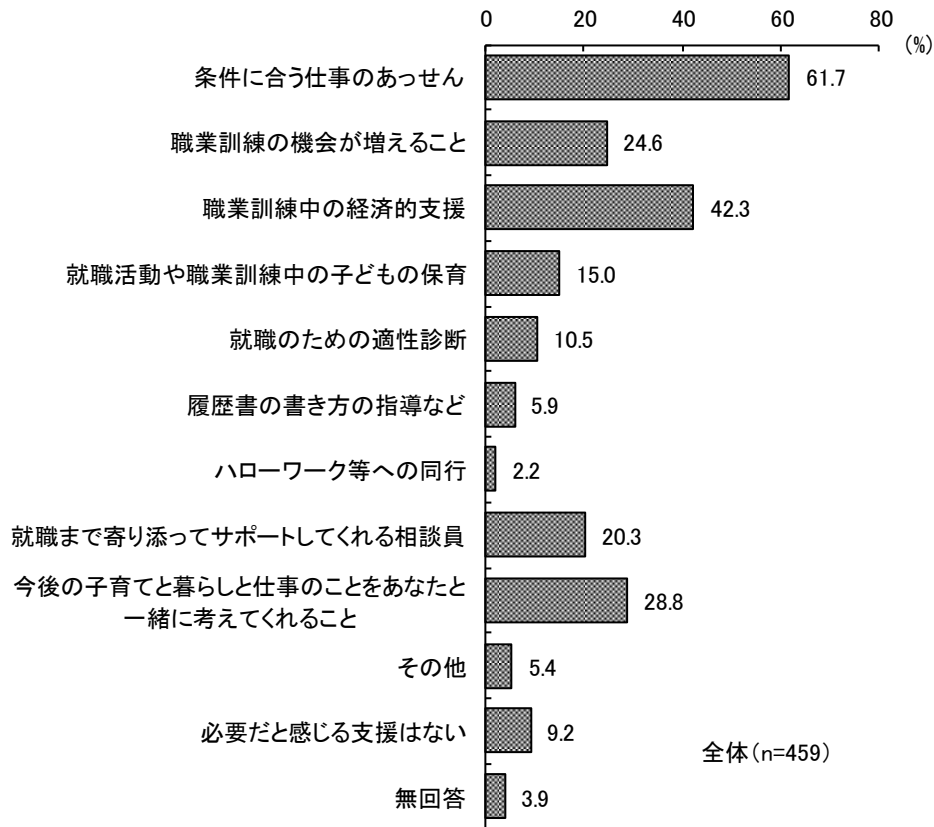
図表 2-9 今後希望する雇用形態 (全体) &lt;現在仕事をしていない人&gt;



(10) 新しく仕事を始めるときに必要な支援（問 14）

現在、仕事をしていて、できれば転職したい人に、新しく仕事を始めるときに必要な支援は、「条件に合う仕事のあっせん（61.7%）」が最も多く、「職業訓練中の経済的支援（42.3%）」、「今後の子育てと暮らしと仕事のことをあなたと一緒に考えてくれること（28.8%）」が続いている（図表 2-10）。

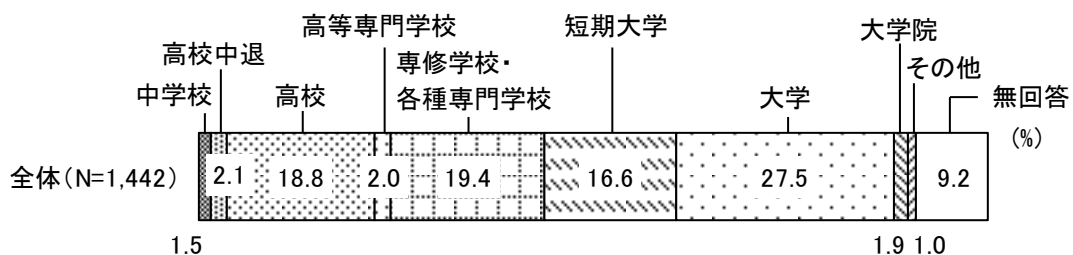
図表 2-10 新しく仕事を始めるときに必要な支援（全体：複数回答）  
 <現在、仕事をしていて、できれば転職したい人>



(11) 最終学歴（問 15）

ひとり親の最終学歴は、「大学（27.5%）」が2割台で最も多く、「専修学校・各種専門学校（19.4%）」、「高校（18.8%）」が続いている（図表 2-11）。

図表 2-11 最終学歴（全体）

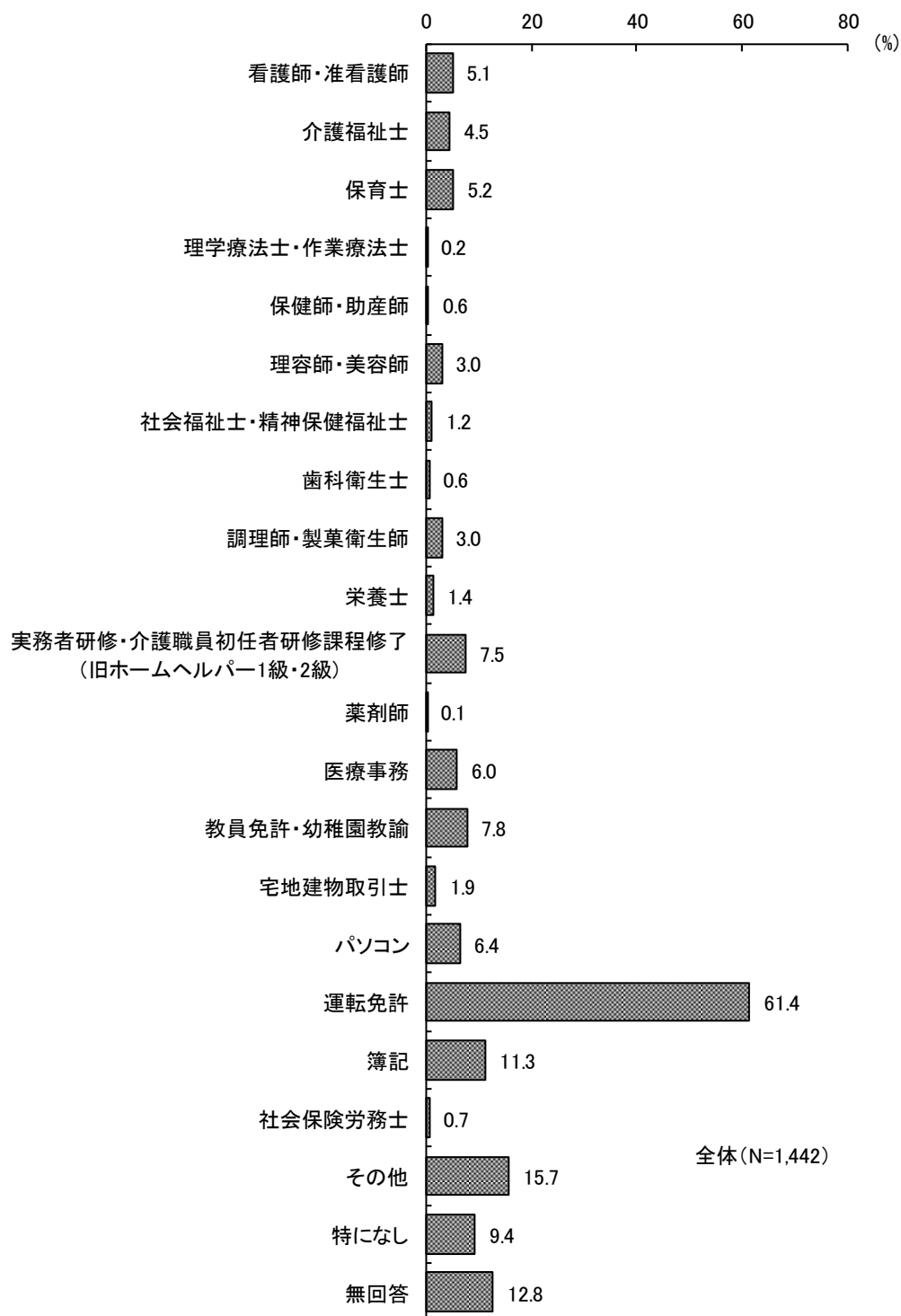


## (12) 資格 (問 16)

## ① 現在持っている資格

資格・技術を持っている人に対してその内容をたずねたところ「運転免許 (61.4%)」が6割強で最も多く、「その他 (15.7%)」、「簿記 (11.3%)」が続いている (図表 2-12-1)。

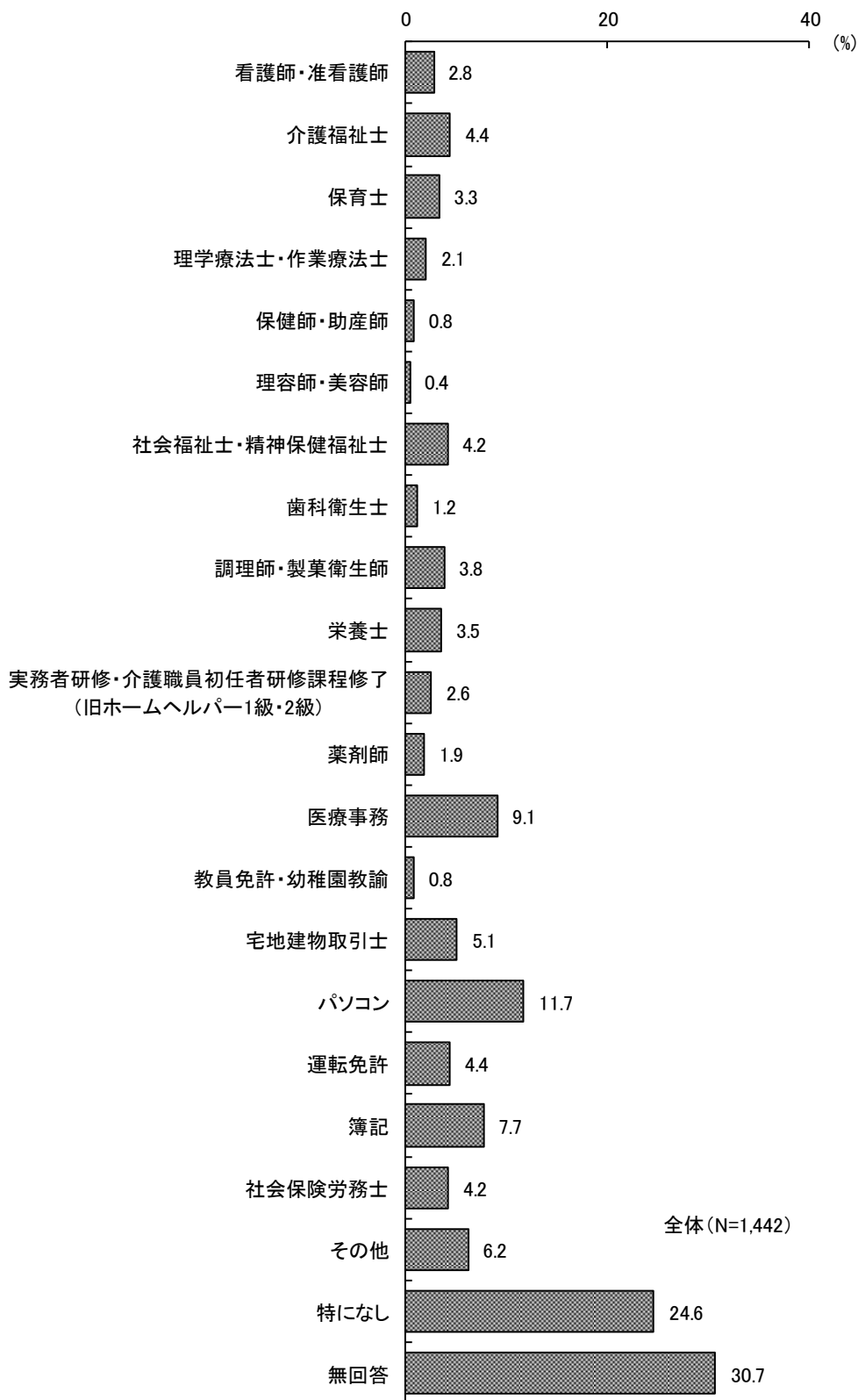
図表 2-12-1 現在持っている資格 (全体: 複数回答 (4つまで))



② これから取得したい資格

これから取得したい資格は、「パソコン (11.7%)」が最も多く「医療事務 (9.1%)」、「簿記 (7.7%)」が続いている。なお、「特になし (24.6%)」が2割台となっている (図表2-12-2)。

図表2-12-2 これから取得したい資格 (全体：複数回答 (4つまで))



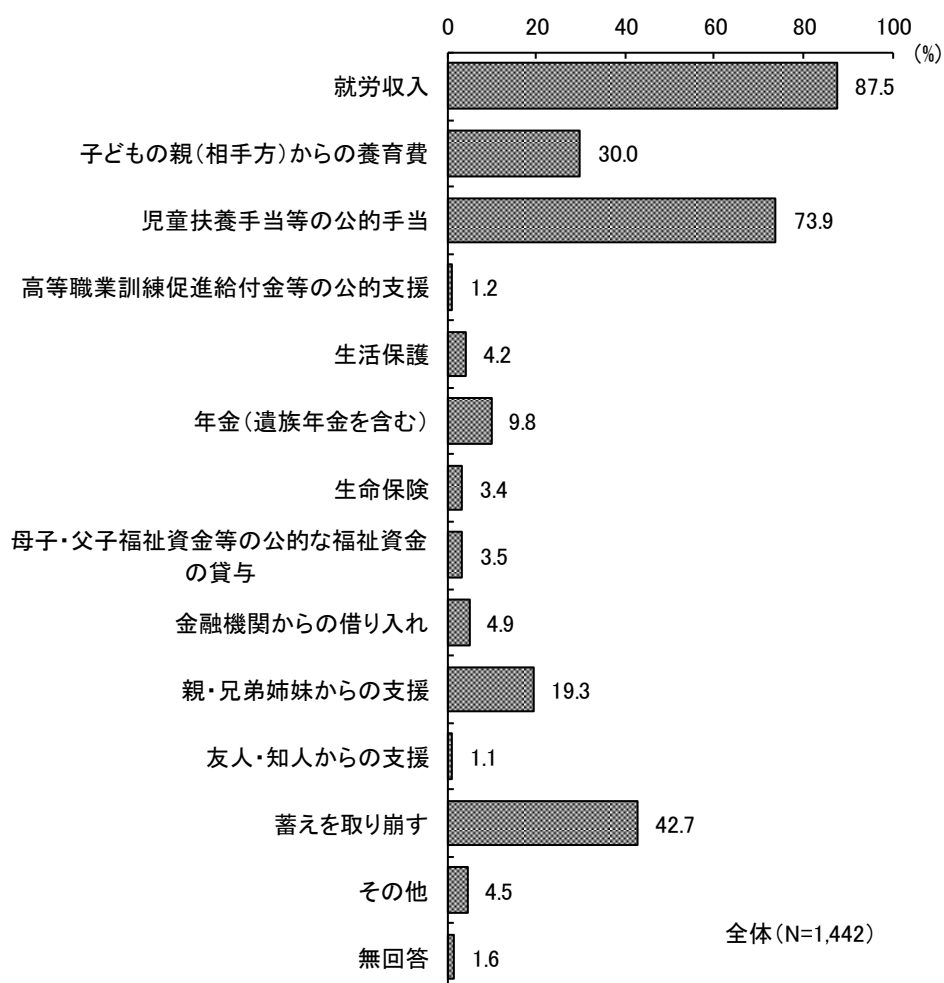
### 3 経済状況について

#### (1) 生計を立てている収入（問17）

生計を立てている収入は、割合の高い順に関係なく、「就労収入（87.5%）」が最も多く、「児童扶養手当等の公的手当（73.9%）」、「蓄えを取り崩す（42.7%）」が続いている（図表3-1）。

図表3-1 生計を立てている収入（全体：複数回答）

※割合の高い順に関係なく選ばれた割合を掲載



(2) 年間の世帯の総収入 (問 18)

① 年間の世帯の総収入

世帯の年間総収入は、「200～250万円未満 (11.4%)」「250～300万円未満 (13.0%)」「300～350万円未満 (11.2%)」「350～400万円未満 (10.3%)」が1割台となっている (図表3-2-1)。

図表3-2-1 世帯の年間総収入 (全体)

	0 ～ 50 万円 未満	50 ～ 100 万円 未満	100 ～ 150 万円 未満	150 ～ 200 万円 未満	200 ～ 250 万円 未満	250 ～ 300 万円 未満	300 ～ 350 万円 未満	350 ～ 400 万円 未満	400 ～ 450 万円 未満	450 ～ 500 万円 未満	500 ～ 550 万円 未満	550 ～ 600 万円 未満	600 ～ 650 万円 未満	650 ～ 700 万円 未満	700 ～ 750 万円 未満	750 ～ 800 万円 未満	800 万円 以上	無 回 答
全 体 (N=1,442)	2.0	2.8	5.4	7.8	12.4	13.0	11.2	10.3	6.2	5.2	3.3	2.6	1.3	1.0	0.5	0.2	1.0	13.8

② 年間の総収入のうちの就労収入

就労収入は、「100～150万円未満 (10.1%)」「150～200万円未満 (10.4%)」「200～250万円未満 (12.1%)」「250～300万円未満 (10.3%)」が1割台となっている (図表3-2-2)。

図表3-2-2 年間収入のうちの就労収入 (全体)

	0 ～ 50 万円 未満	50 ～ 100 万円 未満	100 ～ 150 万円 未満	150 ～ 200 万円 未満	200 ～ 250 万円 未満	250 ～ 300 万円 未満	300 ～ 350 万円 未満	350 ～ 400 万円 未満	400 ～ 450 万円 未満	450 ～ 500 万円 未満	500 ～ 550 万円 未満	550 ～ 600 万円 未満	600 ～ 650 万円 未満	650 ～ 700 万円 未満	700 ～ 750 万円 未満	750 ～ 800 万円 未満	800 万円 以上	無 回 答
全 体 (N=1,442)	7.7	6.4	10.1	10.4	12.1	10.3	7.1	6.7	4.8	3.5	2.1	1.3	0.9	0.4	0.1	0.1	0.6	15.4

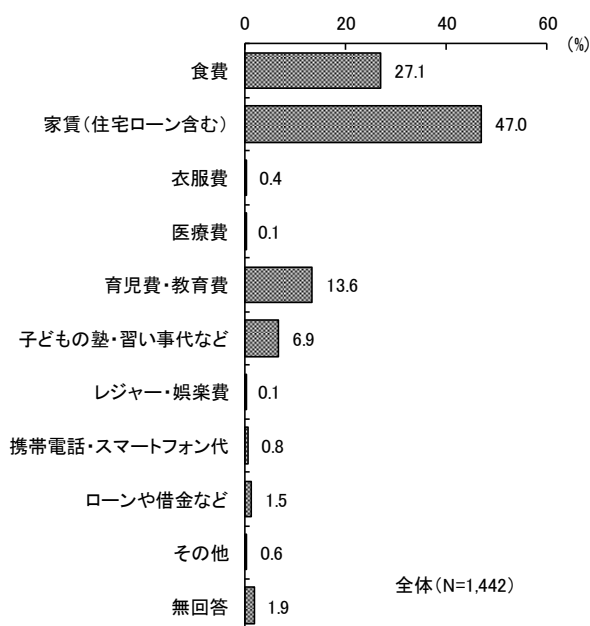


### (3) 家計（問19）

#### ① 家計を圧迫している支出

家計を圧迫している支出は、最も割合が高いものでは、「家賃（住宅ローン含む）（47.0%）」が最も多く、「食費（27.1%）」、「育児費・教育費（13.6%）」が続いている（図表3-3-1）。

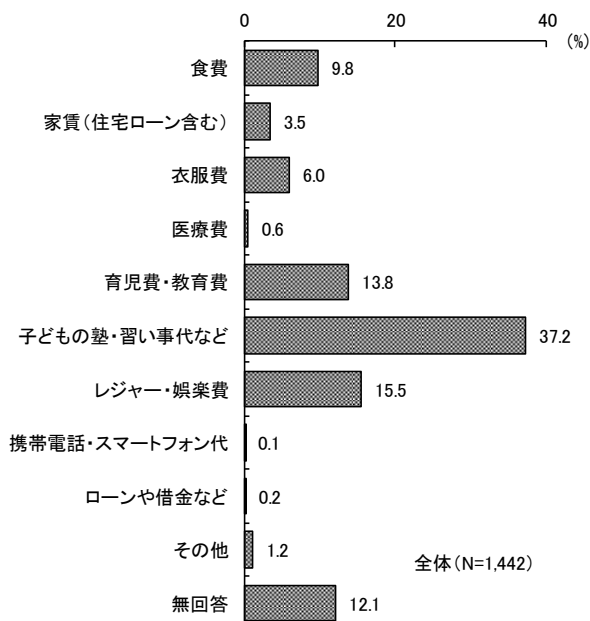
図表3-3-1 家計を圧迫している支出（全体：複数回答） ※最も割合の高いものを掲載



#### ② もっとお金をかけたいと思う費用

もっとお金をかけたいと思う費用は、最も割合が高いものでは、「子どもの塾・習い事代など（37.2%）」が最も多く、「レジャー・娯楽費（15.5%）」、「育児費・教育費（13.8%）」が続いている（図表3-3-2）。

図表3-3-2 もっとお金をかけたいと思う費用 ※最も割合の高いものを掲載



## 4 子育てについて

### (1) お子さんについて (問 20)

#### ① 性別

第1子の性別は「男性」が50.4%、「女性」が46.5%である。第2子と第4子も、「男性」の比率が「女性」を上回っている。第3子では「女性」の比率が「男性」を上回っている(図表4-1-1)。

図表4-1-1 性別(全体) <第1子以降は回答があった人>

			(%)		
			男性	女性	無回答
第1子	(N=1,442)		50.4	46.5	3.1
第2子	(n= 608)		49.5	49.2	1.3
第3子	(n= 152)		48.0	50.0	2.0
第4子	(n= 27)		48.2	48.1	3.7

#### ② 年齢

第1子の年齢は、「16~18歳(18.7%)」が最も多く、「13~15歳(17.2%)」、「10~12歳(15.5%)」が続いている。第2子で最も多かったのは「16~18歳(23.4%)」であり、第3子では「16~18歳(25.7%)」、第4子では「13~15歳(37.1%)」となっている(図表4-1-2)。

図表4-1-2 年齢(全体) <第1子以降は回答があった人>

			(%)							
			0 ~ 3 歳	4 ~ 6 歳	7 ~ 9 歳	10 ~ 12 歳	13 ~ 15 歳	16 ~ 18 歳	19 歳 以上	無 回 答
第1子	(N=1,442)		6.2	8.6	13.9	15.5	17.2	18.7	15.3	4.6
第2子	(n= 608)		4.2	8.1	14.1	17.8	21.7	23.4	10.7	0.0
第3子	(n= 152)		4.8	4.1	18.4	20.4	18.4	25.7	8.2	0.0
第4子	(n= 27)		7.4	11.1	7.4	7.4	37.1	22.2	7.4	0.0

## ③ 同居・別居

第1子では、「同居（88.3%）」が9割弱を占めている。第2子、第3子、第4子でも「同居」が大多数を占めている（図表4-1-3）。

図表4-1-3 同居・別居（全体）＜第1子以降は回答があった人＞

		（%）		
		同居	別居	無回答
第1子	（N=1,442）	88.3	5.7	6.0
第2子	（n= 608）	83.1	4.9	12.0
第3子	（n= 152）	73.0	4.6	22.4
第4子	（n= 27）	88.9	0.0	11.1

## ④ 学齢

第1子の学齢は、「高校生（20.5%）」が最も多く、「中学生（17.1%）」、「小学校4～6年生（16.7%）」の順となっている。第2子で最も多かったのは「高校生（23.7%）」であり、第3子では「高校生（27.0%）」、第4子では「中学生（33.4%）」となっている（図表4-1-4）。

図表4-1-4 学齢（全体）＜第1子以降は回答があった人＞

			（%）								
			未就学児	小学校1～3年生	小学校4～6年生	中学生	高校生	フリースクールなど	大学生等	その他	無回答
第1子	（N=1,442）	13.7	13.3	16.7	17.1	20.5	0.2	8.3	7.7	2.5	
第2子	（n= 608）	10.7	12.7	17.6	21.9	23.7	0.2	5.6	5.6	2.0	
第3子	（n= 152）	8.6	18.4	19.7	16.4	27.0	0.0	2.0	5.3	2.6	
第4子	（n= 27）	18.5	7.4	7.4	33.4	25.9	0.0	3.7	3.7	0.0	

⑤ 出席状況

第1子の出席状況は、「週5日（80.9%）」が8割強を占めている。第2子、第3子、第4子でも「週5日」が最も多く、7割を超えている（図表4-1-5）。

図表4-1-5 出席状況（全体）＜就学している人、第1子以降は回答があった人＞

			(%)					
			週 5 日	週 3 ～ 4 日	週 1 ～ 2 日	月 数 回	通 っ て い な い	無 回 答
第	1	子 (n= 978)	80.9	1.4	0.9	0.9	1.2	14.7
第	2	子 (n= 463)	78.6	1.3	0.9	1.1	3.0	15.1
第	3	子 (n= 124)	79.1	4.0	0.8	0.8	1.6	13.7
第	4	子 (n= 20)	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

⑥ 学校の種類

第1子の学校の種類は、「公立（区立、都立）（63.8%）」が最も多く、「私立（21.0%）」、「国立・公立中高一貫校（0.7%）」が続いている。第2子、第3子、第4子でも「公立（区立、都立）」が最も多く、6割を超えている（図表4-1-6）。

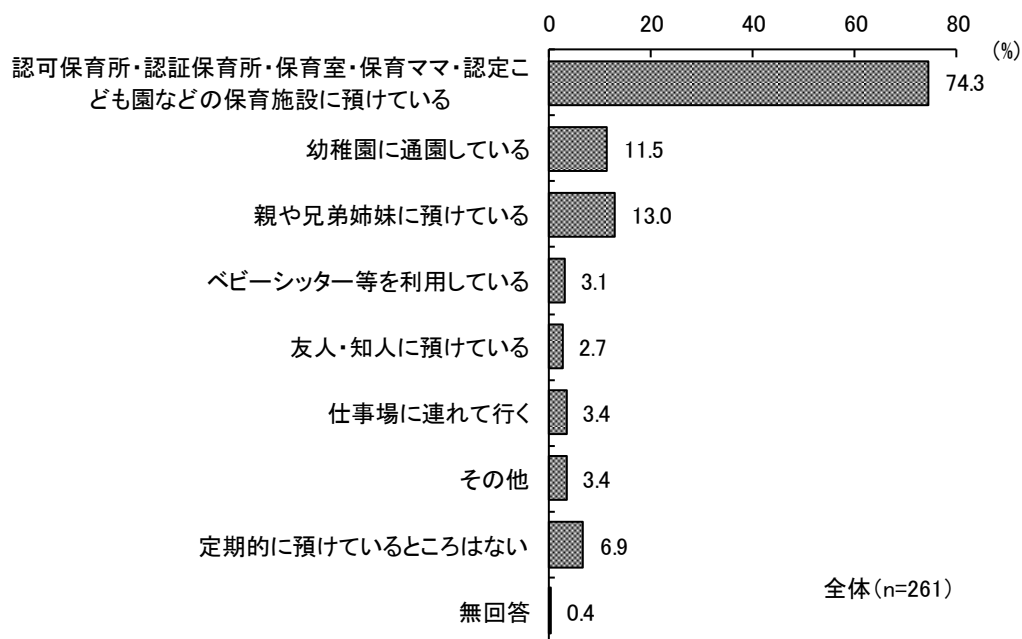
図表4-1-6 学校の種類（全体）＜就学している人、第1子以降は回答があった人＞

			(%)			
			立公 ～立 (区 立、 都	私 立	一 国 立 中 高 一 貫 校 ・ 公 立 中 高	無 回 答
第	1	子 (n= 975)	63.8	21.0	0.7	14.5
第	2	子 (n= 462)	65.0	21.2	0.2	13.6
第	3	子 (n= 124)	70.2	14.5	0.0	15.3
第	4	子 (n= 20)	65.0	15.0	5.0	15.0

## (2) 定期的な子どもの預け先 (問 21)

就学前の子どもがいる人に、定期的な子どもの預け先をたずねたところ、「認可保育所・認証保育所・保育室・保育ママ・認定こども園などの保育施設に預けている (74.3%)」が最も多く、「親や兄弟姉妹に預けている (13.0%)」、「幼稚園に通園している (11.5%)」が続いている (図表 4-2)。

図表 4-2 定期的な子どもの預け先 (全体：複数回答) <就学前の子どもがいる人>



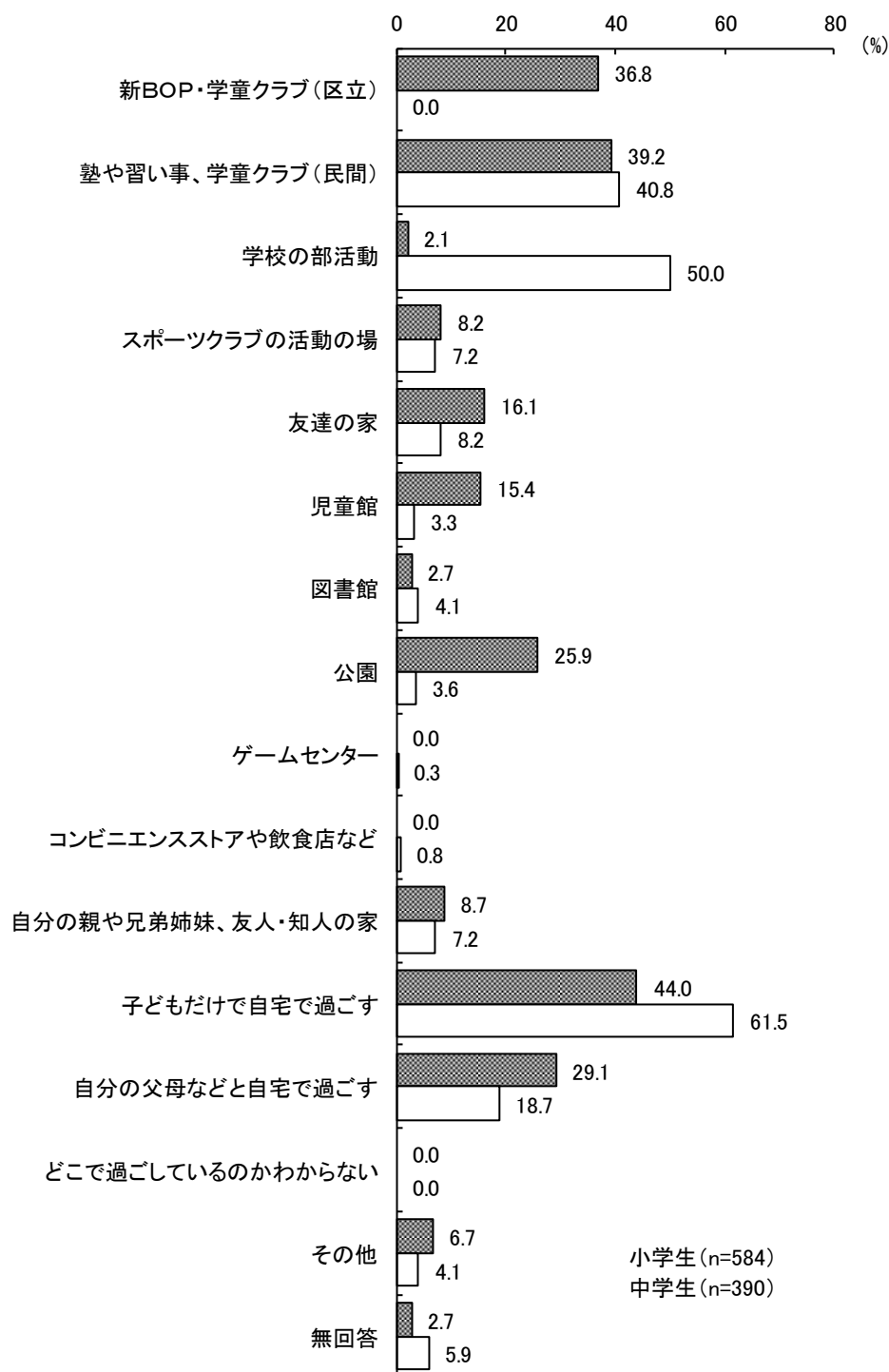
(3) 放課後の過ごし方等 (問 22)

① 放課後の過ごす場所

小学生～中学生の子どもがいる人に対して放課後の過ごす場所をたずねたところ、小学生では、「子どもだけで自宅で過ごす (44.0%)」が最も多く、「塾や習い事、学童クラブ (民間) (39.2%)」、「新 BOP・学童クラブ (区立) (36.8%)」が続いている。中学生では、「子どもだけで自宅で過ごす (61.5%)」が最も多く、「学校の部活動 (50.0%)」、「塾や習い事、学童クラブ (民間) (39.2%)」が続いている (図表 4-3-1)。

図表 4-3-1 放課後の過ごす場所 (全体：複数回答 (3つまで))

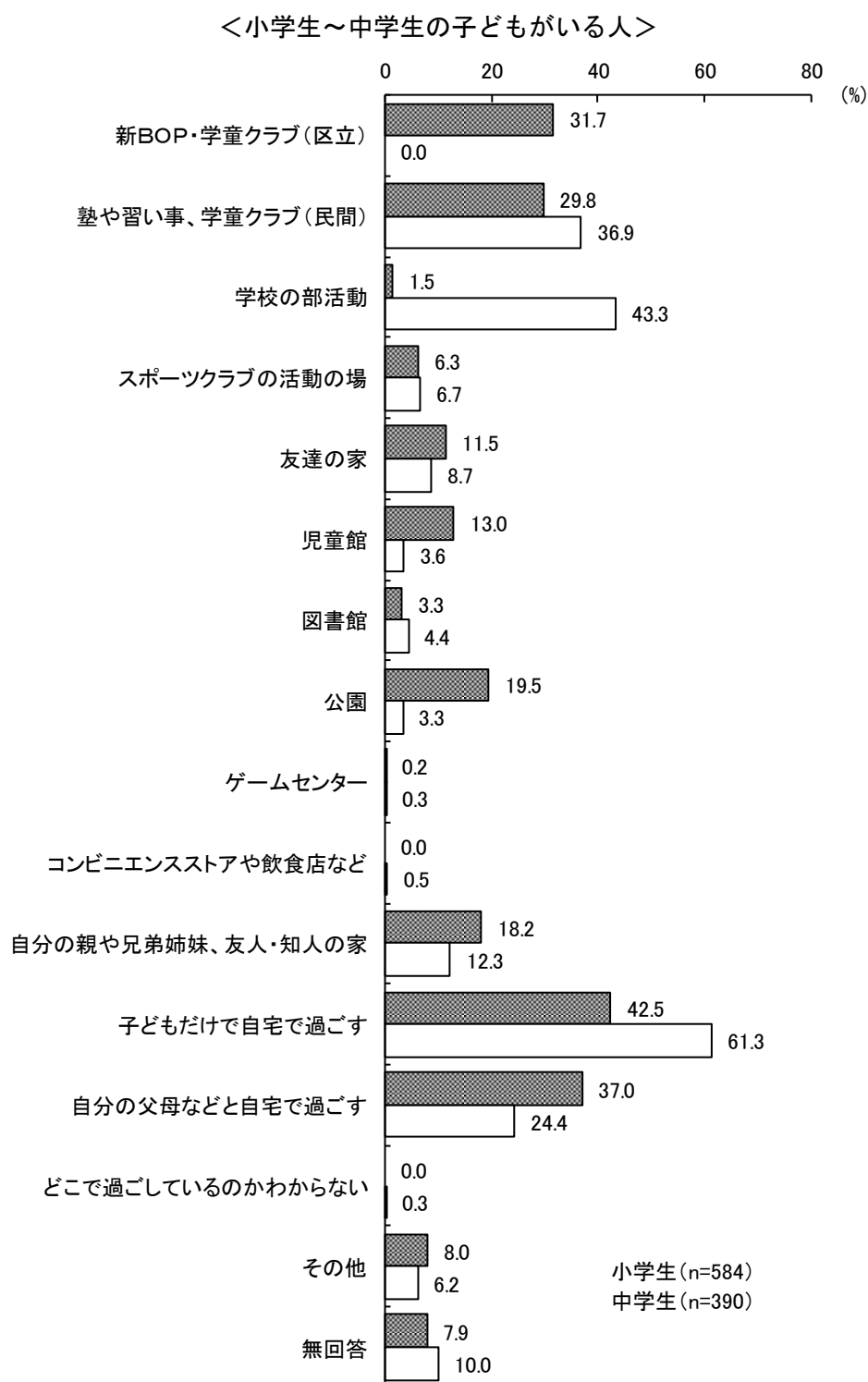
<小学生～中学生の子どもがいる人>



## ② 夏休みなどの長期休暇中の過ごす場所

小学生～中学生の子どもがいる人に対して夏休み等の長期休暇中の過ごす場所をたずねたところ、「子どもだけで自宅で過ごす（42.5%）」が最も多く、「自分の父母などと自宅で過ごす（37.0%）」、「新BOP・学童クラブ（区立）（31.7%）」が続いている。中学生では「子どもだけで自宅で過ごす（61.3%）」が最も多く、「学校の部活動（43.3%）」、「塾や習い事、学童クラブ（民間）（36.9%）」が続いている（図表4-3-2）。

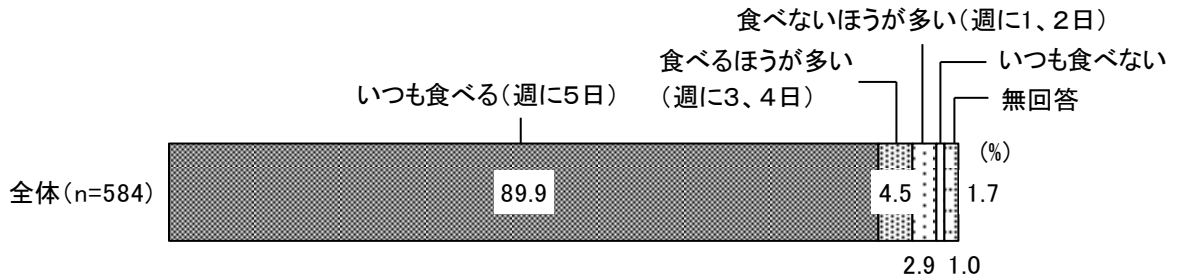
図表4-3-2 夏休みなどの長期休暇中の過ごす場所（全体：複数回答（3つまで））



(4) 子どもが朝ご飯を食べる頻度 (問 23-1)

小学生の子どもの朝ご飯を食べる頻度は、「いつも食べる (週に5日) (89.9%)」が9割弱を占めている (図表4-4)。

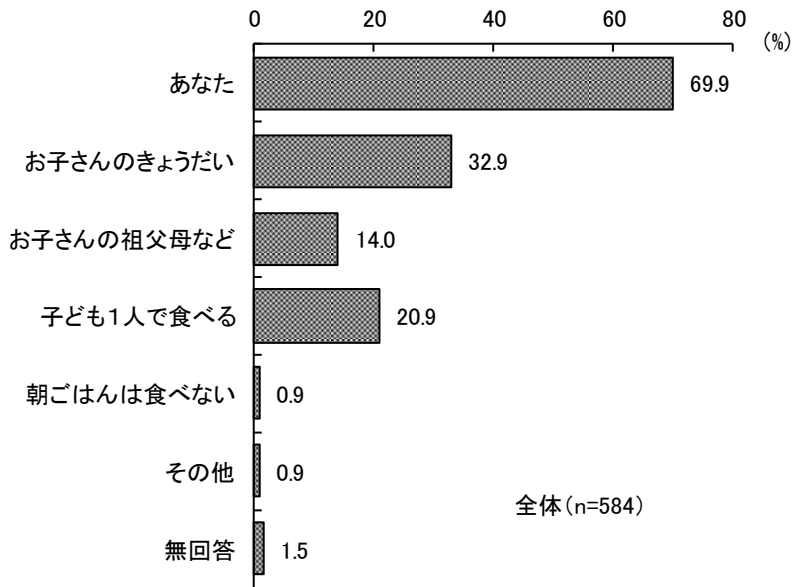
図表4-4 子どもが朝ご飯を食べる頻度 (全体) <小学生の子どもがいる人>



(5) 子どもが朝ご飯を食べる相手 (問 23-2)

小学生の子どもの朝ご飯を食べる相手は、「あなた (69.9%)」が最も多く、「お子さんのきょうだい (32.9%)」、「子ども1人で食べる (20.9%)」が続いている (図表4-5)。

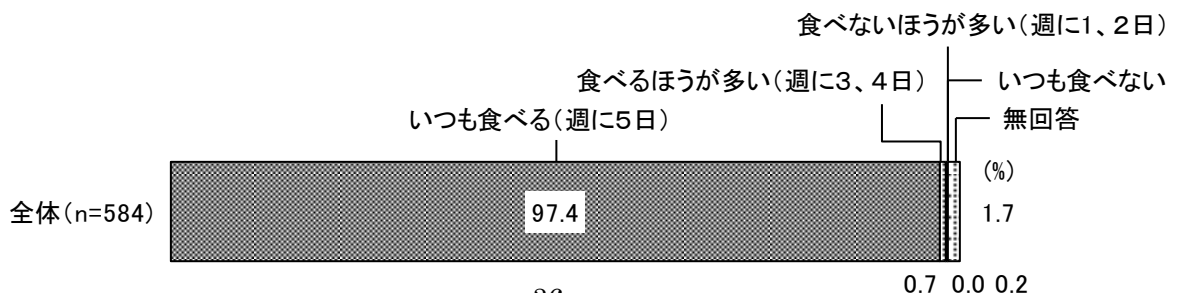
図表4-5 子どもが朝ご飯を食べる相手 (全体：複数回答) <小学生の子どもがいる人>



(6) 子どもが夕ご飯を食べる頻度 (問 23-3)

小学生の子どもの夕ご飯を食べる頻度は、「いつも食べる (週に5日) (97.4%)」が9割台を占めている (図表4-6)。

図表4-6 子どもが夕ご飯を食べる頻度 (全体) <小学生の子どもがいる人>

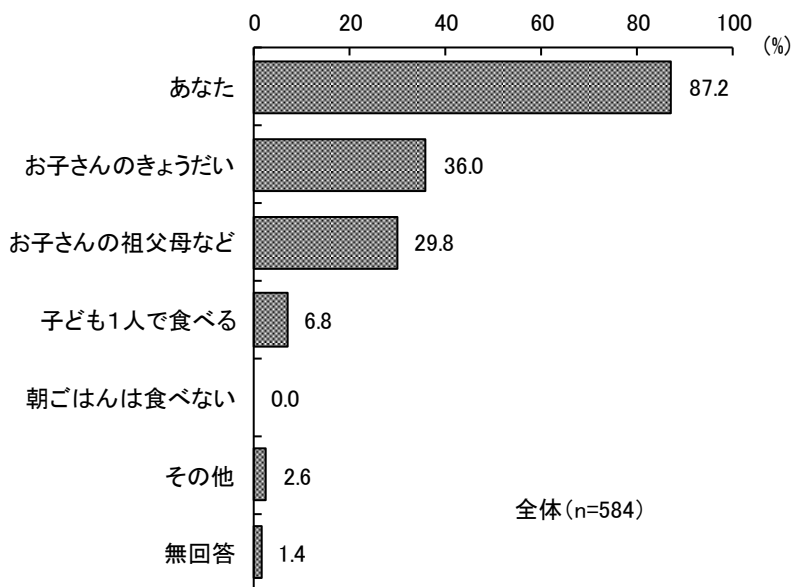




(7) 子どもが夕ご飯を食べる相手 (問 23-4)

小学生の子どもの夕ご飯を食べる相手は、「あなた (87.2%)」が最も多く、「お子さんのきょうだい (36.0%)」、「お子さんの祖父母など (29.8%)」が続いている (図表 4-7)。

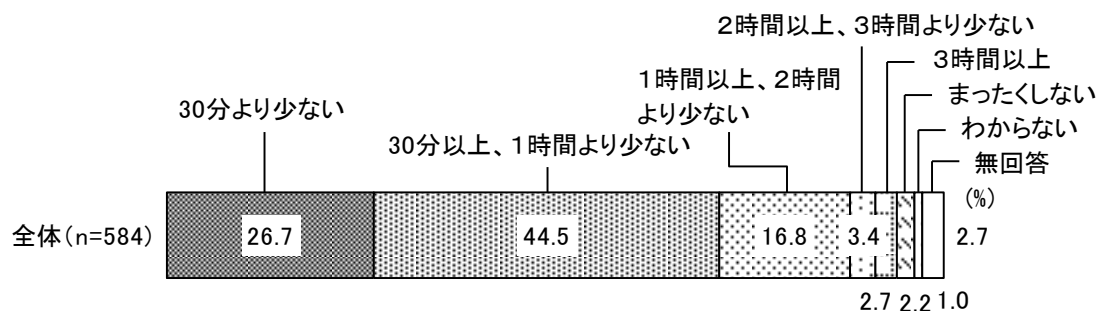
図表 4-7 子どもが夕ご飯を食べる相手 (全体: 複数回答) <小学生の子どもがいる人>



(8) 学校の授業以外の勉強時間 (問 23-5)

小学生の子どもの学校の授業以外の勉強時間は、「30分以上、1時間より少ない (44.5%)」が4割台を占め、「30分より少ない (26.7%)」、「1時間以上、2時間より少ない (16.8%)」が続いている (図表 4-8)。

図表 4-8 学校の授業以外の勉強時間 (全体) <小学生の子どもがいる人>

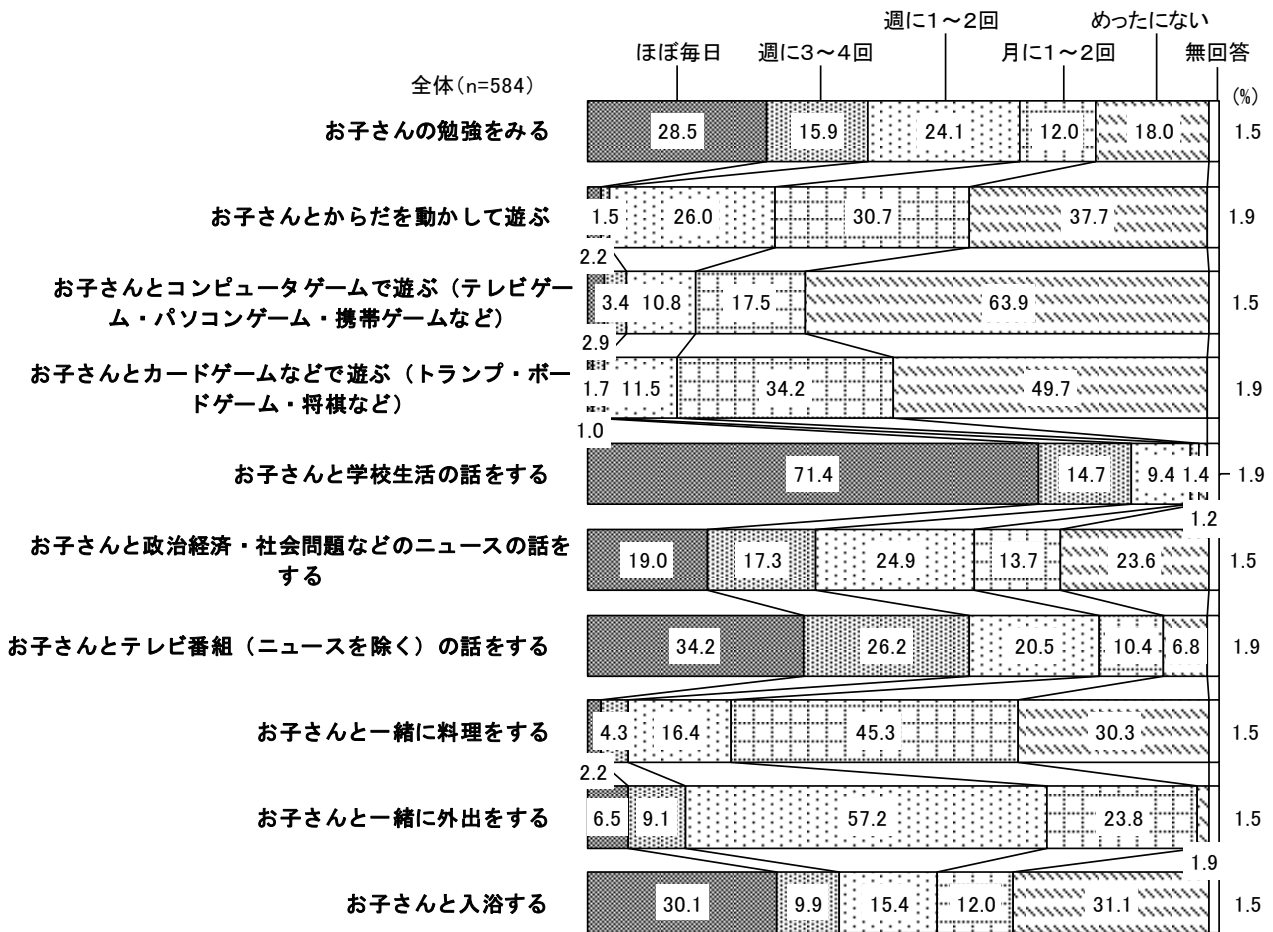


(9) 子どもとのコミュニケーション方法（問23-6）

小学生の子どもとのコミュニケーション方法についてたずねたところ、「ほぼ毎日」の割合は、『お子さんと学校生活の話をする（71.4%）』が最も高く、『お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする（34.2%）』、『お子さんと入浴する（30.1%）』が続いている。

また、「めったにない」の割合は、『お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど）』で63.9%、『お子さんとカードゲームなどで遊ぶ（トランプ・ボードゲーム・将棋など）』で49.7%となっている（図表4-9）。

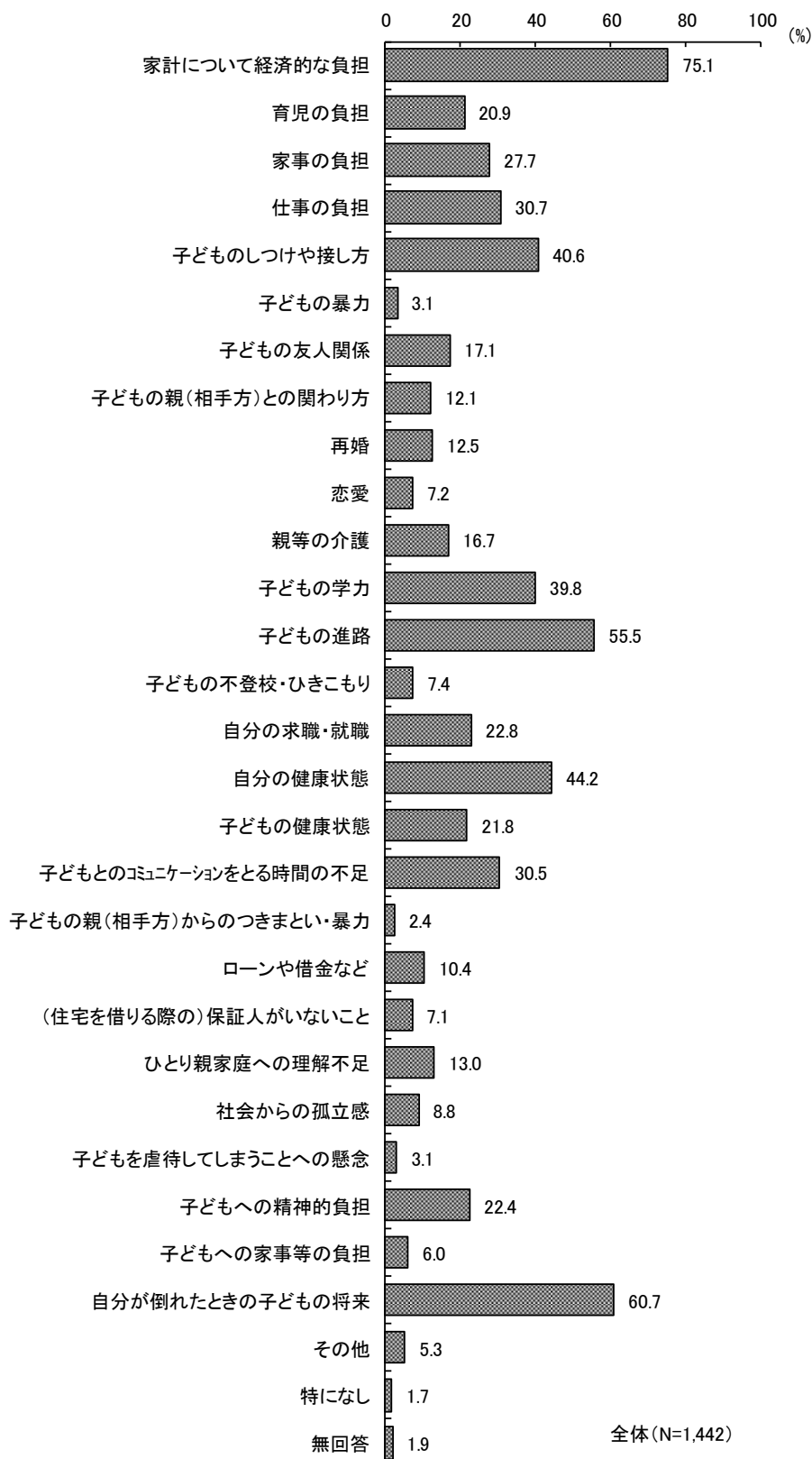
図表4-9 子どもとのコミュニケーション方法（全体：複数回答）＜小学生の子どもがいる人＞



## (10) 現在の子どもや自分のことでの悩みごと（問24）

現在の子どもや自分のことでの悩みごとは、「家計について経済的な負担（75.1%）」が最も多く、「自分が倒れたときの子どもの将来（60.7%）」、「子どもの進路（55.5%）」が続いている（図表4-10）。

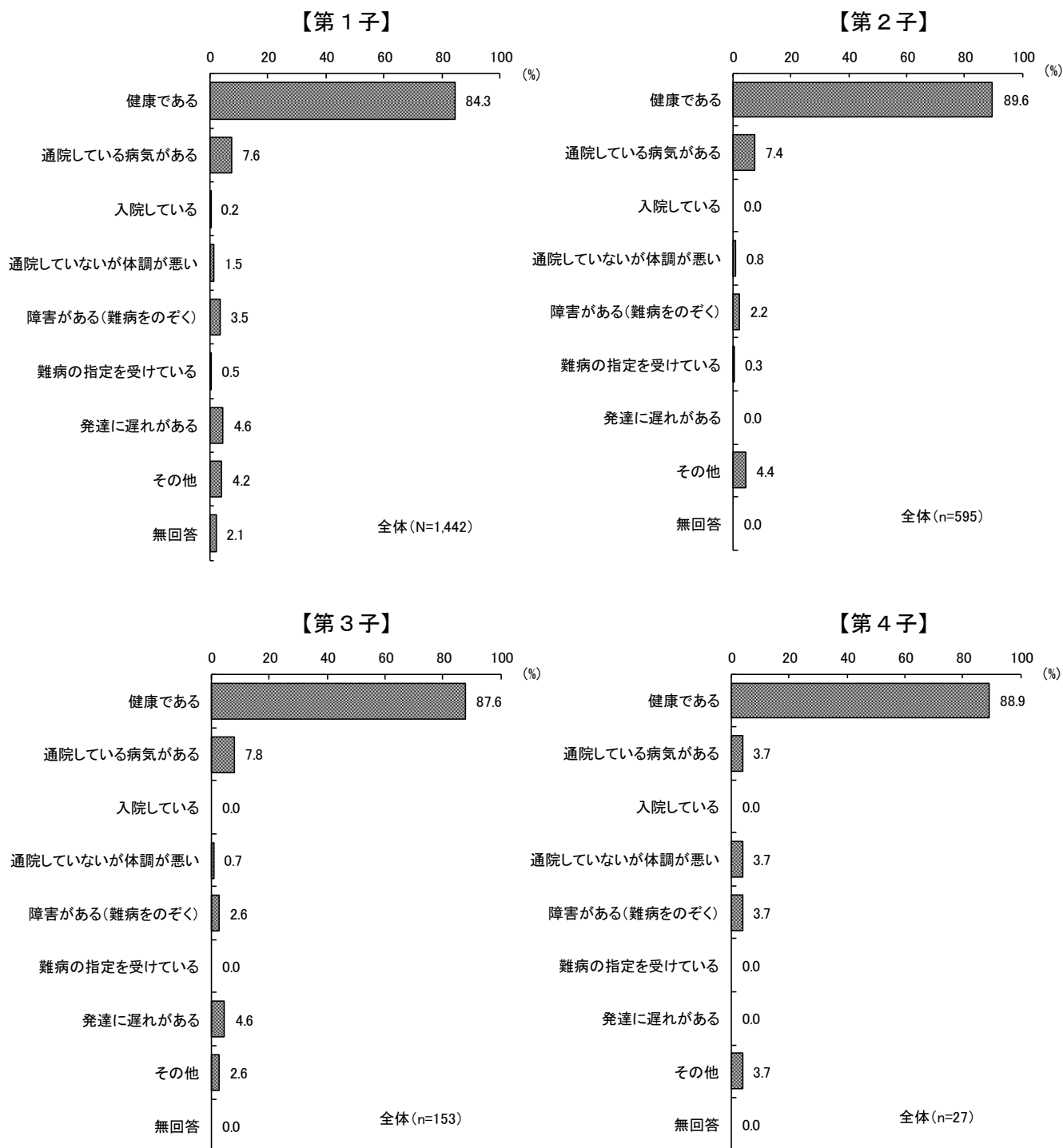
図表4-10 現在の子どもや自分のことでの悩みごと（全体：複数回答）



(11) 子どもの健康・発達の状況（問 25）

子どもの健康・発達の状況は、第1子から第4子まで「健康である」が8割を超えている。  
（図表4-11）。

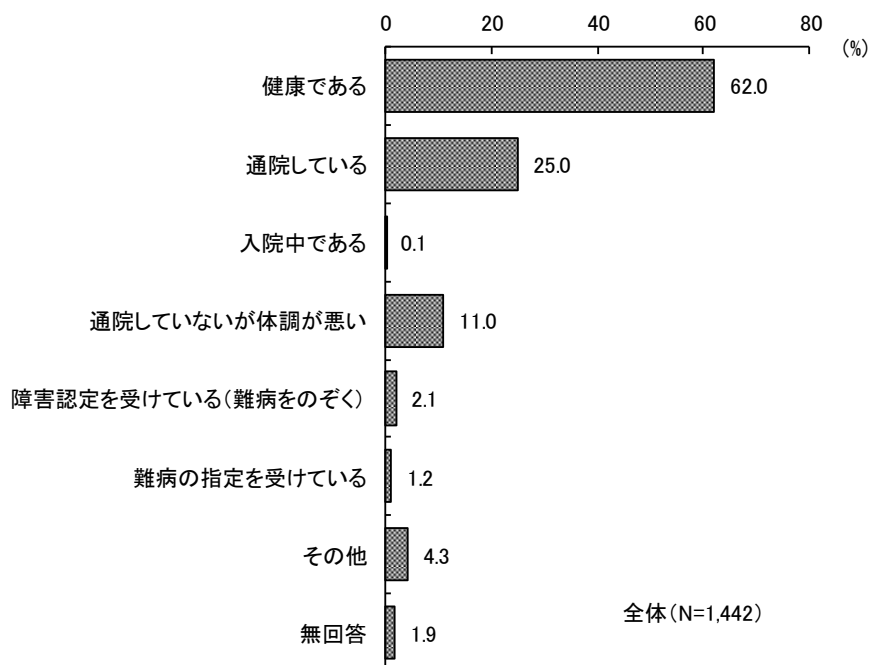
図表4-11 子どもの健康・発達の状況（全体：複数回答）＜第1子以降は回答があった人＞



## (12) ひとり親の健康状態（問 25－1）

健康状態についてたずねたところ、「健康である（62.0%）」が6割台で最も多く、「通院している（25.0%）」、「通院していないが体調が悪い（11.0%）」が続いている（図4－12）。

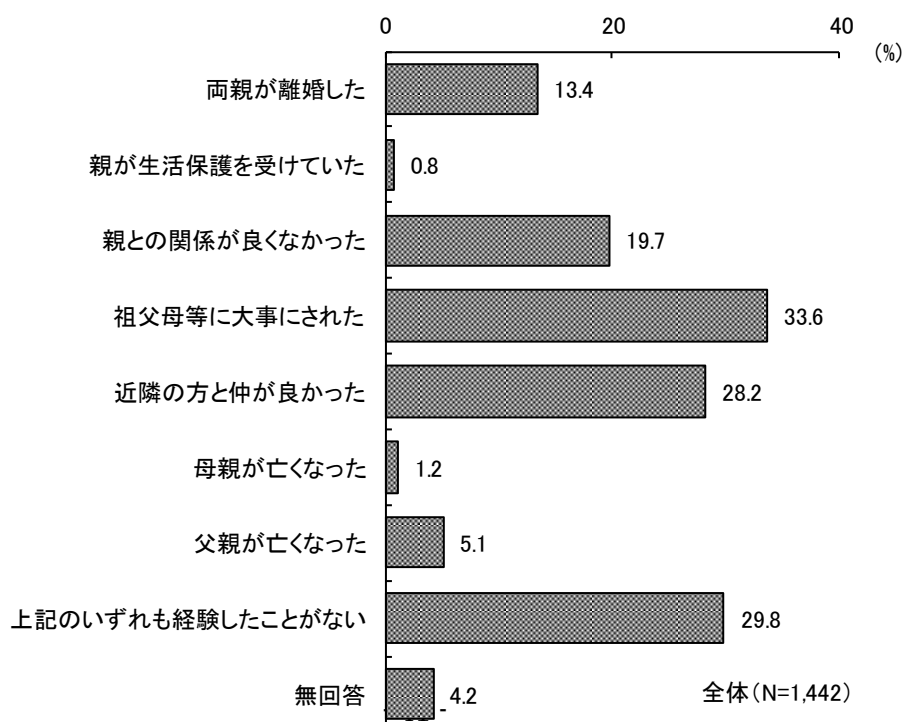
図表4－12 ひとり親の健康状態（全体：複数回答）



## (13) ひとり親の成人前の経験（問 25－2）

成人前の経験についてたずねたところ、「祖父母等に大事にされた（33.6%）」が最も多く、「上記のいずれも経験したことがない（29.8%）」、「近隣の方と仲がよかった（28.2%）」が続いている。（図4－13）。

図表4－13 ひとり親の成人前の経験（全体：複数回答）



(14) 病院や歯医者を受診できなかったことがあるか（問 25-3）

過去1年間に、病院や歯医者を受診できなかったことがあるかたずねたところ、「受診できなかったことがあった（23.9%）」が2割台となっている（図4-14）。

図表4-14 病院や歯医者を受診できなかったことがあるか（全体）

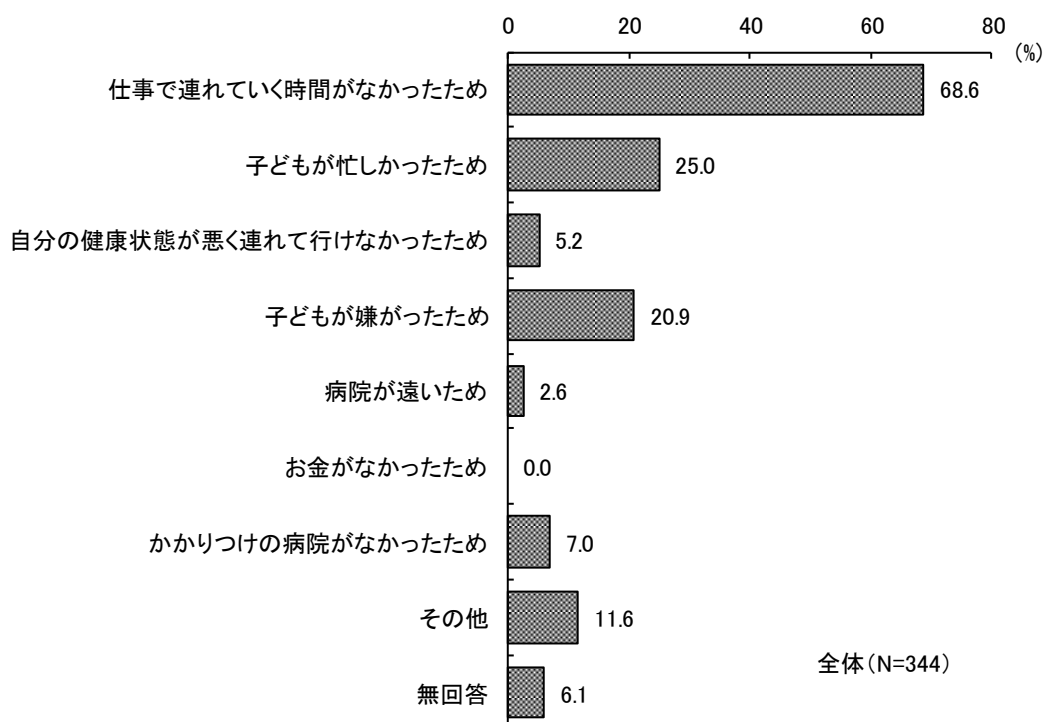


(15) 病院や歯医者を受診できなかった理由（問 25-4）

過去1年間に、病院や歯医者を受診できなかったことがあった人に、その理由をたずねたところ、「仕事で連れていく時間がなかったため（68.6%）」が6割台で最も多く、「子どもが忙しかったため（25.0%）」、「子どもが嫌がったため（20.9%）」が続いている（図4-15）。

図表4-15 病院や歯医者を受診できなかった理由（全体：複数回答）

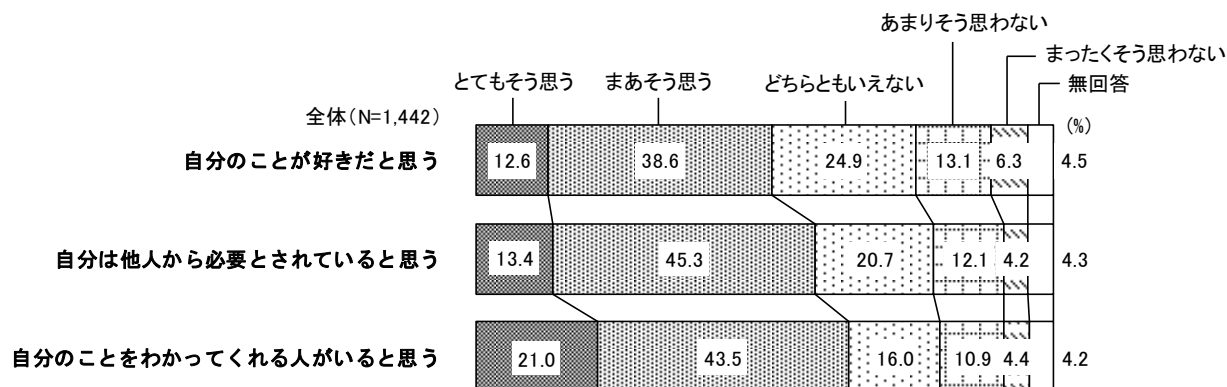
<過去1年間に、病院や歯医者を受診できなかったことがあった人>



(16) 自分のことをどう思うか (問 26)

自分のことをどう思うかたずねたところ、「とてもそう思う」と「まあそう思う」を合わせた《そう思う》の割合は、『自分のことをわかってくれる人がいると思う』が 64.5%、『自分は他人から必要とされていると思う』が 58.7%、『自分のことが好きだと思う』が 51.2% となっている (図表 4-16)。

図表 4-16 自分のことが好きだと思う (全体)



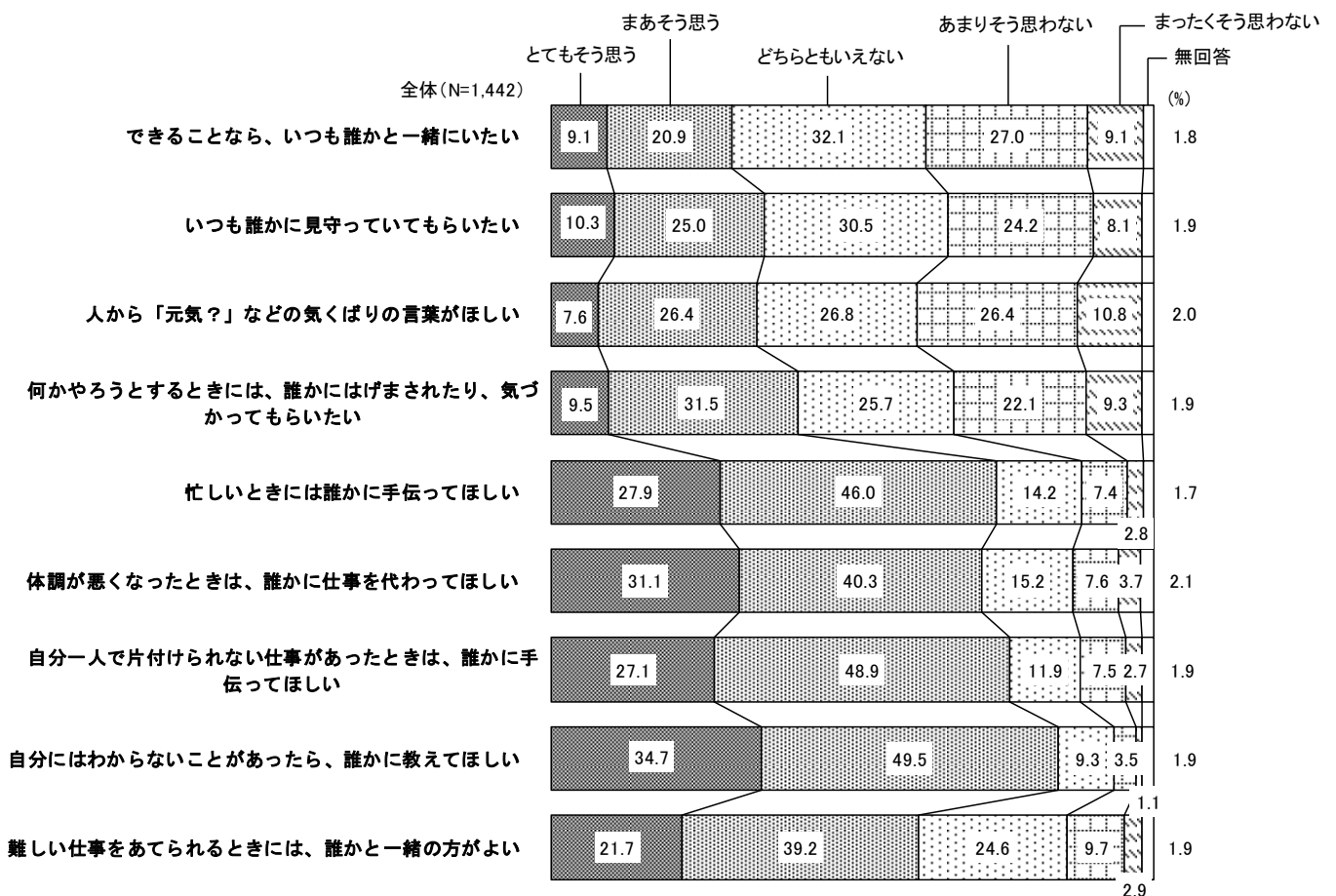
## 5 相談支援について

### (1) 周囲の人との関わり方 (問 27)

周囲の人との関わり方についてたずねたところ、「とてもそう思う」と「まあそう思う」を合わせた《そう思う》の割合は、『自分にはわからないことがあったら、誰かに教えてほしい (84.2%)』が8割台で最も多く、『自分一人で片付けられない仕事があったときは、誰かに手伝ってほしい (76.0%)』、『忙しいときには誰かに手伝ってほしい (73.9%)』が続いている。

「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた《そう思わない》の割合は、『人から「元気？」などの気くばりの言葉がほしい (37.2%)』が最も多く、『できることなら、いつも誰かと一緒にいたい (36.1%)』、『何かやろうとするときには、誰かにはげまされたり、気づかってもらいたい (31.4%)』が続いている (図5-1)。

図表5-1 周囲の人との関わり方 (全体)

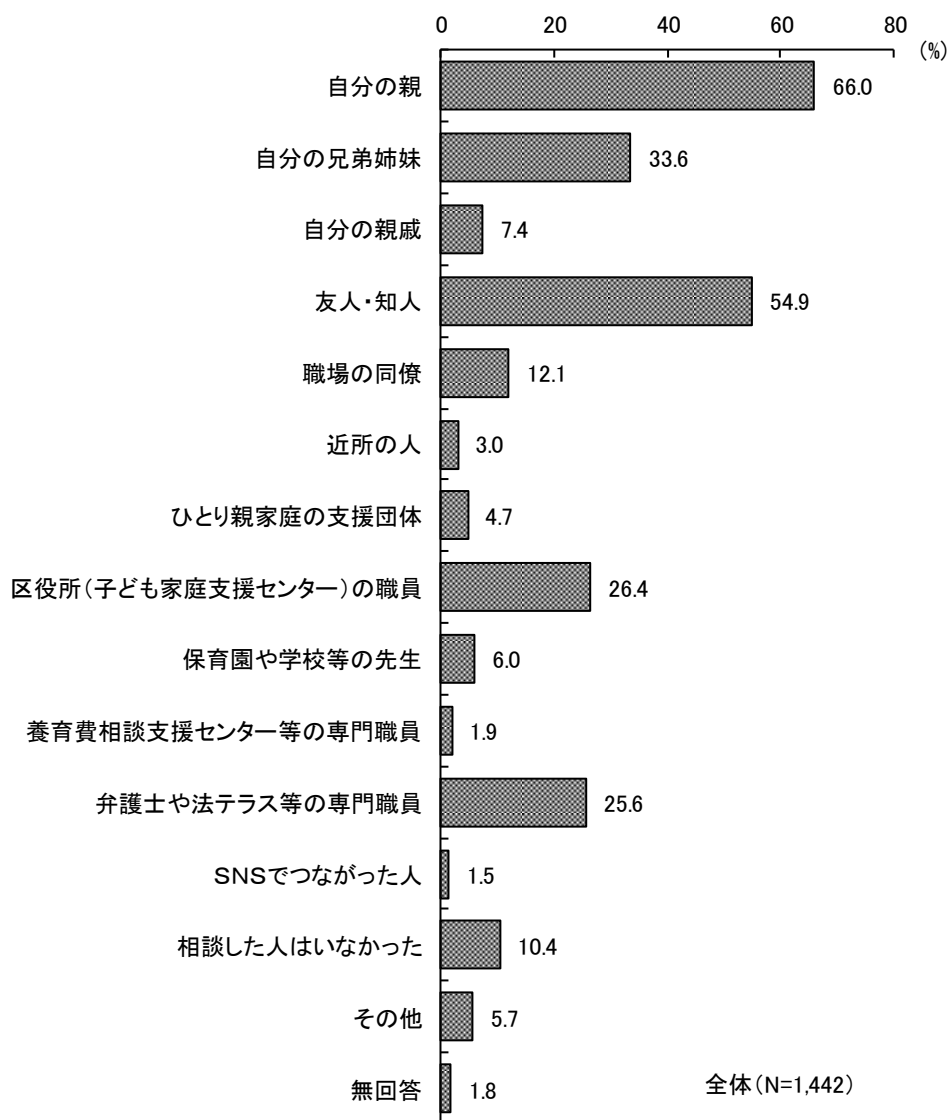




## (2) ひとり親になる前後の悩みごとの相談先（問28）

ひとり親になった頃の悩みごとの相談先は、「自分の親（66.0%）」が最も多く、「友人・知人（54.9%）」、「自分の兄弟姉妹（33.6%）」が続いている（図5-2）。

図表5-2 ひとり親になる前後の悩みごとの相談先（全体：複数回答）

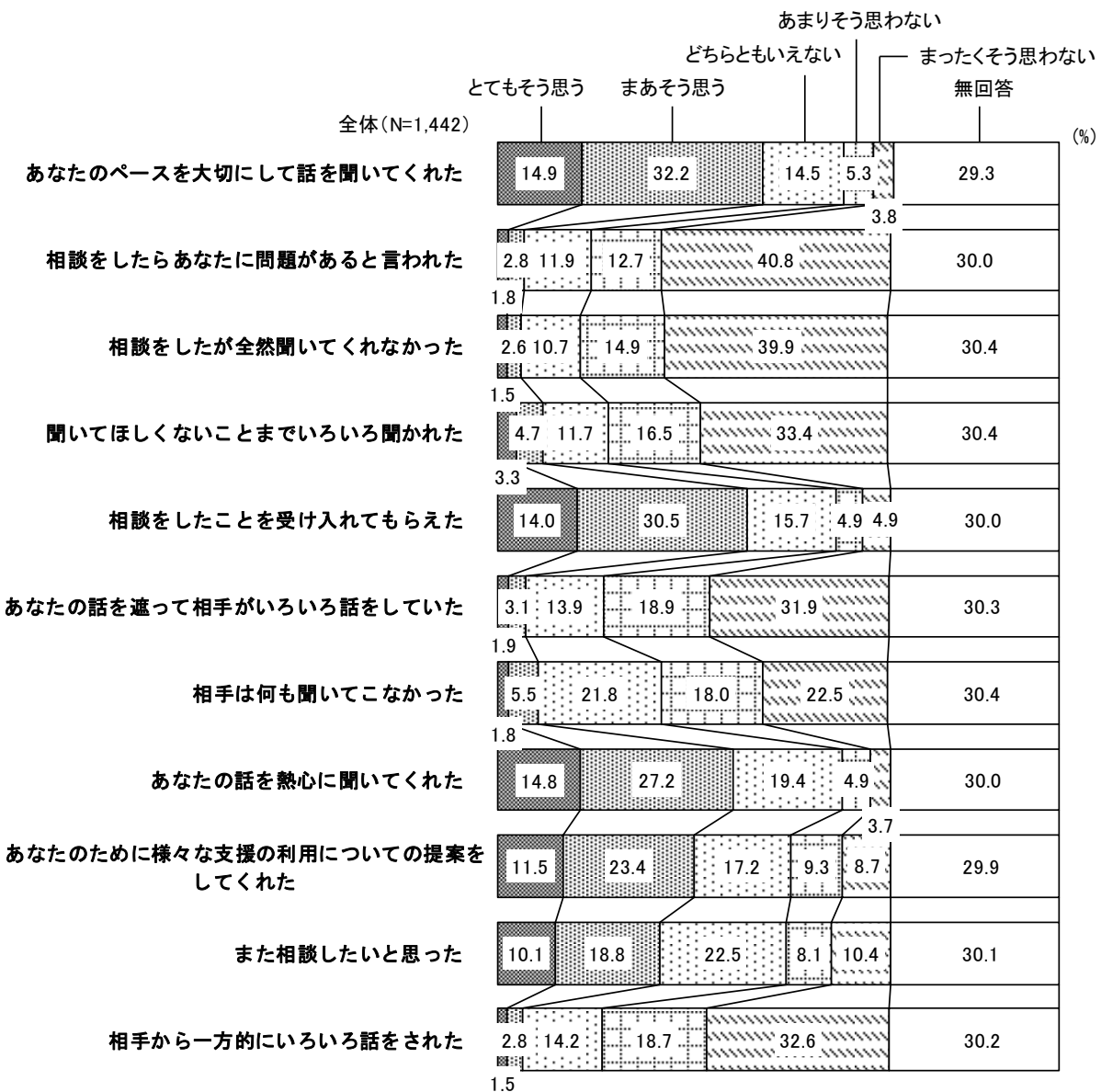


(3) ひとり親になる前後の専門職への相談で体験したこと (問 29)

周囲の人との関わり方についてたずねたところ、「とてもそう思う」と「まあそう思う」を合わせた《そう思う》の割合は、『あなたのペースを大切に話を聞いてくれた (47.1%)』が最も多く、『相談したことを受け入れてもらった (44.5%)』、『あなたの話を熱心に聞いてくれた (42.0%)』が続いている。

「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた《そう思わない》の割合は、『相談したが全然聞いてくれなかった (54.8%)』が最も多く、『相談したらあなたに問題があると言われた (53.5%)』、『相手から一方的に話をされた (51.3%)』が続いている (図表 5-3)。

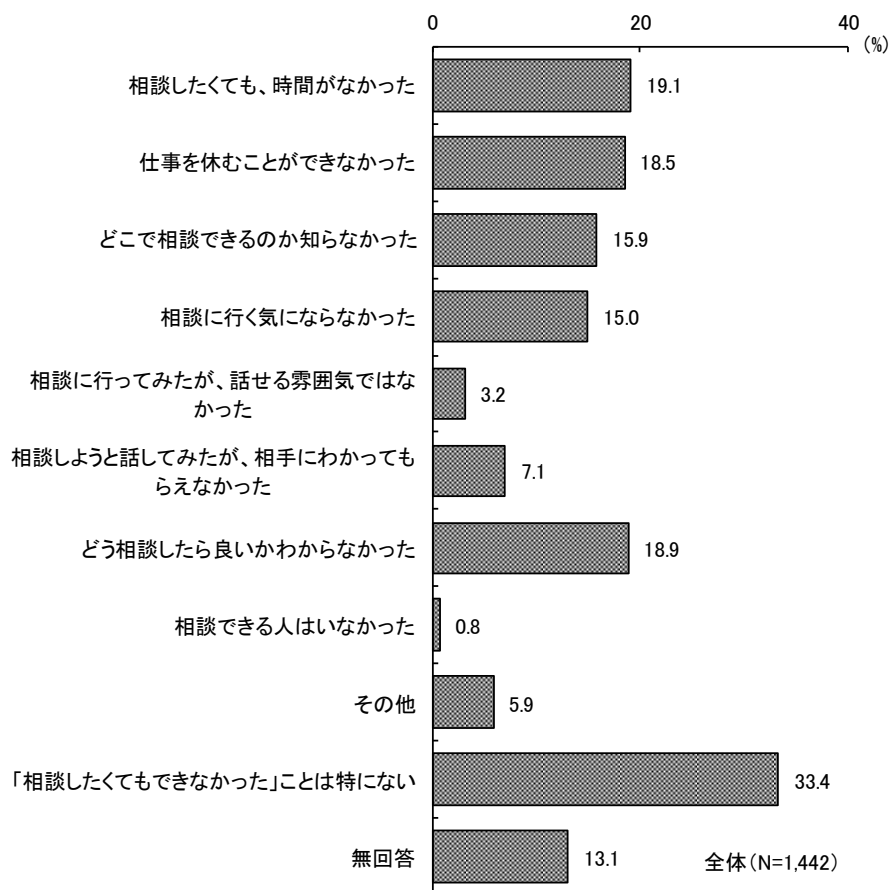
図表 5-3 ひとり親になる前後の専門職への相談で体験したこと (全体：複数回答)



## (4) 相談したくてもできなかった理由 (問 29-1)

相談したくてもできなかった理由をたずねたところ、「相談したくてもできなかった」ことは特にない (33.4%) が3割台である。できなかった理由は、「相談したくても、時間がなかった (19.1%)」、「どう相談したら良いかわからなかった (18.5%)」、「仕事を休むことができなかった (18.5%)」などが多くなっている (図表 5-4)。

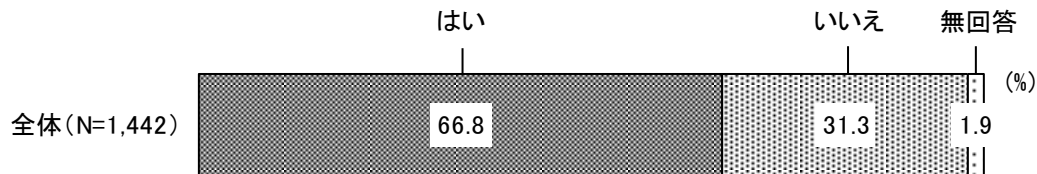
図表 5-4 相談したくてもできなかった理由 (全体：複数回答)



(5) 世田谷区の総合支所の生活支援課の認知 (問 30)

世田谷区の総合支所の生活支援課の認知率 (「はい」) は 66.8%となっている (図表 5-5)。

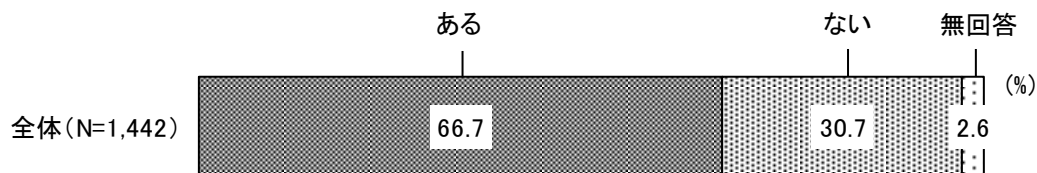
図表 5-5 世田谷区の総合支所の生活支援課の認知 (全体)



(6) 総合支所の生活支援課窓口の利用の有無 (問 31)

総合支所の生活支援課窓口の利用経験者 (「ある」) は 66.7%となっている (図表 5-6)。

図表 5-6 総合支所の生活支援課窓口の利用の有無 (全体)

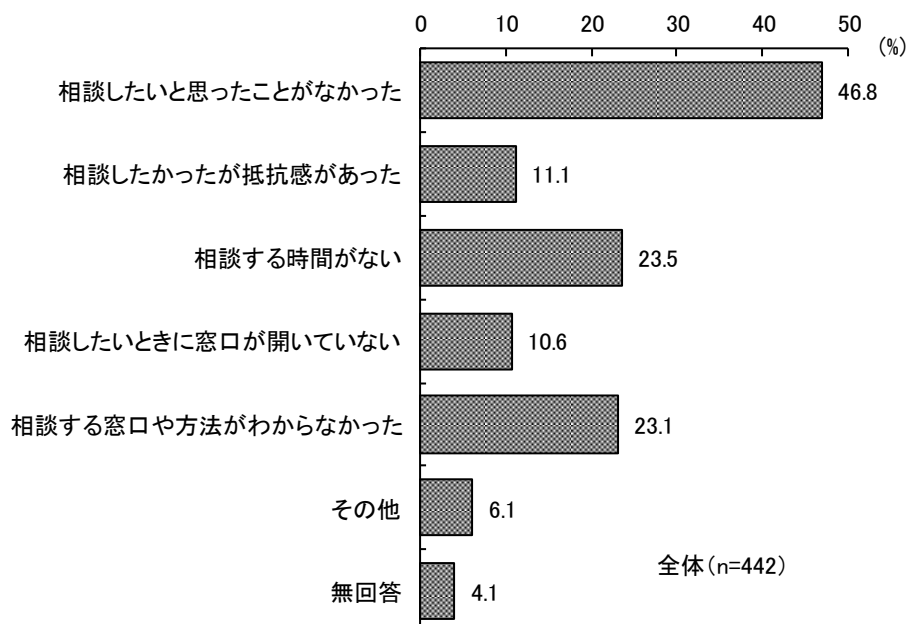


(7) 総合支所の生活支援課窓口を利用しなかった理由 (問 31-1)

総合支所の生活支援課窓口を利用したことがない人に、その理由をたずねたところ、「相談したいと思ったことがなかった (46.8%)」が最も多く、「相談する時間がない (23.5%)」、「相談する窓口や方法がわからなかった (23.1%)」が続いている (図表 5-7)。

図表 5-7 総合支所の生活支援課窓口を利用しなかった理由 (全体：複数回答)

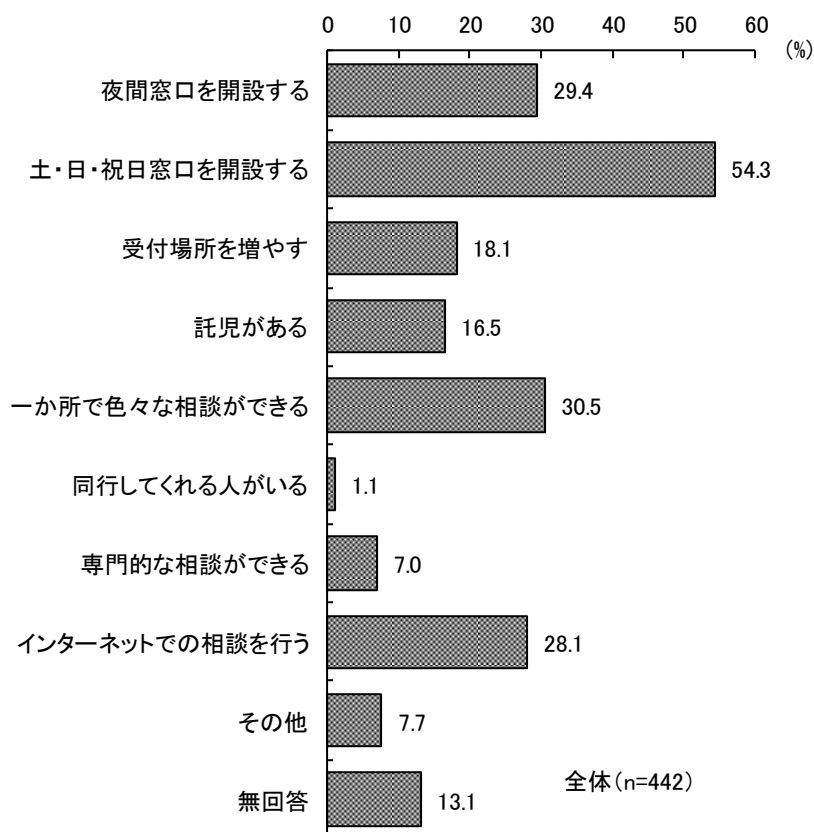
<総合支所の生活支援課窓口を利用したことがない人>



## (8) どうしたら区の窓口が利用しやすくなると思うか (問31-2)

総合支所の生活支援課窓口を利用したことがない人に、どうしたら区の窓口が利用しやすくなると思うかたずねたところ、「土・日・祝日窓口を開設する (54.3%)」が5割台で最も多く、「一か所で色々な相談ができる (30.5%)」、「インターネットでの相談を行う (28.1%)」が続いている (図表5-8)。

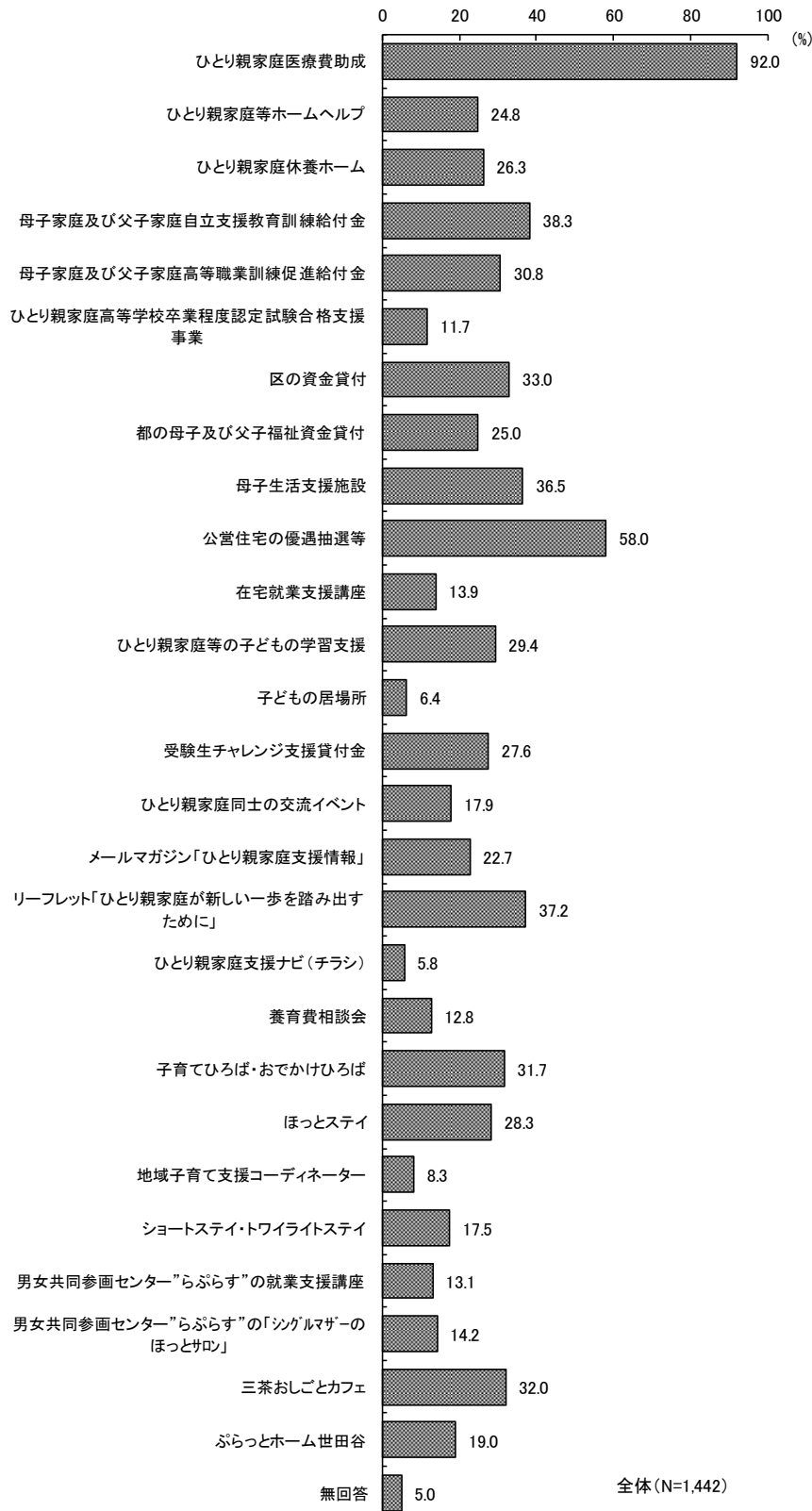
図表5-8 どうしたら区の窓口が利用しやすくなると思うか (全体：複数回答)  
 <総合支所の生活支援課窓口を利用したことがない人>



(9) 公的制度・施設等の認知状況（問32）

公的制度・施設等の認知度が高いのは、「ひとり親医療費助成（92.0%）」、「公営住宅の優遇抽選等（58.0%）」、「母子家庭及び父子家庭自立支援教育訓練給付金（38.3%）」、「リーフレット「ひとり親家庭が新しい一歩を踏み出すために」（37.2%）」などである（図表5-9）。

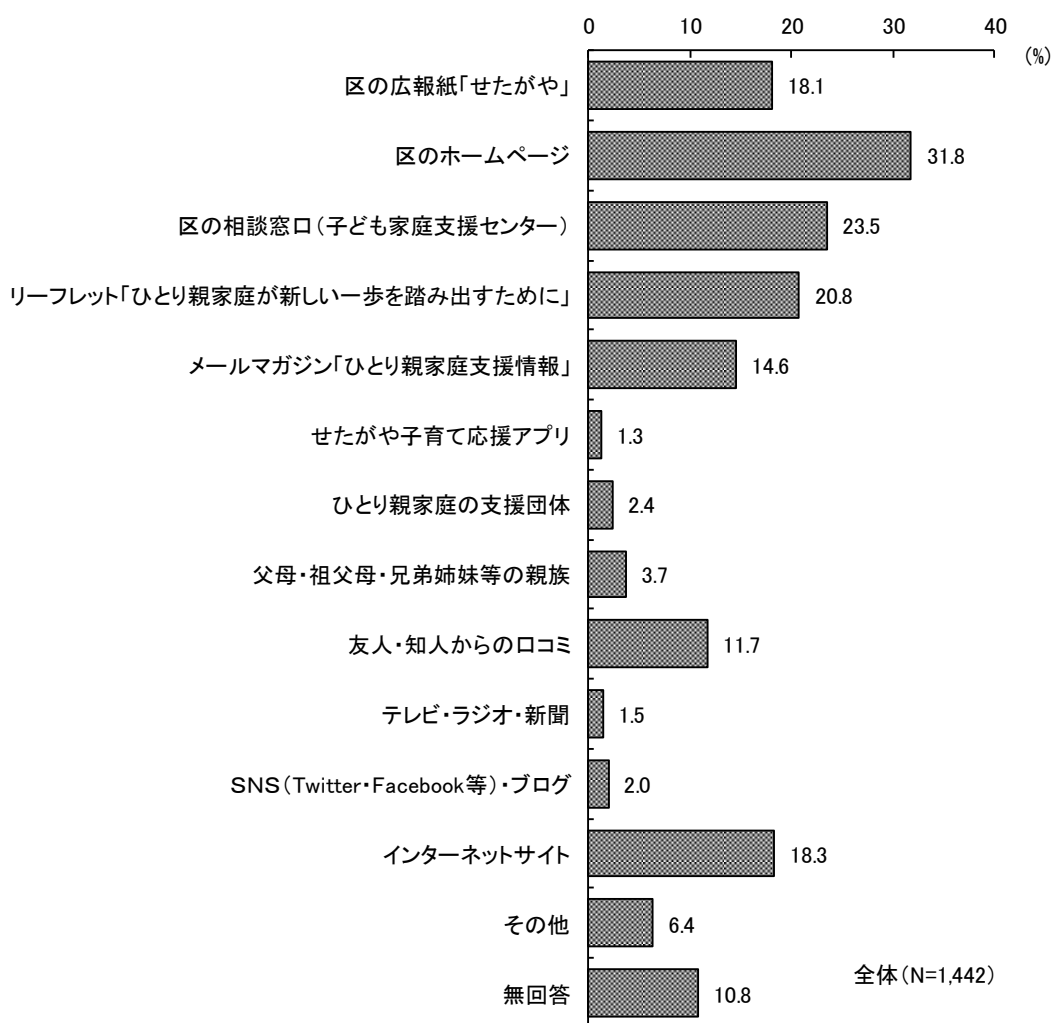
図表5-9 公的制度・施設等の認知状況（全体）



## (10) 支援情報の入手先 (問 33)

ひとり親家庭への支援情報の入手先は、「区のホームページ (31.8%)」が最も多く、「区の相談窓口 (子ども家庭支援センター) (23.5%)」、「リーフレット「ひとり親家庭が新しい一歩を踏み出すために」 (20.8%)」が続いている (図表 5-10)。

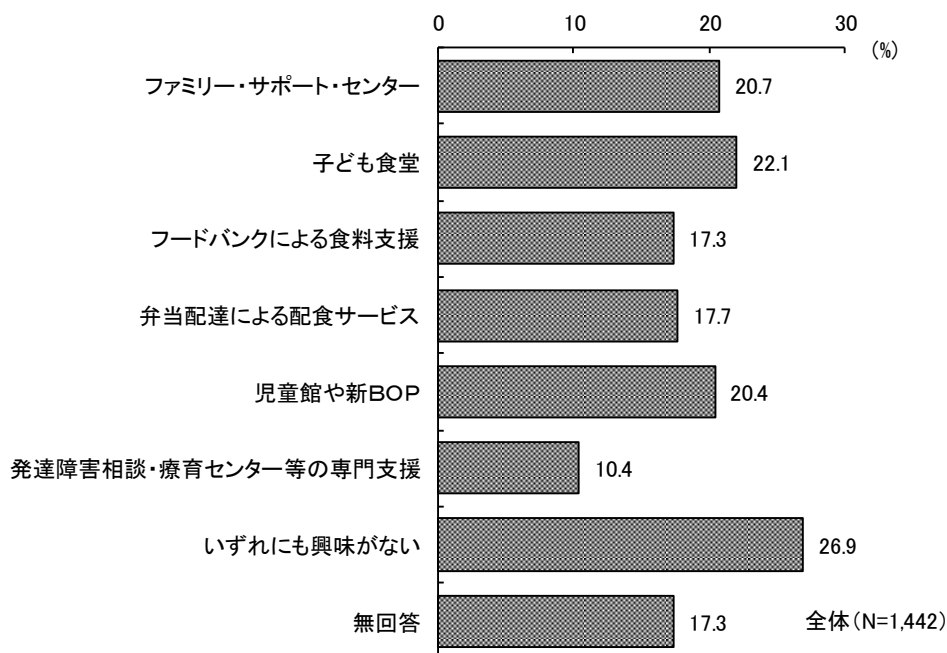
図表 5-10 支援情報の入手先 (全体：複数回答)



### (11) 支援制度等の利用意向（問 33-1）

支援制度等の利用意向は、「いずれにも興味がない（26.9%）」とする回答が最も多く、これに「子ども食堂（22.1%）」、「ファミリー・サポート・センター（20.7%）」、「児童館や新BOP（20.4%）」が続いている（図表4-22）。

図表4-11 公的制度・施設等の利用意向（全体：複数回答）



### (12) 悩みや不安、必要と感じる支援等について（問 34）

悩みや不安、必要と感じる支援等や、これまで子育てをしながら生活してきた中で、助けられたり、役に立ったと実感できた支援や出来事などについて、自由記述形式でたずねたところ、全体で 603 件の回答があった。以下、主なものを掲載する。（ ）内は回答者の性別となっている。

#### ①経済面の逼迫や困りごとについて：222 件

##### ◇経済的な困窮全般（88 件）

- ・ 年収で児童の支援金などを制限されているが、子の人数に対しての年収ではなく一律で年収で区切られており不公平に感じる。（女性）
- ・ 手当や支援は中学生で終了のもの、18 歳までで打ち切り。今時は高校とはほぼ全員が行く時代なのに支援などは時代に追いついていないと思います。（女性）
- ・ 区の手当は助かりますが、大学に子どもが入学する直前に手当が次々と終了してしまい、人生で一番お金の必要なときに手当も医療費も受けられないのは現実的におかしな制度だと思います。（女性）
- ・ 寡夫控除対象を全ひとり親家庭に広げていただき、全国に先がけて区民税に導入していただきたいです。（女性）



- ・フルタイムに復帰するとひとり親助成金がゼロになり、「せたがやの家」も解散し、家賃補助（4万円/月額）がなくなり、かなり生活が厳しい。（女性）
- ・金銭面の不安は常につきまとう。学生をしながら子育て、アルバイト、家事などしているとどうしても1人ではムリな事が多く、親や子どもにムリをさせてしまっている。（女性）
- ・児童手当等の支援が本当にありがたかったです。ただ、それを含めても食費、私立保育園の費用等、生きていくのにギリギリな状況です。（女性）
- ・児童扶養手当の所得制限額が低すぎる。働けば損になり苦しい。（女性）
- ・頑張っただけ子どもとの時間を削って働いた結果、手当が受けられなくなりました。（女性）
- ・週5日働いていますが、Wワークしなければいけないのかな…と考えています。親と同居もしていないので働けば働くほど子を一人にする時間を増やすことにもつながるので、何だかどうやったら今後の事も含めて生活が豊かになるのか日々頭を悩ませています。（女性）
- ・私は実家で生活しておりますが、実家の収入が児童扶養手当の上限を超えており、実家からの支援を受けていない上、手当も一回も支給されたこともなく、必要な時期に収入の一部として活用できませんでした。（女性）
- ・扶養手当が所得オーバーとの理由で受けられない。昨年の所得での計算かもしれないが、その時勤めていた会社が倒産してしまい、今年の所得はほぼ0円。（女性）
- ・離婚したばかりで現金が必要だった時に、保証人になってくれる人が見つからずお金を借りることができませんでした。保証人がいない人でも借りられるとよいと思います。（女性）

#### ◇教育費・学費に関する悩み（69件）

- ・高3になって模試や受験料にもお金がかかりますが、子どもの将来を考えるとどうしても大学に行かせたく思い、今より収入の多い仕事を探しています。（女性）
- ・子どもが中学校まではお金の援助もたくさんありますが、高校、大学と、これから先が一番お金がかかる年代です。今でもやっとの生活ですが、これから子どもの将来を考えると、高校、大学、専門学校を卒業させてあげたいのですが不安です。（女性）
- ・子どもの進学費、塾代などが継続できるか不安。他の子どもたちよりひとり親がハンディキャップにならないようにしてあげたい。（女性）
- ・母子寡婦福祉資金について（学費を借りる際）保証人がなくても、母親の私が借りることができたら大変ありがたく助かります。（女性）
- ・奨学金（大学）の申請が大変で、ひとり親の救済支援のための奨学金のはずが、高額収入、連帯保証人の確保ができないため受けられない人がたくさんいるようです。（女性）
- ・高校、大学と一番お金がかかるにも関わらず、支援が減っていく事に不安を覚える。ひとり親家庭の子は大学進学をあきらめるしかないのでしょうか？（女性）
- ・昨年受験生チャレンジ支援を利用しようと学校で配布された冊子を見たが、条件の欄が大変細かくわかりづらかった（見にくい）。（女性）
- ・習い事をさせたことがなく、支援などがあるとありがたいです。時間を平日は難しく、土日に安価で出来るとなお、助かります。（女性）
- ・受験生チャレンジ支援貸付金など中学受験したくても対象とはならない。（女性）

### ◇住宅費用に関する悩み（40件）

- ・ 世田谷は住居費がとて高いです。都営・区営住宅に空きがないのでとても困っています。（女性）
- ・ もっと家賃の安い住宅を提供してほしいです。区営住宅、都営住宅もなかなか当たりません。（不明）
- ・ 学区の問題から現在の住居にありますが、中1男子と1LDKにいるには手狭であること、息子の身的・心的成長に伴い生活は難しいと思う反面、今以上の家賃を払うことは不可能であるため、頭を悩ませています。（女性）
- ・ 離婚を機にマンションを売り賃貸に移らなくてはならなかったのですが、子どもの学区を変えたくなかったため、家賃がとて高く困っています。（女性）
- ・ 住居（小さめで良いので、きれいな物件）を低価格で1年貸していただけたら、生活も安定すると思います。（女性）
- ・ 公営住宅等に入れるまで住宅手当があつたらいいなと思います。（女性）

### ◇病気や医療費に関する悩み（25件）

- ・ 決して裕福な生活ではないのに医療費などの支援助成が対象外になる。（女性）
- ・ 女性特有のがんや病気など若年層でも毎年助成で検査できたら良いなと思いました。（女性）
- ・ 長男がバセドウ病になり小児慢性特定疾病の認定を受けました。病院での窓口負担が3割から2割になってとても助かります。しかし区の手当には児童手当受給中の方は除きますとなっています。児童育成手当は養育費や教育費の補助の役割があるかと思いますが、元気なあまり病院にかからないお子さんと、医療費が年間10万ほどかかる子と同じ扱いなのは、少し納得がいかないところです。（女性）
- ・ 医療費助成は本当に助かります。なかったら医者に病院に行かないだろうと思う事が多々ありました。（女性）
- ・ PTSDの治療を受け通院中のため、明るい未来を考えることができず子育てをしています。治療に専念したいのですが、通院と、提出書類、ケアワーカーさんとのやりとり、医療券のお願いを毎月しているうちに、心がからっぽになってきています。（女性）

## ②生活上の困りごとや不安：157件

### ◇住宅に関して（36件）

- ・ ひとり親であることに加え、親の介護もあるので、3世代で住んでいるか、そういったケースでも公営住宅のひとり親優先枠を申込めるようにしてほしいです。（女性）
- ・ 都営住宅は優遇がありますが、希望する地域には区営しかなく、区営は優遇がないので、年2回約7年間落選しています。（女性）
- ・ 区内の公営住宅もペット可物件を設けてくれると助かります。（女性）
- ・ 管理不動産会社からの対応は悪く、マンション内で何かあるたびに母子家庭の我が家に疑いがかかる。（女性）

**◇小学校や中学校に関して (32 件)**

- ・ 小学校のPTA活動のあり方や役員問題について、ひとり親であることを一切の考慮に入れてもらえず当然のように負担を強いられることがとても苦痛であり再就職の足かせにもなっています。(女性)
- ・ 公立学校に通わせていて、様々な家庭環境の子どもがいて当然の中、あまり学校職員(先生方)が低所得世帯の理解がないように思う。(女性)
- ・ 4年生以降でも6時まで利用できる学童クラブ制度があってほしいと思います。(女性)
- ・ 4年生から居場所が無く4月からどうしたら良いか困っています。学童なら生活が変わらず、また学校内にもあるため、1番安心できる場所です。(女性)
- ・ 来年から学童がなくなります。普段も心配ですが、長期休みがとても心配です。(女性)
- ・ 学童が保育園並みに夜の時間まで対応してくれると大変助かります。せめて低学年だけでも夜まで安心して対応してもらえるところをつくっていただければ、安心してこちらでも働けます。(女性)
- ・ 新BOPの時間を19:30まで延長してほしい。都心で18:00まで働いていると迎えに行けない。ひとり親なので民間学童に通わせる経済的余裕がない。(女性)

**◇就労に関して (24 件)**

- ・ ダブルワークは負担が増す。効率が悪く、子どもとの時間・自分の時間がまったくなくなる。(女性)
- ・ フルタイムで働きたいが、子どもの学校関係、病院通院などもあるため、なかなか難しい。(女性)
- ・ 就業先と一緒に働く職員たちから理解が得られず、やむを得ず子どもの学校行事等で休む場合など、周囲からの目は冷たく職場に居づらい環境がある。(女性)
- ・ 子どもが大きく成長してくれたので、パートではなく正社員になって働いた方が良いと考えているのですが、同居の母が認知症になり、今の現象では厳しいように感じるため、動き出せないでいます。(女性)

**◇保育園・保育所に関して (21 件)**

- ・ 仕事が休みの日でも気軽にいつもの園に預けられたらといつも思います。(女性)
- ・ 仕事に復帰したらパートで働こうと考えていますが、保育園が4歳までしかパートで預けられないと知って困っています。フルタイムだと終わる定時が21:20で帰宅したら22:30なのでどうやって預けるのか、どうやって働けばいいのか分からなくて不安です。(女性)
- ・ ひとり親になって4ヶ月も(仕事を始めて)保育所に入れなかった。私は託児所のある職場で働けたから良かったが、これでは就労できない人が多いと思う。(女性)
- ・ 夫が入院中ひとり親状態だったが、ひとり親ではなかったため、0歳の子どもが保育園に入れず、仕事・育児・看病で時間に追われ肉体的にも精神的にもつらかった。(女性)
- ・ 離婚するにあたり下の子の保育園に申し込んだ際、課税証明が必要とか、住居が定まっていないう状況で保育園に申し込むのが大変だった。また離婚してから保育園に申し込んだので、仕事もそこから始めることになり、就労の証明が上手くできなかつたのか、フリーランスだからか、保育園に落ち、どう生きて行けばいいか分からなかった。(女性)

- ・ 母子家庭になっても保育園に入れなかったため、無収入で3年過ごした。働き出して半月程度で認証保育園に入れた時はほっとした。(女性)
- ・ 保育園であの子は母子家庭だからこういうところが行き届いていない、かわいそうというような見方をする先生がいて嫌でした。(女性)
- ・ 現在保育園を探していますが、仕事が決まっていないため認可に入れず、保育園が決まらないため仕事に就けず…で困った状況です。(女性)
- ・ 今、保育園に通っているが5歳になると時短勤務が認められず、通常の勤務時間に戻さなければ保育園を退園しなくてはならない。現在の仕事だと時間的に無理だと区に相談しても、区の規定と取り合ってもらえない。(女性)

### ◇生活や子育て全般に関して (18件)

- ・ 子どもと一緒に過ごす時間がほしくても仕事や家事があるとなかなか相手にできない。子どもの相手ができても、逆に自分が疲れて休む時間がなかなかとれない。(女性)
- ・ 1人の人間が育っていくという時間の中で、大人の人手不足は深刻だと痛感しております。(女性)
- ・ 同居の父が病気であり、精神疾患の未婚の兄とも同居（仕事はしている）で、学費のかかる子を抱え、仕事を増やさなければ生活できない。(女性)
- ・ 自分の体の心配や今後親の介護などそろそろ考えていく時期なので、もっと区の情報をネットで調べ活用したいと思います。(女性)
- ・ 心身の病で家事が思うようにできない。有料で支援（週1の食事、掃除）を受けているが負担が大きい。(女性)
- ・ 仕事での帰宅時間が遅いため、子どもの自由な時間がありすぎるのではないかと考えています。(女性)

### ◇将来に対する不安 (10件)

- ・ 1人っ子で、父方の親戚とも没交渉のため、この先自分に何かがあった時、頼る先が無い事が心配です。(女性)
- ・ 子どものことが最優先のため、ずっと正社員で働くことができませんでした。(障害児のため送迎などの関係)今も派遣社員のため、自分の将来もとても不安です。(女性)
- ・ 子を育てるために必死で働いていますが、自分の体調も心配で、年齢的にも50歳を迎えるので、私が急に死んでしまったら、子どもはどうなるんだろうという不安もあります。(女性)

### ◇教育全般に関して (9件)

- ・ 今現在、下の子が不登校ですが日中自分で通える距離にフリースクールであったり、一人で過ごさせないための施設がありません。もっと子どもたちが安心して生活していける場所が小学校の区域くらいの距離で欲しいです。(女性)
- ・ 勉強ができる場所や勉強をみってくれる人が、世田谷区内であっても他区や遠くでは通えない。(女性)
- ・ 子どもの進学に必要な制度に保証人が必ず必要で、とても困りました。(女性)
- ・ 子どもの学習への取り組みについて、何も言わず見守るべきか、すべきことを伝えるべきか。

思春期の子どもに対する接し方が最近まったく分からなくなってきました。(女性)

- ・ 今後高校進学に向けてきちんと学習をしていけるか不安である。(女性)

#### ◇その他の不安や困りごと（7件）

- ・ 町内会の仕事が大変負担で悩みです。退会しにくい。(女性)
- ・ 調停で決めた面会交流の約束が守ってもらえない。(女性)

### ③各種要望：130件

#### ◇区の窓口対応やサービス・情報提供方法について（65件）

- ・ 相談に行きたいが、平日の17時までは仕事をしていたり、子どもたちの学校、習い事等で難しいです。(女性)
- ・ リーフレットやメールを見ても、自分が何が利用できるか対象なのかわからないことがある。(女性)
- ・ 役所等から母子家庭の制度や、制度が改正された際の情報配信があったらとても助かると思う。(女性)
- ・ アプリで会員登録をして、手続きや必要な情報の配信や、相談などができるようになればより便利だと思います。(女性)
- ・ 障害者に対する支援の情報が少ない。また、情報の出し方が不親切。(女性)

#### ◇柔軟な制度運用を望むもの（38件）

- ・ 配食サービスに興味があります。栄養面、費用が安く、安全なものを探しています。(女性)
- ・ 保育園の送り迎えをお願いしたく、ファミサポに登録していましたが、条件が合わず、送り迎えのみでシッターさんを雇うのは経済的に難しいです。もう少しサポートがほしいと思うところです。(女性)
- ・ ひとり親ヘルパー制度を月に働く日数分利用できるようにしてほしい。(女性)
- ・ ショートステイは中学まで利用できるとよかったです。(女性)
- ・ 女子寮等で、帰宅できない母親に代わって、子どもを見守ってくれる施設がほしいです。(女性)

#### ◇交流できる場（8件）

- ・ 何はなくても、気軽に子連れで食事を取れるようなところ。宿題をさせている隣で、ゆったりと話を聞いてもらいたいとよく思います。(女性)
- ・ 同い年の地域の親とも情報交換できる場所がないのかな？とは思っています。(女性)
- ・ 仕事が終わってからの時間に、バリバリ仕事をしているママたちが夜、集まれるような所があればいいのと思います。(女性)

#### ◇就業への支援（6件）

- ・ そっと近くで相談でき、かつパソコンの勉強ができるのであればいいと思います。(女性)
- ・ 母子家庭がひくつにならずに在宅でできる仕事の提案や自営できるコンサルなどに力を入れてほしい。(女性)

### ◇その他要望（13件）

- ・ 交流面会支援。（女性）
- ・ 企業支援の緩和。（女性）
- ・ 障害は軽度でも支援を増やしてほしいと思います。（女性）

## ④行政や社会への感謝：36件

### ◇区への対応への感謝（74件）

- ・ 訪問の身体測定で来てくれた方がとても明るい方で、子どもの発達のことや育て方について聞いたときに、前向きになれるアドバイスをくれた。（女性）
- ・ 昨今、SNS等ですぐに情報が入りますが、やはり正しく適切な対応をしてくださるのは区役所の方々と信頼しています。（女性）
- ・ 障害をもつ子どもが増えてきた今、世田谷区は他区に比べて非常に親身に話を聞いてくださり、情報をくださり助かっております。（女性）
- ・ コーディネーターさんがいてくれたおかげで、産休を取っていた会社に戻ることができて、保育園に入れた。（女性）
- ・ 生活支援課の方には、ひとり親になった時（なる前）から自分自身の進学を含め、たくさんの相談を受けていただき、感謝しかありません。（女性）
- ・ 区役所の支援員さんから素早く救護施設、母子生活支援施設を手配していただきました。当時の支援員さんにはとても感謝しています。（女性）
- ・ ケースワーカーや児童相談所との接点が、出産の助言や情報を得られる機会であったため、不安に感じたり、孤独を感じたりすることがありませんでした。（女性）

### ◇各種経済的支援に対する感謝（124件）

- ・ 受験生チャレンジ、ひとり親慰労費助成は本当にありがたいです。（女性）
- ・ ひとり親家庭へのディズニーランドやよみうりランドのパスポートの優遇はとてもうれしいです。（女性）
- ・ 第1子が専門学校に進学する際に貸付できたこと、とても助かりました。（女性）
- ・ 育児手当、就学支援等の助成金のおかげで子どもに必要なものを買ってあげられるので、大変ありがたいです。（女性）
- ・ 医療費免除や児童付与手当、水道費減額、粗大ごみ料免除等の公的支援を受けられたことは大変良かった。（女性）

### ◇家族や友人への感謝（15件）

- ・ 両親、兄、姉に助けられました。近くに住んでいてよかったです。（女性）
- ・ 一番は信頼できるご近所付き合い、理解あり、応援してくれる人。（女性）
- ・ 友人やご近所の方と触れ合うことができ、親子共々とても助かっています。（女性）

### ◇就労支援に関する感謝（4件）

- ・ 高等職業訓練の制度を利用し、今は看護師の正職員として働くことができます。（女性）
- ・ 世田谷区母子家庭高等技能訓練促進費を3年間支給していただき、看護師免許を取得すること

ができました。ひとり親家庭になるまで、専業主婦をしていたので、資格を取得できたことは本当にありがたいことだと感謝しています。(女性)

## ⑤行政や社会への不満：36件

### ◇行政の対応等への不満（36件）

- ・ 離婚前に、世田谷区役所の弁護士（無料）を利用しましたが、あまりの対応の冷たさに驚き、とてもショックでした（女性）
- ・ 母子家庭は多くの面で負担を強いられているので、もっと有益な対応をしていただきたいと思います。(女性)
- ・ 地域の窓口にご相談に行ったら、子どもと同じ小学校の保護者が働いていて出てきました。人事の配置について、もう少し考えてほしいと思います。(女性)
- ・ ひとり親家庭等ホームヘルプの利用を離婚直後の不安定な時にお願ひしようと思ったところ、家庭訪問してくださった区の職員の方から、非常に困ってどうしようもない時に利用してほしいと言われ、とても辛い思いをしました。(女性)

## ⑥その他：22件

### ◇その他（22件）

- ・ 離婚する前に、1人1人が自分の力で生きていけるようにすることということが大切だと思う。(女性)
- ・ 健康や友人に恵まれていると、ひとり親でも頑張れると思います。本当に支援が必要な人に支援をしてほしいと思います。(女性)
- ・ このアンケート自体がひとり親であることを強く感じさせるもので、私には苦痛だった。(女性)

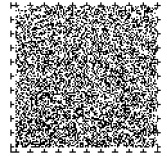




## 資料編 アンケート調査票及び集計結果



# ひとり親家庭アンケート ご協力をお願い



日頃より、世田谷区政につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

このアンケートは、平成32年度（2020年度）を初年度とする「世田谷区子ども計画(第2期)」の後期計画の策定にあたり、ひとり親家庭に対する支援策充実に向けた検討を進めるために実施するものです。本調査は5年に一度実施しており、これまでの調査結果をもとに、「ひとり親家庭のリーフレット」等の作成や「ひとり親家庭等の子どもの学習支援事業」、「ひとり親家庭就業支援講座」など、様々な事業の展開につなげてまいりました。今回の調査結果についても、今後のひとり親家庭の施策を検討する貴重な基礎資料にさせていただきたいと考えております。

このアンケートは、区内の児童育成手当を受給中の方に郵送しております。お答えいただきました内容につきましては、この調査目的以外に使用することは一切ございません。また、調査結果はすべて統計的に処理され、個人を特定することはございませんし、児童育成手当の受給審査に関係するものでもございません。

お忙しいところたいへん恐縮ですが、アンケートの趣旨をおくみとりのうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、世田谷区では、「世田谷区子ども計画（第2期）」の後期計画の策定に向け、同時期に様々な調査を行っております。他の調査やアンケート等が重複してお手元に届いた場合は、大変お手数をおかけ致しますが、併せてご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月

世田谷区 子ども・若者部 子ども家庭課

## ご記入にあたってのお願い

1. アンケートは、あて名のご本人がご記入ください。
2. お答えは、あてはまる番号に○をつけるか、数字をご記入ください。  
お答えになりたくない質問には、無回答のまま、次の質問にお進みください。
3. お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、( )内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合や、○をつける数が異なる質問がありますので、ことわり書きにご注意ください。

※ご記入が済みましたら、恐縮ですが、アンケート用紙を添付の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、12月12日（水）までにご投函ください。

※ご記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

世田谷区 子ども・若者部 子ども家庭課 世田谷区世田谷4-21-27

電話03-5432-2569 FAX03-5432-3081

# ひとり親家庭アンケート

問1 あなたの性別をお伺いします。1つだけ○をつけてください。(N=1,442)

1. 男性 4.1%      2. 女性 94.8%      3. 答えたくない 0.2%      無回答 0.9%

問2 あなたの年齢は現在何歳ですか。1つだけ○をつけてください。(N=1,442)

1. 10代 0.0%      4. 30～34歳 8.9%      7. 45～49歳 25.8%      無回答 0.6%  
 2. 20～24歳 0.7%      5. 35～39歳 16.9%      8. 50～59歳 19.0%  
 3. 25～29歳 2.2%      6. 40～44歳 25.6%      9. 60代以上 0.3%

問3 お住まいの地域の番号に1つだけ○をつけてください。(N=1,442)

地域	(参考) 町名
1. 世田谷 27.8%	世田谷、若林、上馬、三軒茶屋、太子堂、野沢、下馬、三宿、池尻1-3丁目、池尻4(1~32番)、駒沢1-2丁目、弦巻、桜、桜丘、経堂、宮坂
2. 北沢 13.6%	北沢、代沢、池尻4(33~39番)、大原、羽根木、代田、松原、梅丘、豪徳寺、赤堤、桜上水
3. 玉川 21.4%	上用賀、用賀、桜新町、新町、駒沢3-5丁目、駒沢公園、深沢、等々力、中町、玉川台、瀬田、玉川、上野毛、野毛、玉堤、尾山台、玉川田園調布、奥沢、東玉川
4. 砧 22.3%	船橋、千歳台、祖師谷、砧、成城、喜多見、大蔵、砧公園、岡本、鎌田、宇奈根
5. 烏山 13.7%	北烏山、南烏山、給田、上祖師谷、粕谷、八幡山、上北沢
無回答 1.2%	

問4 現在のご住所に居住されて何年になりますか。1つだけ○をつけてください。(N=1,442)

1. 1年未満 10.1%      4. 3年～4年未満 9.0%      7. 10年以上 29.8%  
 2. 1年～2年未満 12.1%      5. 4年～5年未満 7.1%      無回答 0.9%  
 3. 2年～3年未満 8.6%      6. 5年～10年未満 22.4%

問5 問3でお答えいただいた地域は、どれに当てはまりますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(N=1,442)

1. 幼少期から住んでいる 25.7%      5. ひとり親家庭になってから住んでいる 38.3%  
 2. 就職した時から住んでいる 3.6%      6. その他 14.7%  
 3. 結婚した時から住んでいる 11.7%      (具体的に: )  
 4. 子どもが生まれてから住んでいる 13.0%      無回答 1.3%

問6 同居している家族について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(N=1,442)

1. 自分子ども 96.7%      5. その他 2.6%  
 2. 自分の父 15.0%      (具体的に: )  
 3. 自分の母 23.3%      無回答 0.5%  
 4. 自分の兄弟姉妹 5.2%



問8-1 家賃や住宅ローン代など、あなたが毎月負担している住居費をお伺いします。

1つだけ○をつけてください。

(N=1,442)

1. 負担額なし	19.6%	6. 11万円～14万円未満	12.2%
2. 2万円未満	5.3%	7. 14万円～17万円未満	4.4%
3. 2万円～5万円未満	15.7%	8. 17万円～20万円未満	0.8%
4. 5万円～8万円未満	18.4%	9. 20万円以上	0.5%
5. 8万円～11万円未満	19.5%	無回答	3.6%

問9 ひとり親になってからの年数はどのくらいですか。1つだけ○をつけてください。

(N=1,442)

1. 1年未満	7.2%	4. 3年～4年未満	10.2%	7. 10年以上	20.8%
2. 1年～2年未満	10.4%	5. 4年～5年未満	8.1%	無回答	1.1%
3. 2年～3年未満	8.1%	6. 5年～10年未満	34.1%		

問10 ひとり親になったとき、あなたの年齢は何歳でしたか。1つだけ○をつけてください。

(N=1,442)

1. 19歳以下	0.7%	4. 30～34歳	21.1%	7. 45～49歳	10.1%	無回答	1.5%
2. 20～24歳	3.9%	5. 35～39歳	26.2%	8. 50～59歳	3.6%		
3. 25～29歳	10.1%	6. 40～44歳	22.5%	9. 60歳以上	0.3%		

問11 ひとり親になったとき、一番下のお子さんは何歳でしたか。

(N=1,442)

末子の年齢 → [            ] 歳	平均 4.8 歳
--------------------------	----------

問12 ひとり親になった理由をお伺いします。1つだけ○をつけてください。 (N=1,442)

1. 死別		→ 問13へ	10.5%
2. 離婚		}	77.4%
3. 未婚 …子どもの認知はしてもらっていますか (1. いる 34.2% 2. いない 63.1% 無回答 2.7%)			
4. 遺棄・行方不明		}	0.2%
5. その他(具体的に: 無回答			
			1.2%

問12の「2. 離婚」「3. 未婚」を選ばれた方にお伺いします。

問12-1 養育費についてお伺いします。

お子さんの親(相手方)から養育費をもらっていますか。1つだけ○をつけてください。

(n=1,262)

1. はい	39.9%	→ 問12-1-1へ
2. いいえ	59.5%	→ 問12-1-4へ
無回答	0.6%	

**問 12-1 の「1. はい」を選ばれた方**にお伺いします。

問 12-1-1 養育費は月額に換算すると、総額でおおよそいくらになりますか。

1つだけ○をつけてください。

(n=504)

1. 1万円未満	3.0%	5. 7万円～9万円未満	10.3%	無回答	3.2%
2. 1万円～3万円未満	19.0%	6. 9万円～11万円未満	7.5%		
3. 3万円～5万円未満	27.1%	7. 11万円～13万円未満	3.0%		
4. 5万円～7万円未満	19.4%	8. 13万円以上	7.5%		

問 12-1-2 養育費について何か取り決めをしていますか。1つだけ○をつけてください。

(n=504)

1. 調停で取り決めている	37.5%	4. 取り決めをしていない	3.0%
2. 書面で取り決めている	40.4%	5. その他（具体的に：	） 2.6%
3. 口頭で取り決めている（口約束）	15.3%	無回答	1.2%

問 12-1-3 養育費は約束どおり履行されていますか。1つだけ○をつけてください。

(n=504)

1. 定期的に全額履行されている	75.9%
2. 定期的に一部履行されている	8.1%
3. 不定期ながら全額履行されている	6.7%
4. 不定期ながら一部履行されている	6.7%
5. ほとんど履行されていない	1.8%
無回答	0.8%

→問 12-2 へ

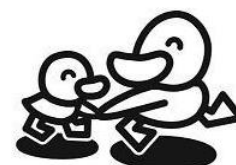
**問 12-1 の「2. いいえ」を選ばれた方**にお伺いします。

問 12-1-4 養育費をもらっていない理由として、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=750)

1. 養育費について取り決めをしていなかった	18.1%
2. 養育費について取り決めたが、履行されていない	26.3%
3. 養育費を請求できることを知らなかった	1.5%
4. 自分の収入金額から、養育費をもらう必要はないと判断した	3.2%
5. 相手方に支払い能力がなかった	42.5%
6. 相手方が支払いを拒否した	22.5%
7. (自分が)もう相手方と関わりたくなかった	33.9%
8. 養育費をもらうことで、相手方に子どもと関わってほしくなかった	21.6%
9. 相手方と連絡がとれない	14.7%
10. その他（具体的に：	） 9.1%
無回答	1.9%

→問 12-2 へ



問 12-2 お子さんと、お子さんの親（相手方）との面会等の状況についてお伺いします。  
1つだけ○をつけてください。 (n=1,262)

1. 子どもだけ、相手方と会っている	} 問 12-3 へ	25.9%
2. 子どもと自分が一緒に、相手方と会っている		16.6%
3. 子どもは、相手方と会ってはいないが、電話やメールをしている	} 問 12-2-1 へ	1.5%
4. 子どもも自分も、相手方と会ってはいないが、電話やメールはしている		7.3%
5. 子どもも自分も、相手方と会っていないし、電話やメールもしていない		38.2%
6. その他（具体的に： 無回答	→ 問 12-3 へ	5.3%
		5.2%

**問 12-2 の「3」「4」「5」を選ばれた方**にお伺いします。

問 12-2-1 お子さんの親（相手方）と会っていない理由として、あてはまる答えの番号  
すべてに○をつけてください。 (n=593)

1. 相手が養育費を支払わないまたは支払えないから	21.1%
2. 相手と関わりたくないから	58.7%
3. 子どもが会いたがらないから	34.1%
4. 相手が会うことを求めているから	46.9%
5. 塾や学校の行事で子どもが忙しいから	4.6%
6. 面会することによって子どもが精神的または身体的に不安定になるから	21.2%
7. 相手に暴力などの問題行動があるから	17.0%
8. 子どもの連れ去りや虐待の可能性があるから	11.1%
9. 自分の親や兄弟姉妹が反対しているから	4.4%
10. 会うための安全な場所がないから	4.7%
11. 相手が結婚したから	9.1%
12. その他（具体的に： 無回答	14.3%
	1.9%

問 12-3 面会交流について、何か取り決めをしていますか。1つだけ○をつけてください。  
(n=593)

1. 調停で取り決めている	14.3%	4. 取り決めをしていない	51.3%
2. 書面で取り決めている	11.8%	5. その他（具体的に： 無回答	1.7%
3. 口頭で取り決めている(口約束)	5.4%		15.5%

問 12-4 相手方と別れるにあたって、相手方からの暴力や嫌がらせはありましたか。  
1つだけ○をつけてください。 (n=593)

1. あった	38.3%	3. その他（具体的に： 無回答	5.1%
2. なかった	50.5%		6.1%



問 13 現在、仕事をしていますか。1つだけ○をつけてください。

(N=1,442)

1. はい → 問 13-1 へ	90.1%
2. いいえ → 問 13-7 へ	9.6%
無回答	0.3%

問 13 の「1. はい」を選ばれた方に、現在の就業状況をお伺いします。

問 13-1 どのような雇用形態ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=1,300)

1. 自営業（フリーランスを含む）	13.0%	4. パート・アルバイト	31.2%
2. 正社員・正規職員	41.7%	5. その他（具体的に： ）	3.6%
3. 契約社員・派遣社員	15.9%	無回答	0.1%

問 13-2 就業時間等はどのくらいですか。〔 〕に数字の記入をお願いします。

※仕事を掛け持ちしている場合は、合計時間を記入してください。

※シフト勤務などの場合は、直近1か月間で最も多い時間（日数）をご記入ください。

(n=1,300)

・ 1日の就業時間 → 〔 〕時間	平均 7.7 時間
・ 1週間あたりの就業日数 → 〔 〕日	平均 4.9 日
・ 平均的な帰宅時間 → 〔 〕時	
※24 時間表記でご記入ください。（例：午後 7 時→19 時）	

問 13-3 通勤にかかる時間は片道どのくらいですか。1つだけ○をつけてください。

※仕事を掛け持ちしている場合は、メインにしている仕事の通勤時間を記入してください。

(n=1,300)

1. 0分（自宅）～10分以内	16.3%	4. 1時間超	9.8%
2. 11分以上～30分以内	30.2%	無回答	0.9%
3. 31分以上～1時間以内	42.8%		

問 13-4 ひとり親になったことをきっかけに、仕事をはじめた方、転職をされた方にお伺いします。（→該当しない場合は、問 13-5 へ）仕事を探したとき、どのようにして情報を集めましたか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=728)

1. ハローワーク(マザーズハローワーク)	35.7%	6. 区役所(子ども家庭支援センター)の相談窓口	3.8%
2. 知人・友人からの紹介	22.3%	7. 三茶おしごとカフェの相談窓口	4.9%
3. 以前の仕事の関係者からの紹介	10.6%	8. 男女共同参画センター"らぶらす"の相談窓口	1.0%
4. 求人広告(チラシ・雑誌等)	28.0%	9. その他(具体的に： )	7.7%
5. インターネットの求人サイト等	46.3%	無回答	0.0%

問 13-5 現在の仕事を選んだとき、何を優先して決めましたか。

あてはまる答えの番号3つに○をつけてください。

(n=1,300)

1. 労働時間が希望に合うこと	54.8%	6. 資格や技術を生かせること	28.5%
2. 収入額	28.4%	7. 社会保険等が完備されていること	22.2%
3. 勤務地が自宅から近いこと	42.9%	8. 子どもが病気の時休みやすいこと	31.7%
4. 在宅で勤務できること	4.7%	9. その他(具体的に： )	8.8%
5. 仕事内容	38.7%	無回答	3.2%

問 13-6 現在の仕事を今後も続けたいと考えていますか。1つだけ○をつけてください。

(n=1,300)

1. 続けたい	→ 問 15 へ	70.2%
2. できれば転職したい	→ 問 14 へ	26.6%
無回答		3.2%

問 13 の「2. いいえ」を選ばれた方にお伺いします。

問 13-7 現在の状況をお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=138)

1. 就職活動中	32.6%	5. 親等の介護に専念中	6.5%
2. 資格等を取得するため勉強中	11.6%	6. 同居の親や兄弟姉妹の家事手伝い	11.6%
3. 学業に専念中	2.9%	7. 病気療養中	34.1%
4. 育児に専念中	31.2%	8. その他（具体的に： ）	10.9%
		無回答	4.3%

問 13-8 今後、希望する就業状況についてお伺いします。どのような雇用形態を希望しますか。1つだけ○をつけてください。

(n=138)

1. 自営業	} → 問 14 へ	10.9%
2. 正社員・正規職員		33.4%
3. 契約社員・派遣社員		2.9%
4. パート・アルバイト		30.4%
5. その他（具体的に： ）		4.3%
6. 就業を希望していない	→ 問 15 へ	8.7%
無回答		9.4%

問 13-6 の「2. できれば転職したい」、または問 13-8 の「1」「2」「3」「4」「5」を選ばれた方にお伺いします。

問 14 新しく仕事を始めようとするとき、必要だと感じる支援は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=459)

1. 条件に合う仕事のあっせん	61.7%	7. ハローワーク等への同行	2.2%
2. 職業訓練の機会が増えること	24.6%	8. 就職まで寄り添ってサポートしてくれる相談員	20.3%
3. 職業訓練中の経済的支援	42.3%	9. 今後の子育てと暮らしと仕事のことをあなたと一緒に考えてくれること	28.8%
4. 就職活動や職業訓練中の子どもの保育	15.0%	10. その他（具体的に： ）	5.4%
5. 就職のための適性診断	10.5%	11. 必要だと感じる支援はない	9.2%
6. 履歴書の書き方の指導など	5.9%	無回答	3.9%

問 15 あなたの最終学歴について、1つだけ○をつけてください。

(N=1,442)

1. 中学校	1.5%	4. 高等専門学校	2.0%	7. 大学	27.5%
2. 高校中退	2.1%	5. 専修学校・各種専門学校	19.4%	8. 大学院	1.9%
3. 高校	18.8%	6. 短期大学	16.6%	9. その他（具体的に： ）	1.0%
				無回答	9.2%

問 16 ①現在所持している資格と、②これから取得したい資格は何ですか。

下の選択肢から4つまで選んで、数字で回答してください。

(N=1, 442)

①現在所持している資格 →

--	--	--	--

②これから取得したい資格 →

--	--	--	--

《選択肢》

	て現在 いる所 持し 資格	しこれ たい から 取得 資格		て現在 いる所 持し 資格	しこれ たい から 取得 資格
1. 看護師・准看護師	5.1%	2.8%	12. 薬剤師	0.1%	1.9%
2. 介護福祉士	4.5%	4.4%	13. 医療事務	6.0%	9.1%
3. 保育士	5.2%	3.3%	14. 教員免許・幼稚園教諭	7.8%	0.8%
4. 理学療法士・作業療法士	0.2%	2.1%	15. 宅地建物取引士	1.9%	5.1%
5. 保健師・助産師	0.6%	0.8%	16. パソコン	6.4%	11.7%
6. 理容師・美容師	3.0%	0.4%	17. 運転免許	61.4%	4.4%
7. 社会福祉士・精神保健福祉士	1.2%	4.2%	18. 簿記	11.3%	7.7%
8. 歯科衛生士	0.6%	1.2%	19. 社会保険労務士	0.7%	4.2%
9. 調理師・製菓衛生師	3.0%	3.8%	20. その他	15.7%	6.2%
10. 栄養士	1.4%	3.5%	(具体的に: )		
11. 実務者研修・介護職員初任者研修課程修了 (旧ホームヘルパー1級・2級)	7.5%	2.6%	21. 特になし	9.4%	24.6%
			無回答	12.8%	30.7%

問 17 現在、どのような収入等で生計を立てていますか。また、収入等のうち、大きな割合を占めるものは何ですか。

下の選択肢から割合の高い順に5つまで選んで、数字で回答してください。

(N=1, 442)

割合の高い順 →

--	--	--	--	--

《選択肢》 ※ 割合の高い順に関係なく選ばれた割合を掲載

1. 就労収入	87.5%	8. 母子・父子福祉資金等の公的な福祉資金の貸付	3.5%
2. 子どもの親(相手方)からの養育費	30.0%	9. 金融機関からの借り入れ	4.9%
3. 児童扶養手当等の公的手当	73.9%	10. 親・兄弟姉妹からの支援	19.3%
4. 高等職業訓練促進給付金等の公的支援	1.2%	11. 友人・知人からの支援	1.1%
5. 生活保護	4.2%	12. 蓄えを取り崩す	42.7%
6. 年金(遺族年金を含む)	9.8%	13. その他(具体的に: )	4.5%
7. 生命保険	3.4%	無回答	1.6%

問 18 年間の世帯の総収入(養育費や児童手当・児童扶養手当等すべての収入を含みます。税込)はどのくらいですか。また、年間の総収入のうち、就労収入はどのくらいですか。下の選択肢から1つだけ選んで、数字で回答してください。(N=1,442)

年間の世帯の総収入→

年間の総収入のうち、就労収入→

《選択肢》

	総収入 年間の世帯の	就労収入 年間の総収入のうち、		総収入 年間の世帯の	就労収入 年間の総収入のうち、		総収入 年間の世帯の	就労収入 年間の総収入のうち、
1. 0~50万円未満	2.0%	7.7%	7. 300~350万円未満	11.2%	7.1%	13. 600~650万円未満	1.3%	0.9%
2. 50~100万円未満	2.8%	6.4%	8. 350~400万円未満	10.3%	6.7%	14. 650~700万円未満	1.0%	0.4%
3. 100~150万円未満	5.4%	10.1%	9. 400~450万円未満	6.2%	4.8%	15. 700~750万円未満	0.5%	0.1%
4. 150~200万円未満	7.8%	10.4%	10. 450~500万円未満	5.2%	3.5%	16. 750~800万円未満	0.2%	0.1%
5. 200~250万円未満	12.4%	12.1%	11. 500~550万円未満	3.3%	2.1%	17. 800万円以上	1.0%	0.6%
6. 250~300万円未満	13.0%	10.3%	12. 550~600万円未満	2.6%	1.3%	無回答	13.8%	15.4%

問 19 ①家計の中で多くを占める費用は何ですか。また、②もっとお金をかけたいと思う費用は何ですか。下の選択肢から割合の高い順に選んで、数字で回答してください。

(N=1,442)

①家計の中で多くを占める費用(割合の高い順) →

--	--	--	--	--

②もっとお金をかけたいと思う費用(割合の高い順)→

--	--	--

《選択肢》 ※ 割合の高い順で一番目に選ばれた割合を掲載

	を 占める 費用	た いと 思 う 費 用		を 占める 費用	た いと 思 う 費 用
1. 食費	27.1%	9.8%	6. 子どもの塾・習い事代など	6.9%	37.2%
2. 家賃(住宅ローン含む)	47.0%	3.5%	7. レジャー・娯楽費	0.1%	15.5%
3. 衣服費	0.4%	6.0%	8. 携帯電話・スマートフォン代	0.8%	0.1%
4. 医療費	0.1%	0.6%	9. ローンや借金など	1.5%	0.2%
5. 育児費・教育費*	13.6%	13.8%	10. その他(具体的に: )	0.6%	1.2%
(幼稚園、保育 託児費(保育施設、ベビーシッター等)、 学費(小・中学校、高校、大学等))			無回答	1.9%	12.1%

\*…育児費・教育費は、学校の制服・体操着代などを含む

問 20 お子さんの性別と年齢、同居の有無、学齢等について、年齢を記入し、**あてはまる  
答えの番号**に○をつけてください。(18歳以上のお子さんについてもお答えください。)

※高等専門学校、専修学校・各種専門学校、短大、大学院に在籍しているお子さんがいる場合は、  
「7. 大学生等」に○を付けてください。

	性別	年齢・同居	学齢・在籍状況等
第1子 (N=1,442)	1. 男 50.4% 2. 女 46.5% 無回答 3.1%	( ) 歳 平均 12.9 歳 1. 同居 88.3% 2. 別居 5.7% 無回答 6.0%	1.未就学児 13.7% 2.小学校1～3年生 13.3% 3.小学校4～6年生 16.7% 4.中学生 17.1% 5.高校生 20.5% 6.フリースクールなど 0.2% 7.大学生等 8.3% 8.その他 ( ) 7.7% 無回答 2.5% ※上記2～6と回答した方は、次のあてはまるものに○をつけてください。(n=978) 〔 出席状況 A.週5日 80.9% B.週3～4日 1.4% C.週1～2日 0.9% D.月数回 0.9% E.通っていない 1.2% 無回答 14.7% 〕 ※上記2～5と回答した方は、次のあてはまるものに○をつけてください。(n=975) 〔 学校の種類 A.公立(区立・都立) 63.8% B.私立 21.0% C.国立・公立中高一貫校 0.7% 無回答 14.5% 〕
第2子 (n=608)	1. 男 49.5% 2. 女 49.2% 無回答 1.3%	( ) 歳 平均 12.9 歳 1. 同居 83.1% 2. 別居 4.9% 無回答 12.0%	1.未就学児 10.7% 2.小学校1～3年生 12.7% 3.小学校4～6年生 17.6% 4.中学生 21.9% 5.高校生 23.7% 6.フリースクールなど 0.2% 7.大学生等 5.6% 8.その他 ( ) 5.6% 無回答 2.0% ※上記2～6と回答した方は、次のあてはまるものに○をつけてください。(n=463) 〔 出席状況 A.週5日 78.6% B.週3～4日 1.3% C.週1～2日 0.9% D.月数回 1.1% E.通っていない 3.0% 無回答 15.1% 〕 ※上記2～5と回答した方は、次のあてはまるものに○をつけてください。(n=462) 〔 学校の種類 A.公立(区立・都立) 65.0% B.私立 21.2% C.国立・公立中高一貫校 0.2% 無回答 13.6% 〕
第3子 (n=152)	1. 男 48.0% 2. 女 50.0% 無回答 2.0%	( ) 歳 平均 12.7 歳 1. 同居 73.0% 2. 別居 4.6% 無回答 22.4%	1.未就学児 8.6% 2.小学校1～3年生 18.4% 3.小学校4～6年生 19.7% 4.中学生 16.4% 5.高校生 27.0% 6.フリースクールなど 0.0% 7.大学生等 2.0% 8.その他 ( ) 5.3% 無回答 2.6% ※上記2～6と回答した方は、次のあてはまるものに○をつけてください。(n=124) 〔 出席状況 A.週5日 79.1% B.週3～4日 4.0% C.週1～2日 0.8% D.月数回 0.8% E.通っていない 1.6% 無回答 13.7% 〕 ※上記2～5と回答した方は、次のあてはまるものに○をつけてください。(n=124) 〔 学校の種類 A.公立(区立・都立) 70.2% B.私立 14.5% C.国立・公立中高一貫校 0.0% 無回答 15.3% 〕
第4子 (n=27)	1. 男 48.2% 2. 女 48.1% 無回答 3.7%	( ) 歳 平均 12.6 歳 1. 同居 88.9% 2. 別居 0.0% 無回答 11.1%	1.未就学児 18.5% 2.小学校1～3年生 7.4% 3.小学校4～6年生 7.4% 4.中学生 33.4% 5.高校生 25.9% 6.フリースクールなど 0.0% 7.大学生等 3.7% 8.その他 ( ) 3.7% 無回答 0.0% ※上記2～6と回答した方は、次のあてはまるものに○をつけてください。(n=20) 〔 出席状況 A.週5日 75.0% B.週3～4日 0.0% C.週1～2日 0.0% D.月数回 0.0% E.通っていない 0.0% 無回答 25.0% 〕 ※上記2～5と回答した方は、次のあてはまるものに○をつけてください。(n=20) 〔 学校の種類 A.公立(区立・都立) 65.0% B.私立 15.0% C.国立・公立中高一貫校 5.0% 無回答 15.0% 〕
第5子以降のお子さんについては、こちらの欄に記入をお願いします。			

問 21 **就学前のお子さん**がいる方にお伺いします。(→該当しない場合は問 22 へ)  
 お子さんを定期的に預けているところがありますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(n=261)

1. 認可保育所・認証保育所・保育室 ・保育ママ・認定こども園などの 保育施設に預けている	74.3%	4. ベビーシッター等を利用している	3.1%
2. 幼稚園に通園している	11.5%	5. 友人・知人に預けている	2.7%
3. 親や兄弟姉妹に預けている	13.0%	6. 仕事場に連れて行く	3.4%
		7. その他(具体的に: )	3.4%
		8. 定期的に預けているところはない	6.9%
		無回答	0.4%

問 22 **小学生～中学生のお子さん**がいる方にお伺いします。(→該当しない場合は問 24 へ)

放課後と夏休みなどの長期休暇中、お子さんはどこで過ごしていますか。  
 主な場所を下の選択肢から3つ選んで、数字で回答してください。

【小学生】

(n=584)

放課後

夏休みなどの長期休暇中

【中学生】

(n=390)

放課後

夏休みなどの長期休暇中

《選択肢》

	【小学生】		【中学生】			【小学生】		【中学生】	
	放課後	長期休暇中	放課後	長期休暇中		放課後	長期休暇中	放課後	長期休暇中
1. 新BOP・学童クラブ (区立小学校で行っている放課後の遊び場)	36.8%	31.7%	0.0%	0.0%	8. 公園	25.9%	19.5%	3.6%	3.3%
2. 塾や習い事(スポーツは除く)、学童クラブ(民間)	39.2%	29.8%	40.8%	36.9%	9. ゲームセンター	0.0%	0.2%	0.3%	0.3%
3. 学校の部活動	2.1%	1.5%	50.0%	43.3%	10. コンビニエンスストアや飲食店など	0.0%	0.0%	0.8%	0.5%
4. スポーツクラブの活動の場 (野球場、サッカー場など)	8.2%	6.3%	7.2%	6.7%	11. 自分の親や兄弟姉妹、友人・知人の家	8.7%	18.2%	7.2%	12.3%
5. 友達の家	16.1%	11.5%	8.2%	8.7%	12. 子どもだけで自宅で過ごす	44.0%	42.5%	61.5%	61.3%
6. 児童館	15.4%	13.0%	3.3%	3.6%	13. 自分の父母などと自宅で過ごす	29.1%	37.0%	18.7%	24.4%
7. 図書館	2.7%	3.3%	4.1%	4.4%	14. どこで過ごしているのかわからない	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
					15. その他(具体的に: )	6.7%	8.0%	4.1%	6.2%
					無回答	2.7%	7.9%	5.9%	10.0%

問 23 **小学生のお子さん**がいる方にお伺いします。(→該当しない場合は問 24 へ)

問 23-1 平日(学校に行く日)、お子さんは毎日、朝ご飯を食べますか?

1つだけ○をつけてください。

(n=584)

1. いつも食べる(週に5日)	89.9%	3. 食べないほうが多い(週に1、2日)	2.9%
2. 食べるほうが多い(週に3、4日)	4.5%	4. いつも食べない	1.0%
		無回答	1.7%

問 23-2 平日(学校に行く日)、お子さんはだれと朝ご飯を食べていますか?

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=584)

1. あなた	69.9%	4. 子ども1人で食べる	20.9%
2. お子さんのきょうだい	32.9%	5. 朝ご飯は食べない	0.9%
3. お子さんの祖父母など	14.0%	6. その他(具体的に: )	0.9%
		無回答	1.5%

問 23-3 平日（学校に行く日）、お子さんは毎日、夕ご飯を食べますか？

1つだけ○をつけてください。

(n=584)

1. いつも食べる（週に5日）	97.4%	3. 食べないほうが多い（週に1、2日）	0.0%
2. 食べるほうが多い（週に3、4日）	0.7%	4. いつも食べない	0.2%
		無回答	1.7%

問 23-4 平日（学校に行く日）、お子さんはだれと夕ご飯を食べていますか？

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=584)

1. あなた	87.2%	4. 子ども1人で食べる	6.8%
2. お子さんのきょうだい	36.0%	5. 夕ご飯は食べない	0.0%
3. お子さんの祖父母など	29.8%	6. その他（具体的に:        )	2.6%
		無回答	1.4%

問 23-5 お子さんは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。1つだけ○をつけてください。

(n=584)

1. 30分より少ない	26.7%	5. 3時間以上	2.7%
2. 30分以上、1時間より少ない	44.5%	6. まったくしない	2.2%
3. 1時間以上、2時間より少ない	16.8%	7. わからない	1.0%
4. 2時間以上、3時間より少ない	3.4%	無回答	2.7%

※ 塾などでの時間も含まれます。

問 23-6 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。

それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

(n=584)

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない	無回答
A お子さんの勉強をみる →	28.5%	15.9%	24.1%	12.0%	18.0%	1.5%
B お子さんとからだを動かして遊ぶ →	2.2%	1.5%	26.0%	30.7%	37.7%	1.9%
C お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ (テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど) →	2.9%	3.4%	10.8%	17.5%	63.9%	1.5%
D お子さんとカードゲームなどで遊ぶ (トランプ・ボードゲーム・将棋など) →	1.0%	1.7%	11.5%	34.2%	49.7%	1.9%
E お子さんと学校生活の話をする →	71.4%	14.7%	9.4%	1.4%	1.2%	1.9%
F お子さんと政治経済・社会問題などの ニュースの話をする →	19.0%	17.3%	24.9%	13.7%	23.6%	1.5%
G お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする →	34.2%	26.2%	20.5%	10.4%	6.8%	1.9%
H お子さんと一緒に料理をする →	2.2%	4.3%	16.4%	45.3%	30.3%	1.5%
I お子さんと一緒に外出をする →	6.5%	9.1%	57.2%	23.8%	1.9%	1.5%
J お子さんと入浴する →	30.1%	9.9%	15.4%	12.0%	31.1%	1.5%

→問 24へ

問 24 **現在**、お子さんやあなた自身のことで、どんな心配ごとや悩みごとがありますか。  
**あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。** (N=1,442)

1. 家計について経済的な負担	75.1%	16. 自分の健康状態	44.2%
2. 育児の負担	20.9%	17. 子どもの健康状態	21.8%
3. 家事の負担	27.7%	18. 子どもとコミュニケーションをとる時間の不足	30.5%
4. 仕事の負担	30.7%	19. 子どもの親（相手方）からのつきまとい・暴力	2.4%
5. 子どものしつけや接し方	40.6%	20. ローンや借金など	10.4%
6. 子どもの暴力	3.1%	21. (住宅を借りる際の) 保証人がいないこと	7.1%
7. 子どもの友人関係	17.1%	22. ひとり親家庭への理解不足	13.0%
8. 子どもの親（相手方）との関わり方	12.1%	23. 社会からの孤立感	8.8%
9. 再婚	12.5%	24. 子どもを虐待してしまうことへの懸念	3.1%
10. 恋愛	7.2%	25. 子どもへの精神的負担	22.4%
11. 親等の介護	16.7%	26. 子どもへの家事等の負担	6.0%
12. 子どもの学力	39.8%	27. 自分が倒れたときの子どもの将来	60.7%
13. 子どもの進路	55.5%	28. その他（具体的に:                    )	5.3%
14. 子どもの不登校・ひきこもり	7.4%	29. 特になし	1.7%
15. 自分の求職・就職	22.8%	無回答	1.9%

問 25 お子さんの健康・発達の状況はいかがですか。**あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。**

第1子 (N=1,442)	1. 健康である	84.3%	5. 障害がある（難病をのぞく）	3.5%
	2. 通院している病気がある	7.6%	6. 難病の指定を受けている	0.5%
	3. 入院している	0.2%	7. 発達に遅れがある	4.6%
	4. 通院していないが体調が悪い	1.5%	8. その他（具体的に:                    )	4.2%
			無回答	2.1%
第2子 (n=595)	1. 健康である	89.6%	5. 障害がある（難病をのぞく）	2.2%
	2. 通院している病気がある	7.4%	6. 難病の指定を受けている	0.3%
	3. 入院している	0.0%	7. 発達に遅れがある	0.0%
	4. 通院していないが体調が悪い	0.8%	8. その他（具体的に:                    )	4.4%
			無回答	0.0%
第3子 (n=153)	1. 健康である	87.6%	5. 障害がある（難病をのぞく）	2.6%
	2. 通院している病気がある	7.8%	6. 難病の指定を受けている	0.0%
	3. 入院している	0.0%	7. 発達に遅れがある	4.6%
	4. 通院していないが体調が悪い	0.7%	8. その他（具体的に:                    )	2.6%
			無回答	0.0%
第4子 (n=27)	1. 健康である	88.9%	5. 障害がある（難病をのぞく）	3.7%
	2. 通院している病気がある	3.7%	6. 難病の指定を受けている	0.0%
	3. 入院している	0.0%	7. 発達に遅れがある	0.0%
	4. 通院していないが体調が悪い	3.7%	8. その他（具体的に:                    )	3.7%
			無回答	0.0%
第5子以降のお子さんについては、こちらの欄にご記入ください。				



問 25-1 あなたの現在の健康状態等はいかがですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (N=1,442)

1. 健康である	62.0%	5. 障害認定を受けている(難病をのぞく)	2.1%
2. 通院している	25.0%	6. 難病の指定を受けている	1.2%
3. 入院中である	0.1%	7. その他(具体的に: )	4.3%
4. 通院していないが体調が悪い	11.0%	無回答	1.9%

問 25-2 あなたは、成人する前に以下のような体験等をしたことがありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (N=1,442)

1. 両親が離婚した	13.4%	5. 近隣の方と仲が良かった	28.2%
2. 親が生活保護を受けていた	0.8%	6. 母親が亡くなった	1.2%
3. 親との関係が良くなかった	19.7%	7. 父親が亡くなった	5.1%
4. 祖父母等に大事にされた	33.6%	8. 1~7のいずれも経験したことがない	29.8%
		無回答	4.2%

問 25-3 過去1年間に、お子さんを病院や歯医者で受診させたほうが良いと思ったが、実際には受診できなかったことはありましたか。1つだけ○をつけてください。

(N=1,442)

1. 受診できなかったことがあった	→問 25-4 へ	23.9%
2. 受診できなかったことはなかった	→問 26 へ	73.0%
無回答		3.1%

問 25-3 で「1. 受診できなかったことがあった」を選ばれた方にお伺いします。

問 25-4 受診できなかった理由について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=344)

1. 仕事で連れていく時間がなかったため	68.6%	6. お金がなかったため	0.0%
2. 子どもが忙しかったため	25.0%	7. かかりつけの病院がなかったため	7.0%
3. 自分の健康状況が悪く連れて行けなかったため	5.2%	8. その他(具体的に: )	11.6%
4. 子どもが嫌がったため	20.9%	無回答	6.1%
5. 病院が遠いため	2.6%		

問 26 今、あなたは自分のことについてどのように思っていますか。

それぞれあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (N=1,442)

	とても 思う	まあ 思う	どちら でもない	あまり 思わない	まったく 思わない	無 回答
A 自分のことが好きだと思う	12.6%	38.6%	24.9%	13.1%	6.3%	4.5%
B 自分は他人から必要とされていると思う	13.4%	45.3%	20.7%	12.1%	4.2%	4.3%
C 自分のことをわかってくれる人がいると思う	21.0%	43.5%	16.0%	10.9%	4.4%	4.2%



問 29 ひとり親家庭になる前後、あなたやお子さんのことをお子さんが通う学校や保育園、相談に係る専門職に相談をしたとき、次のようなことを経験したことはありますか。それぞれあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(N=1, 442)

	とても 思う	まあ 思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	まったく 思わない	無回答
A あなたのペースを大切に話を聞いてくれた	14.9%	32.2%	14.5%	5.3%	3.8%	29.3%
B 相談したらあなたに問題があると言われた	1.8%	2.8%	11.9%	12.7%	40.8%	30.0%
C 相談をしたが全然聞いてくれなかった	1.5%	2.6%	10.7%	14.9%	39.9%	30.4%
D 聞いてほしくないことまでいろいろ聞かれた	3.3%	4.7%	11.7%	16.5%	33.4%	30.4%
E 相談をしたことを受け入れてもらった	14.0%	30.5%	15.7%	4.9%	4.9%	30.0%
F あなたの話を遮って相手がいろいろ話をしていた	1.9%	3.1%	13.9%	18.9%	31.9%	30.3%
G 相手は何も聞いてこなかった	1.8%	5.5%	21.8%	18.0%	22.5%	30.4%
H あなたの話を熱心に聞いてくれた	14.8%	27.2%	19.4%	4.9%	3.7%	30.0%
I あなたのために様々な支援の利用についての提案をしてくれた	11.5%	23.4%	17.2%	9.3%	8.7%	29.9%
J また相談したいと思った	10.1%	18.8%	22.5%	8.1%	10.4%	30.1%
K 相手から一方的にいろいろ話をされた	1.5%	2.8%	14.2%	18.7%	32.6%	30.2%

問 29-1 これまで「相談したくてもできなかった」ということはありますか。理由もあわせてお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(N=1, 442)

1. 相談したくても、時間がなかった	19.1%
2. 仕事を休むことができなかった	18.5%
3. どこで相談できるのか知らなかった	15.9%
4. 相談に行く気にならなかった	15.0%
5. 相談に行ってみたが、話せる雰囲気ではなかった	3.2%
6. 相談しようとして話してみたが、相手にわかってもらえなかった	7.1%
7. どう相談したら良いかわからなかった	18.9%
8. 相談できる人はいなかった	0.8%
9. その他（具体的に： )	5.9%
10. 「相談したくてもできなかった」ことは特にない	33.4%
無回答	13.1%

問 30 世田谷区の子育てやひとり親世帯の相談窓口は、主に区内5ヶ所の総合支所保健福祉センターの生活支援課（子ども家庭支援センター）ですが、そのことをご存知でしたか。1つだけ○をつけてください。(N=1, 442)

1. はい	66.8%	2. いいえ	31.3%	無回答	1.9%
-------	-------	--------	-------	-----	------

問 31 総合支所保健福祉センターの生活支援課（子ども家庭支援センター）窓口を利用したことがありますか。1つだけ○をつけてください。 (N=1,442)

1. ある	→問 31-2 へ	66.7%
2. ない	→問 31-1 へ	30.7%
無回答		2.6%

**問 31 の「2. ない」を選ばれた方**にお伺いします。

問 31-1 総合支所保健福祉センターの生活支援課（子ども家庭支援センター）窓口を利用したことがない理由についてお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=442)

1. 相談したいと思ったことがなかった	46.8%
2. 相談したかったが抵抗感があった	11.1%
3. 相談する時間がない	23.5%
4. 相談したいときに窓口が開いていない	10.6%
5. 相談する窓口や方法がわからなかった	23.1%
6. その他（具体的に： )	6.1%
無回答	4.1%

問 31-2 どうしたら区の窓口が利用しやすくなると思いますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=442)

1. 夜間窓口を開設する	29.4%
2. 土・日・祝日窓口を開設する	54.3%
3. 受付場所を増やす	18.1%
4. 託児がある	16.5%
5. 一か所で色々な相談ができる	30.5%
6. 同行してくれる人がいる	1.1%
7. 専門的な相談ができる（具体的に： )	7.0%
8. インターネットでの相談を行う	28.1%
9. その他（具体的に： )	7.7%
無回答	13.1%



問 32 以下のひとり親の方への支援策等をご存知でしたか。

(N=1,442)

知っている事業にそれぞれ○をつけてください。

	知っている
(記入例)	○
1. ひとり親家庭等医療費助成	92.0%
2. ひとり親家庭等ホームヘルプ(養育支援等ホームヘルプ)	24.8%
3. ひとり親家庭休養ホーム	26.3%
4. 母子家庭及び父子家庭自立支援教育訓練給付金	38.3%
5. 母子家庭及び父子家庭高等職業訓練促進給付金	30.8%
6. ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	11.7%
7. 区の資金貸付	33.0%
8. 都の母子及び父子福祉資金貸付	25.0%
9. 母子生活支援施設	36.5%
10. 公営住宅の優遇抽選等	58.0%
11. 在宅就業支援講座	13.9%
12. ひとり親家庭等の子どもの学習支援(かるがもスタディルーム)	29.4%
13. 子どもの居場所(せたがやゼミナール)	6.4%
14. 受験生チャレンジ支援貸付金(塾代・受験料の貸付)	27.6%
15. ひとり親家庭同士の交流イベント	17.9%
16. メールマガジン「ひとり親家庭支援情報」	22.7%
17. リーフレット「ひとり親家庭が新しい一歩を踏み出すために」	37.2%
18. ひとり親支援ナビ(チラシ)	5.8%
19. 養育費相談会	12.8%
20. 子育てひろば・おでかけひろば	31.7%
21. ほっとステイ	28.3%
22. 地域子育て支援コーディネーター(利用者支援事業)	8.3%
23. ショートステイ・トワイライトステイ	17.5%
24. 男女共同参画センター”らぶらす”の就業支援講座	13.1%
25. 男女共同参画センター”らぶらす”の「シングルマザーのほっとサロン」	14.2%
26. 三茶おしごとカフェ	32.0%
27. ぷらっとホーム世田谷	19.0%
無回答	5.0%

問 33 あなたは、ひとり親家庭への支援情報をどこから入手していますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(N=1,442)

1. 区の広報紙「せたがや」	18.1%	8. 父母・祖父母・兄弟姉妹等の親族	3.7%
2. 区のホームページ	31.8%	9. 友人・知人からの口コミ	11.7%
3. 区の相談窓口(子ども家庭支援センター)	23.5%	10. テレビ・ラジオ・新聞	1.5%
4. リーフレット	20.8%	11. SNS (Twitter・Facebook等)・ブログ	2.0%
「ひとり親家庭が新しい一歩を踏み出すために」		12. インターネットサイト	18.3%
5. メールマガジン「ひとり親家庭支援情報」	14.6%	13. その他(具体的に: )	6.4%
6. せたがや子育て応援アプリ	1.3%	無回答	10.8%
7. ひとり親家庭の支援団体	2.4%		

問 33-1 現在、これらの支援制度等を利用することに興味がありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(N=1,442)

1. ファミリー・サポート・センター	20.7%	5. 児童館や新BOP	20.4%
2. 子ども食堂	22.1%	6. 発達障害相談・療育センター等の専門支援	10.4%
3. フードバンクによる食料支援	17.3%	7. いずれにも興味がない	26.9%
4. 弁当配達による配食サービス	17.7%	無回答	17.3%

問 34 悩みや不安、必要と感じる支援等がありましたら、ご自由にお書きください。

また、これまで子育てをしながら生活してきた中で、助けられたり、役に立ったと実感できた支援や出来事などについて、ご自由にお書きください。

質問は以上です。お忙しいところ、ご回答いただきまして、ありがとうございました。

同封の返信用封筒で、**12月12日(水)まで**にご返送ください。

世田谷区  
ひとり親家庭調査  
調査報告書

平成31年3月

発行：世田谷区子ども・若者部子ども育成推進課  
〒154-8504 世田谷区世田谷 4-21-27  
TEL 03-5432-2528